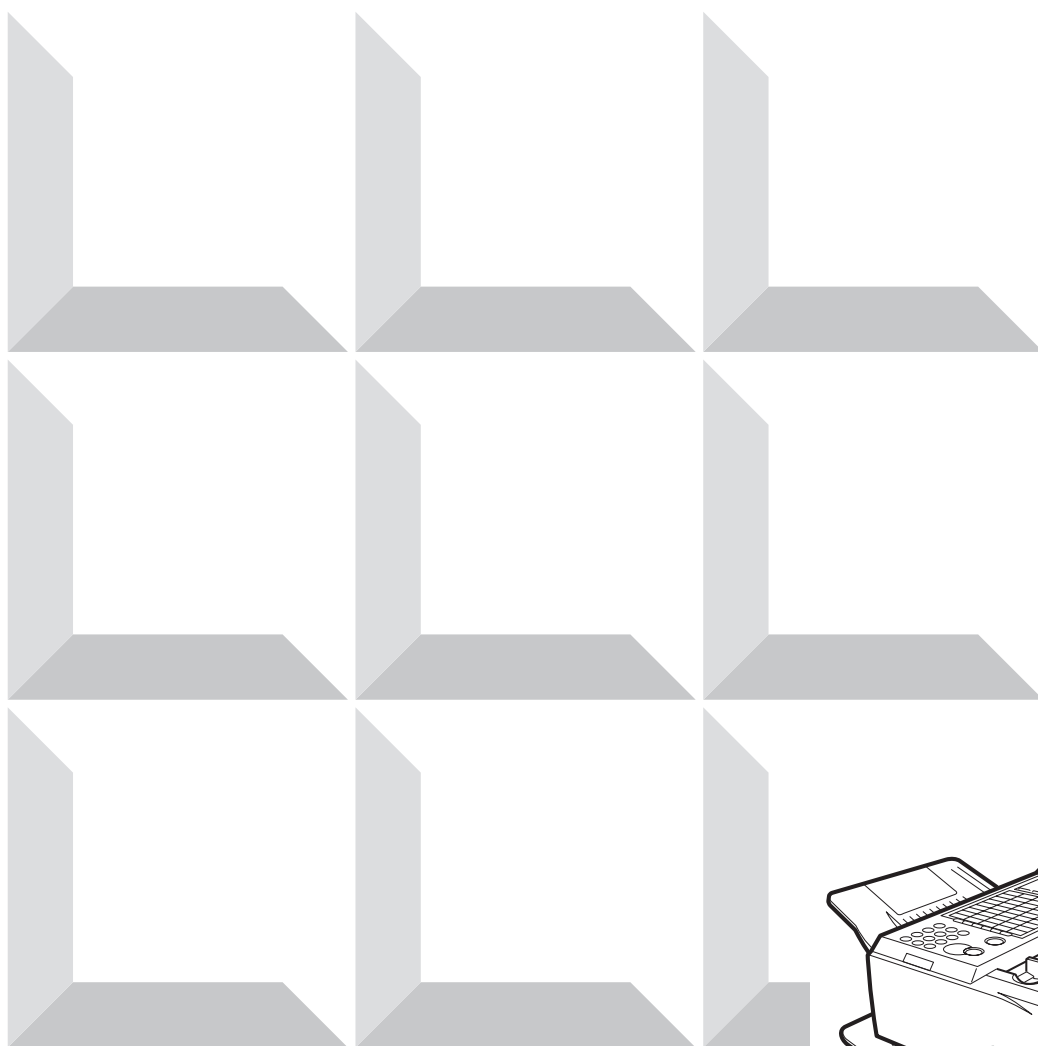
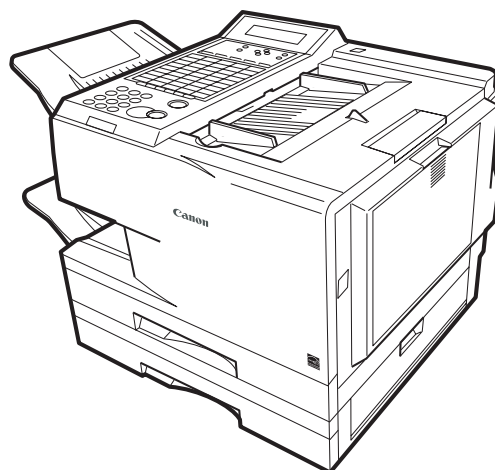
Canon

Canofax L4800

操作ガイド
（本体編）

お使いになる前に

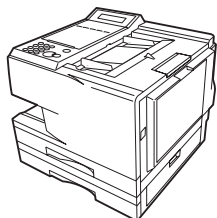
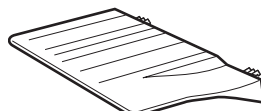
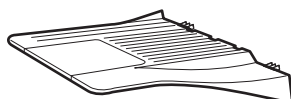
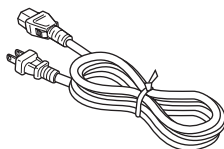
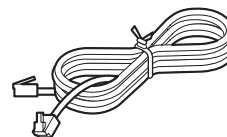
基本編
原稿
ファクス
コピー
電話

応用編
便利な機能の使い方
リスト・レポートのプリント
各種登録・設定

必要なときにお読みください

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

本体・付属品・添付品の確認

セットの内容に足りないものがある場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

本体・付属品

本体

用紙トレイ... 1 個

原稿トレイ... 1 個

電源コード... 1 本

回線コード... 1 本

添付品

操作ガイド（本体編）（本書）... 1 部
用紙（テスト用）............. 1 包
用紙サイズシール... 2 セット
保証書............ 1 部

●本書は、改良のため画面等は予告なく変更されることがあります。正確な仕様が必要な場合はキヤノンマーケティングジャパンまでお問い合わせください。
●本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。
●本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

キヤノファクス L4800 を使う

各機種の特徴

送信する

- とりあえず送りたい
  . . ファクスを送る（☞25 ページ）
- 一度にたくさんの相手に送りたい
  複数宛先の指定のしかた
  . . . .（☞35 ページ）
- 通話料金の安い時間を
  指定して送りたい
  . . . . タイマー送信（☞49 ページ）
- 特定の相手にだけ送りたい
  . . パスワード送信（☞59 ページ）
  . . . . セレクト送信（☞64 ページ）

受信する

- ファクスを受信する
  .ファクスを受ける（☞37 ページ）
- 特定の相手のファクスだけを
  受信したい
  . . パスワード受信（☞61 ページ）
  . . . . セレクト受信（☞65 ページ）
- 相手と話してから受信する
  . . . . 手動受信（☞37 ページ）
- 相手側のファクスに登録されている
  原稿を取り出す
  . . ポーリング受信（☞48 ページ）

その他の機能

- 簡単にダイヤルしたい
  . . . 直接ダイヤル（☞25 ページ）
  . . . 短縮ダイヤル（☞26 ページ）
  .ワンタッチダイヤル（☞27 ページ）
  . . . 電話帳ダイヤル（☞28 ページ）
  ハイブリッドダイヤル（☞33 ページ）
  . . グループダイヤル（☞96 ページ）
- ボタン１つで、複雑な機能を使いたい
  プログラムダイヤルの登録
  . . . .（☞99 ページ）

文字を入力する

- 文字入力のしかた （☞122 ページ）
- 区点コード表 . . （☞167 ページ）
- 熟語一覧表 . . . . （☞181 ページ）

消耗品の交換

- 用紙の補充 . . . . （☞142 ページ）
- 用紙カセットのサイズ変更
  . . . .（☞143 ページ）
- 手差しトレイへの用紙セット
  . . . . （☞148 ページ）
- トナーカートリッジの交換
  . . . .（☞150 ページ）

トラブル

- 用紙がつまったとき
  . . . .（☞153 ページ）
- 原稿がつまったとき
  . . . .（☞157 ページ）
- 故障かな？と思ったら
  . . . .（☞158 ページ）

もくじ

リスト・レポートのプリント

各種登録・設定

必要なときにお読みください

安全上のご注意 必ずお守りください

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品をお使いになる前に、安全のために以下の注意事項をよくお読みください。

●安全にお使いいただくために

⚠警告

本書で指示された部位を除き、本製品をご自分で分解したり、修理したりしないでください。感電などの原因になることがあります。本製品の修理については、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

●取り扱いと保守／点検について

■本製品に貼ってある注意ラベルの指示に従ってください。

■本製品に強い衝撃や振動を与えないでください。

■本製品を移動または清掃するときは電源コードを抜いてください。

■本製品の排紙部にあるローラには手を近づけないでください。動作中でなくても、プリントなどのため急に動き出し、衣服や手が巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

■紙づまりを防ぐために、プリント中は電源の入切、操作パネル部や側面カバーの開閉、用紙の出し入れをしないでください。

■本製品を移動する場合は、トナーカートリッジを必ず本体から取り外してください。

■トナーカートリッジは、光にさらさないように、購入時に収められていた保護袋に入れるか、厚手の布でくるんでください。

■排紙直後の用紙は高温になっている場合があります。用紙を取り出す際、取り出した用紙を揃える際にやけどの原因になることがあります。

■持ち運ぶときは、本製品をしっかりと持ってください。用紙カセットや金具部分は、絶対に持たないでください。

■製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。

■本製品の内部に異物を入れないでください。異物が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。

■製品内部にピンやクリップ、ホチキスの針などの金属片を落とさないでください。

■水などの液体をこぼさないように、本製品の近くでは飲食しないでください。

■定期的に本製品を清掃してください。ほこりなどがたまると正しく動作しないことがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

■以下のような場合は本製品の電源のスイッチを切り、電源コードを抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

●電源コードやプラグが傷んだり、断線しているとき

●本製品の中に水などの液体がこぼれたとき

●本製品が雨や水に濡れたとき

●同梱の取扱説明書の手順どおりに操作しても本製品が正常に動作しないとき
手順にない不正な調整をしてしまうと、故障の原因となったり、正常な動作に戻すまでに特殊な修理が必要となりますのでご注意ください。

●本製品を落としたり、傷つけたりしたとき

●本製品の動作に明らかに異常がみられるとき

■本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、本製品製造打ち切り後７年間です。

●設置について

■平らで、ぐらつきや振動がなく、本製品をしっかりと支えられる場所に設置してください。

■涼しくて湿気やほこりがなく、風通しの良い場所に設置してください。

■ちりやほこりがない環境でお使いください。

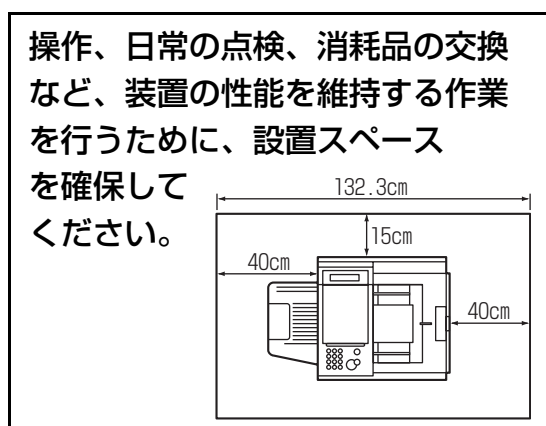
■高温多湿にならない環境でお使いください。

■直射日光の当たる場所に設置しないでください。故障の原因になることがあります。窓の近くに設置する場合は、厚手のカーテンまたは日よけを窓に取り付けてください。

■水気のある場所では使用しないでください。湿気を含んだ物を本製品に近づけないようにしてください。

■屋外での使用や設置は避けてください。

■スピーカーなど磁気を含んだ機器や、磁界を生じる機器の近くに設置しないでください。

■本製品の通気口を壁や物でふさがないように設置してください。また、ベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口がふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。通気口は壁や他の機器などから 15cm 以上離して設置してください。

■いつでも電源コードが抜けるように、電源コードの周りには物を置かないでください。異常な音や煙、熱、変なにおいなどが発生した場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源コードを抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

■電源コードの上に物を置かないでください。また、電源コードを踏んだり、束ねたり、結んだりしないでください。

■使用中の製品からは、オゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量にプリントする場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。

●電源について

■雷が鳴ったら、すぐに電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。（突然停電が起きたり、電源コードが抜けた場合でも、ユーザデータ設定内容やワンタッチ / 短縮ダイヤルの登録内容は記憶されています。メモリー内に蓄積されたジョブは、約 1 時間保存されます。）

■電源コードを抜いたときは差しなおすまでに 5 分以上間隔をおいてください。

■電源コードを無停電電源に接続しないでください。

⚠ 警告

本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして直ちに、医師にご相談ください。

●資源再利用について

キヤノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

■使用済み複写機の受け入れ場所について

使用済みとなった複写機につきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済み複写機のリサイクルを推進しています。
使用済みの複写機の回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。
なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

■使用済みトナーカートリッジなどの廃棄について

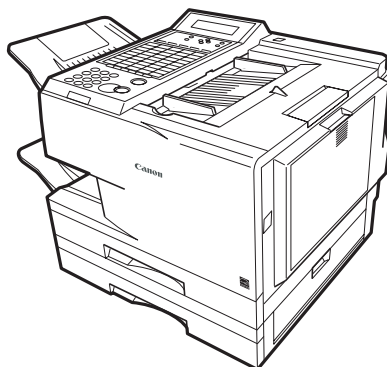
使用済みとなったトナーカートリッジなどにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

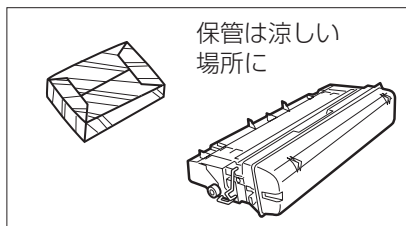
キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みトナーカートリッジの回収とリサイクルを推進しています。
使用済みトナーカートリッジの回収については、担当のサービス店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。
なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋等に入れて、地域の条例に従い処分してください。

●カスタマーサポート

本製品は、メンテナンスフリーで安心してお使いいただけるように作られています。操作上問題が発生したときは、「必要なときにお読みください」を参照してください。それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センター（巻末参照）にご連絡ください。

●イラストについて

本書に使われているイラストは、特にお断りがない限り、オプション機器を装着していない場合のものです。

取り扱い上のお願い

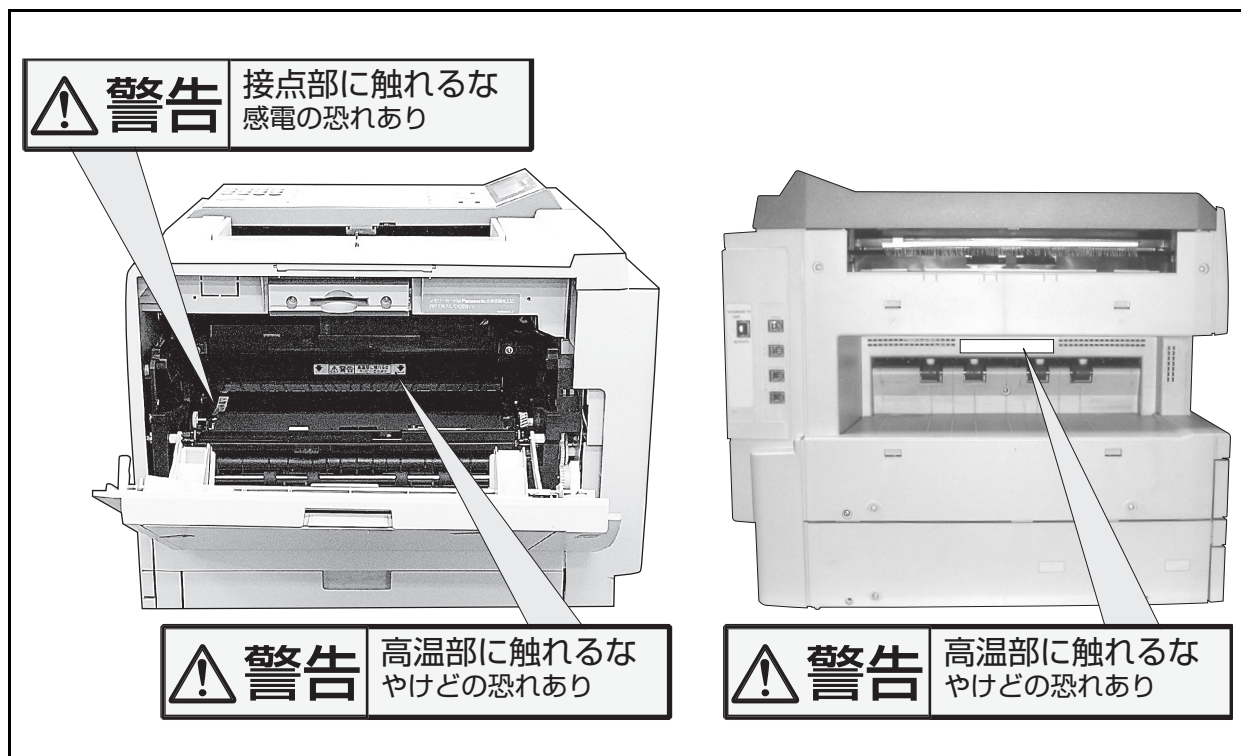
●用紙・トナーカートリッジに関するお願い

■用紙、トナーカートリッジなどは湿気の少ない涼しい場所に保管してください。

●用紙は 60 ～ 90g/m^2 の上質紙・再生紙をお使いになれますが、できるだけ当社の推薦紙をご使用ください。
●トナーカートリッジは当社指定品をご使用ください。

■トナーカートリッジに関するお願い

●トナーカートリッジは直接日光を避ける
コピー画像に異常が出ることがあります。
●トナーカートリッジを寒い場所から暑い場所へ急に移動させない
トナーカートリッジに結露が発生し、故障の原因となります。
●使用済みのトナーカートリッジは捨てない
回収にご協力ください。
●トナーカートリッジは上を向けて保存する（箱に上向きの表示があります。）
コピー画像に異常が出ることがあります。

●注意ラベルについて

■本機には安全にお使いいただくために次のような注意ラベルが貼ってあります。内容をよく読み、安全にお使いください。
（ラベルは本体右側面の受信開閉部を開け、トナーカートリッジを引き抜いた箇所と本体左側面の用紙排出部にあります。）

本書の読みかた

●マークについて

本書では、本製品を使用する上で安全のためにお守りいただきたいことや、役に立つ情報に下記のマークを付けています。

⚠ 警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。

お知らせ

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。

また本書では、操作するキー、ディスプレイに表示されるメッセージを以下のように表記しています。

■キー名称：（ストップ） 等

■ディスプレイ：

メモリー送信	宛先数： 0000
012XXXXXXX	外線

●略称について

本書では、郵便事業株式会社製のはがきを郵便はがきと記載しています。

規制について

●電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

●原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製したり、加工したりすると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製する場合には肖像権が問題となることがあります。

■通貨、有価証券など
以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

●紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
●国債証券、地方債証券
●郵便為替証書
●郵便切手、印紙
●株券、社債券
●手形、小切手
●定期券、回数券、乗車券
●その他の有価証券

■公文書など
以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

●公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
●私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
●役所または公務員の印影、署名または記号
●私人の印影または署名

［関係法律］
●刑法
●著作権法
●通貨及証券模造取締法
●外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券
●証券偽造変造及模造ニ関スル法律
●郵便法
●郵便切手類模造等取締法
●印紙犯罪処罰法
●印紙等模造取締法

●商標について

Canon、Canon ロゴ、および Canofax はキヤノン株式会社の商標です。
Microsoft、Windows および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

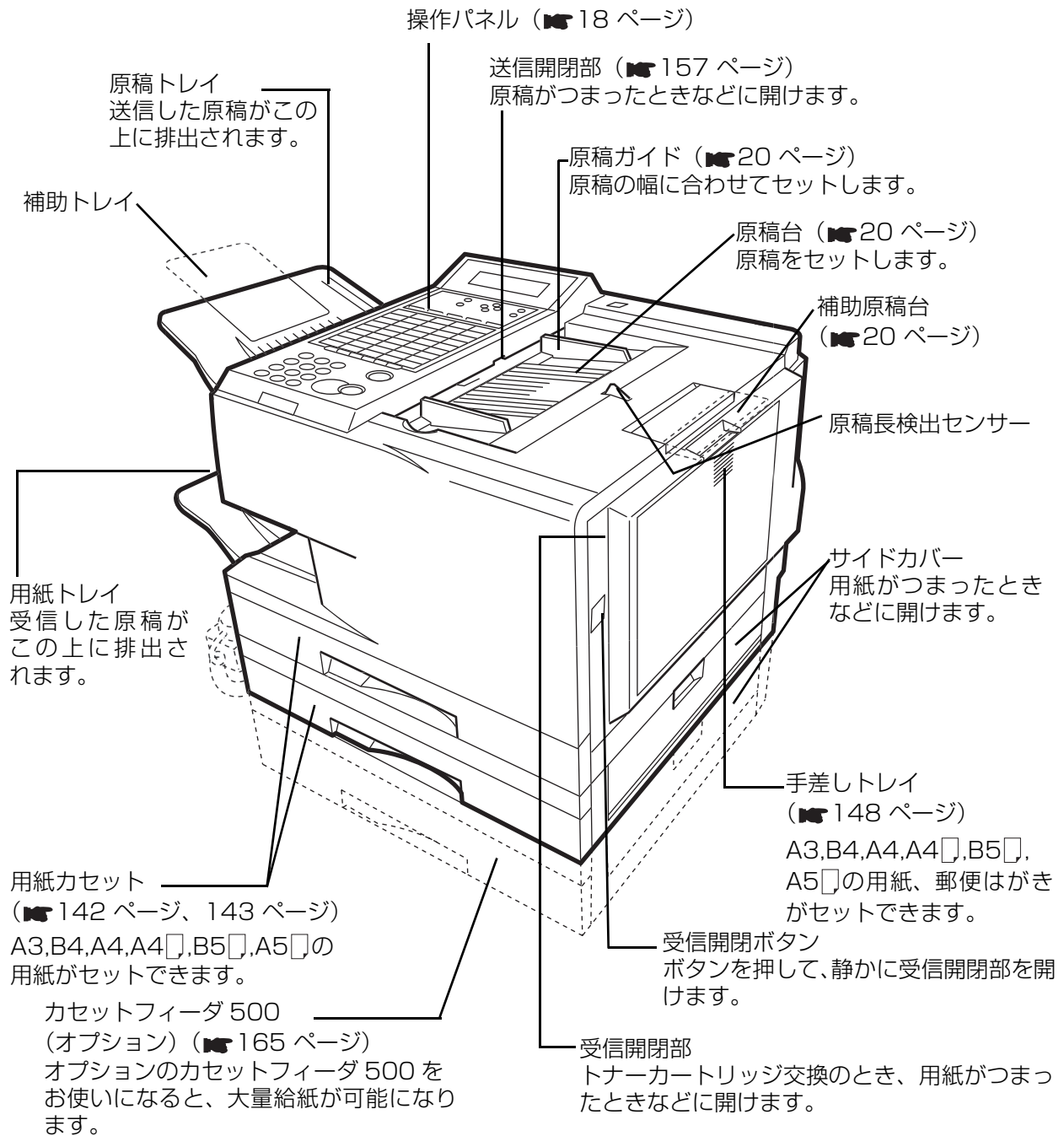
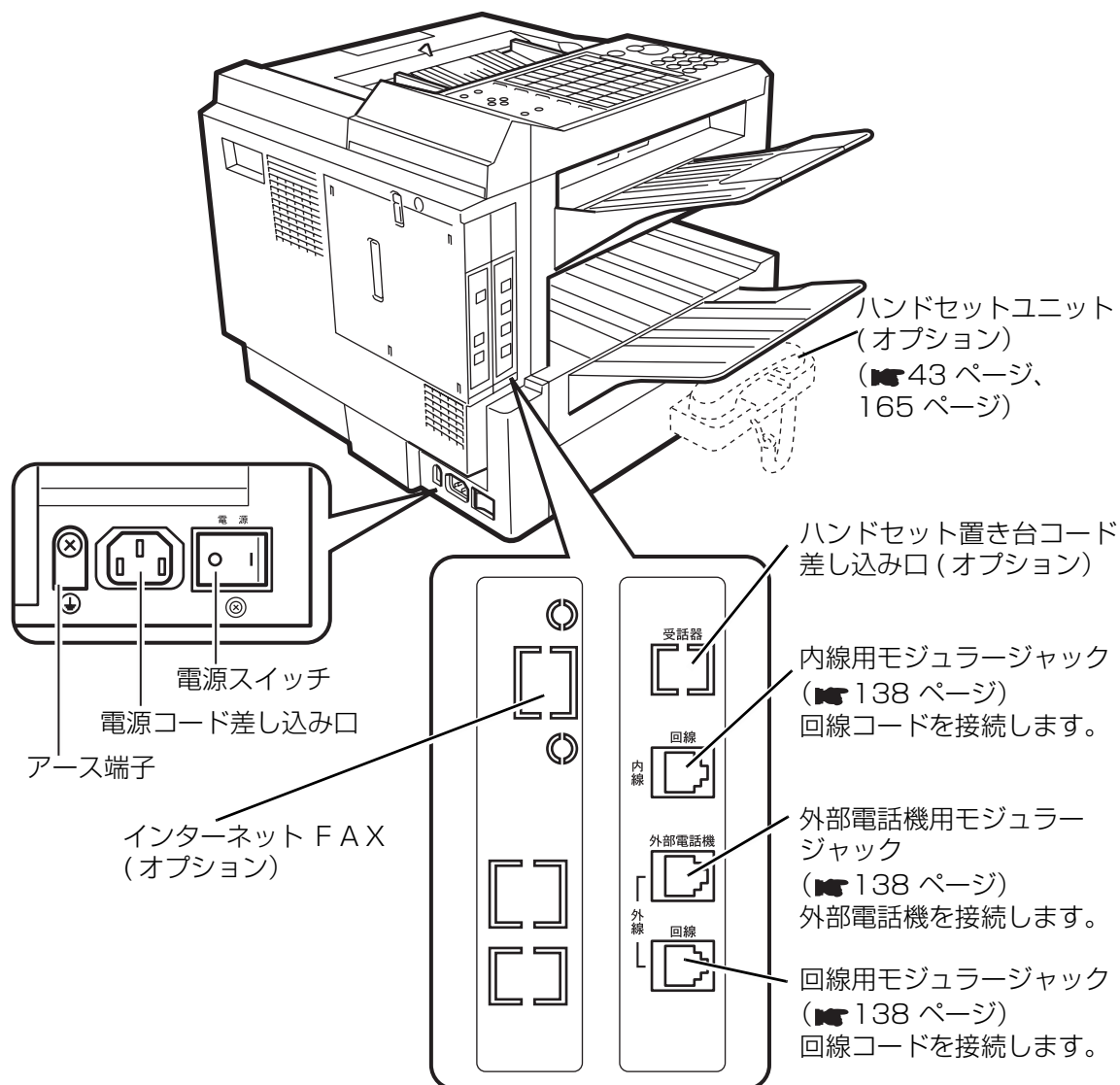
●著作権について

キヤノン株式会社の事前の書面による承諾を得ることなしに、いかなる形式または手段（電子的、機械的、磁気的、光学的、化学的、手動、またはその他の形式／手段を含む）をもっても、本書の全部または一部を、複製、転用、複写、検索システムへの記録、任意の言語やコンピュータ言語への変換などをすることはできません。

●免責事項

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

各部の名前と働き

正面・右側面図

左側面・背面図

節電機能について

本機には、機械を使用しないときに機械内部の消費電力を抑える節電機能（省エネ運転、または節電運転）が備わっています。省エネ運転では操作パネル以外の電源をオフに、節電運転では定着器のヒーターをオフにします。これらの節電機能が働いてないときは、ヒーターがオンの状態となります。
お買い上げ時の設定（常時）では、本機を約５分間使用しないと省エネ運転に移行するように設定されています。

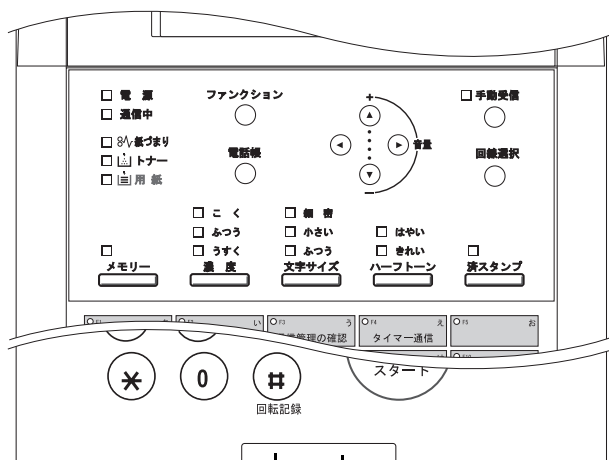
●常時設定
「省エネ」もしくは「節電」を設定し、省エネモードに移行する条件設定を「常時」にしている場合は、約５分間使用しないと省エネモードに移行します。

●時刻指定設定
「省エネ」もしくは「節電」を設定し、省エネモードに移行する条件設定を「時刻指定」にしている場合は、指定された開始時刻になると省エネモードに移行し、終了時刻になると通常のモードに戻ります。

お知らせ

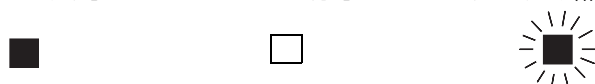
- 省エネモードの設定はシステム登録の「034 省エネモード」で変更できます。
  (☛118 ページ、121 ページ)
- 省エネモード運転中はディスプレイに「省電力中です」と表示されます。
  (「節電」設定時はヒーターオフとなるだけで、表示はされません。) お使いになる場合は操作パネルのいずれかのボタンを押すことで通常のモードに戻ります。

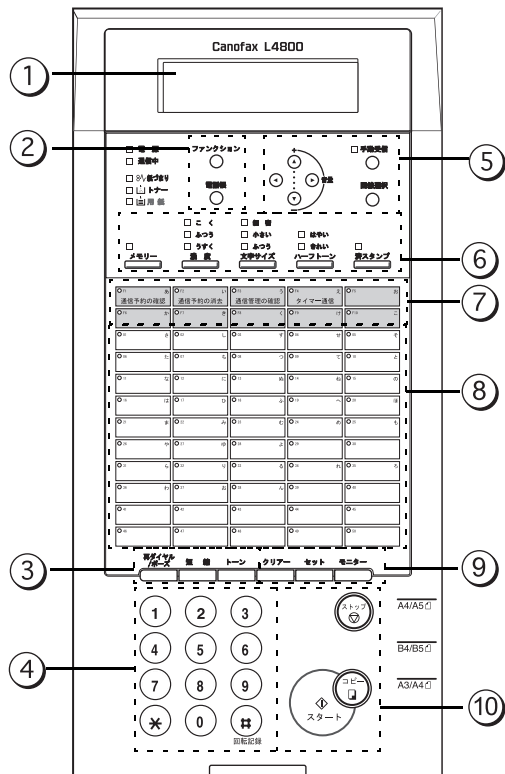
操作パネルの名前と働き

ランプ表示

□電源　ランプ
□通信中　ランプ
□紙づまり　ランプ
□トナー　ランプ
□用紙　ランプ
□メモリー　ランプ
□こく　ランプ
□ふつう　ランプ
□うすく　ランプ
□細密　ランプ
□小さい　ランプ
□ふつう　ランプ
□はやい　ランプ
□きれい　ランプ
□手動受信　ランプ
□済スタンプ　ランプ
エラー　ランプ
Doing　ランプ

■ランプの表示について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。

ランプの点灯　　ランプの消灯　　ランプの点滅

ランプの種類	ランプのつき方（色）	ファクス本体の状態
電源ランプ	点灯 ■ （緑）	本体の電源が入っているとき
通信中ランプ	点滅 （緑）	通信中およびハンドセット（オプション）を上げたとき
紙づまりランプ	点灯 ■ （赤）	用紙がつまったとき
トナーランプ	点灯 ■ （赤）	トナーが無いとき
	点滅 （赤）	トナーが残り少なくなったとき
用紙ランプ	点灯 ■ （赤）	すべてのカセット（および、開いている手差しトレイ）に用紙が無いとき
	点滅 （赤）	いずれかのカセット（または、開いている手差しトレイ）に用紙が無いとき
手動受信ランプ	点灯 ■ （緑）	手動受信が選択されているとき
メモリーランプ	点灯 ■ （緑）	メモリー送信をするとき
こくランプ	点灯 ■ （緑）	濃度が「こく」に選択されているとき
ふつうランプ	点灯 ■ （緑）	濃度が「ふつう」に選択されているとき
うすくランプ	点灯 ■ （緑）	濃度が「うすく」に選択されているとき
細密ランプ	点灯 ■ （緑）	文字サイズが「細密」に選択されているとき
小さいランプ	点灯 ■ （緑）	文字サイズが「小さい」に選択されているとき
ふつうランプ	点灯 ■ （緑）	文字サイズが「ふつう」に選択されているとき
はやいランプ	点灯 ■ （緑）	ハーフトーンが「はやい」に選択されているとき
きれいランプ	点灯 ■ （緑）	ハーフトーンが「きれい」に選択されているとき
済スタンプランプ	点灯 ■ （緑）	済スタンプが選択されているとき
エラーランプ	点灯 ■ （赤）	全カセットの用紙がない／全カセットが確実にセットされていない／原稿または用紙がつまったときなど
	点滅 （赤）	一部のカセットの用紙がない／一部のカセットが確実にセットされていないとき
Doing ランプ	点滅 （緑）	読み取り中、記録中

各種ボタン

① ディスプレイ
日、時刻、宛先、電話番号、装置の状態などを表示します。

② ファンクション ボタン
各種の機能を選ぶときや、登録するときに押します。

電話帳 ボタン（☞28 ページ）
電話帳を検索するときに押します。

③ 再ダイヤル／ポーズ ボタン
再ダイヤルするとき（☞30 ページ）、または、番号の間に空白時間を入れるときに押します。

短縮 ボタン（☞26 ページ）
短縮ダイヤルするときに押します。

トーン ボタン
回転ダイヤル式回線でプッシュホン信号を使いたいときに押します。

④ テンキー ボタン
ダイヤルするときや、各種の機能を選ぶときに押します。

回転記録 ボタン
回転記録の設定を手動で切り替えるときに押します。（☞40 ページ）

⑤ 音量 ／ ▼ ▲ ◀ ▶ ボタン
モニターおよび呼出音量を大きくしたり、小さくします。（☞45 ページ、46 ページ）
また、文字などの入力のときカーソルを左右に移動させたいときに押します。

手動受信 ボタン
手動受信するときに押します。

回線選択 ボタン
内線と外線を切り替えます。

⑥ メモリー ボタン
原稿をメモリーに読み込んでから送信するときにランプを点灯させます。

濃度 ボタン（☞24 ページ）
原稿の濃さに合わせて選びます。

文字サイズ ボタン（☞24 ページ）
原稿の文字の大きさに合わせて選びます。

ハーフトーン ボタン（☞24 ページ）
ハーフトーンを選ぶときに押します。

済スタンプ ボタン（☞24 ページ）
済スタンプを選ぶときに押します。

⑦ 機能 ボタン（☞102 ページ）
通信予約などの４種類の機能を、ボタン１つで選べます。また、１０種類まで機能を登録することができます。

⑧ ワンタッチダイヤル ボタン（☞27 ページ）
ワンタッチダイヤルするときに押します。
また、プログラムに登録した通信をするときに押します。

⑨ クリアー ボタン
入力した文字や数字を訂正するときに押します。

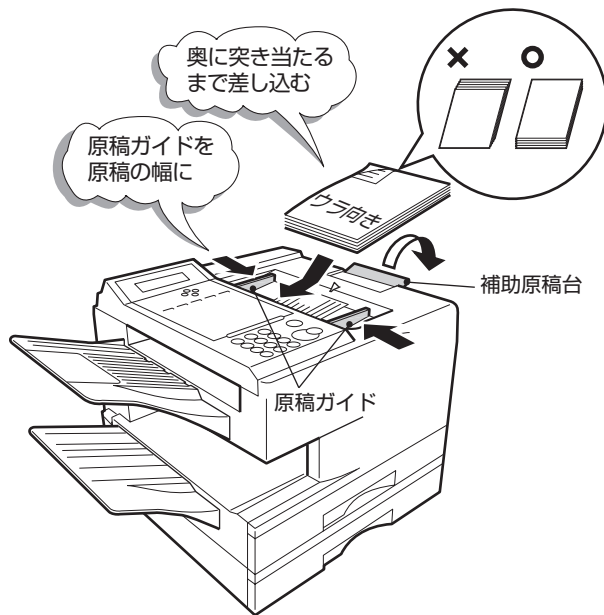
セット ボタン
選択した内容を確定するときに押します。

モニター ボタン
受話器（オプション）を置いたまま、ダイヤルするときに押します。

⑩ ストップ ボタン
送信やコピー、登録などを途中でやめるとき、または、アラーム音を止めるときに押します。

コピー ボタン（☞40 ページ）
コピーするときに押します。

スタート ボタン
ファクスの送信や受信をするときに押します。

原稿のセットのしかた

原稿をセットする

原稿は正しくセットしてください。原稿づまりなどのトラブルの原因になります。

1 原稿ガイドを合わせる

・原稿ガイドをスライドさせて、原稿の幅に合わせます。

2 送る面をウラ向きにする

3 奥に突き当たるまで差し込む

お知らせ

● B４サイズ以上の原稿をセットするときは、補助原稿台を開いて使います。

原稿について

原稿のサイズ

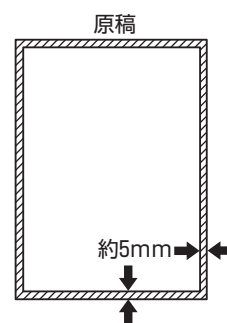
送信またはコピーできる原稿は、次のサイズのものに限ります。次のサイズ以外の原稿は、複写機でコピーしてから送信、またはコピーしてください。

	1枚だけセットするとき	複数枚の原稿をセットするとき
最大	297 × 2000mm（最大読み取り幅は 292mm）	297 × 420mm（最大読み取り幅は 292mm）
最小	148mm × 105mm	148mm × 105mm
1度にセットできる枚数	-------------------------	30 枚
原稿の紙厚	0.05 ～ 0.15mm	0.06 ～ 0.1mm
原稿の紙質	上質紙相当（表、裏ともコーティングのないもの）	

- 複数の原稿をセットするときは、同一サイズで同質の原稿をセットしてください。
- 原稿の厚さが 0.1mm を越え、0.13mm 以下のときは最大 20 枚までしかセットできません。

有効読み取り画面について

原稿の端に文字などを記入すると、相手の記録紙にプリントされない場合があります。
右図の斜線部分には、文字などを記入しないようにしてください。

- 最大の有効読み取り幅は 292mm です。セットした原稿の幅が、292mm より大きい場合は、読み取ることができない範囲があります。
- ファクス送信するときに、システム登録の「007 発信元印字」（☛118 ページ）が“原稿内”に設定されている場合は、先端および後端から 10mm まで文字などを書かないでください。発信元情報を送るため、相手の記録紙にプリントされません。

相手機種との送信について

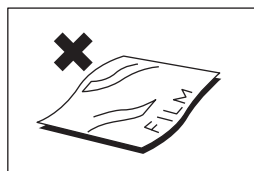
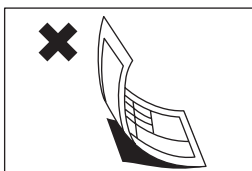
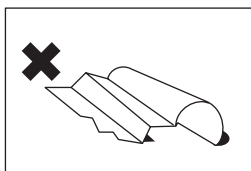
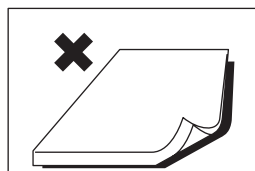
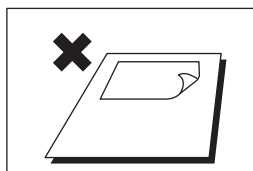
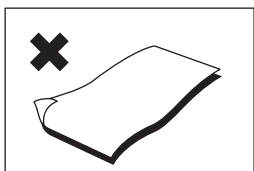
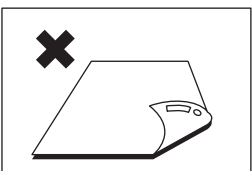
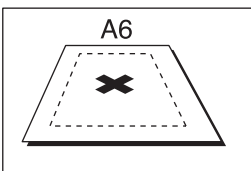
送信する相手にセットされている用紙のサイズに応じて、自動的に縮小して送信します。

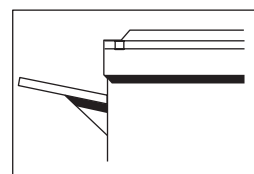
送信原稿 / 相手機	A3	B4	A4
G 3　A3 機	そのまま	そのまま	そのまま
G 3　B4 機	B4 に縮小	そのまま	そのまま
G 3　A4 機	A4 に縮小	A4 に縮小	そのまま

原稿についてのご注意

原稿をセットするときは、次のようなことにご注意してください。

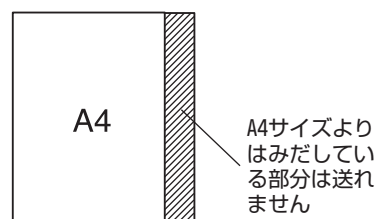
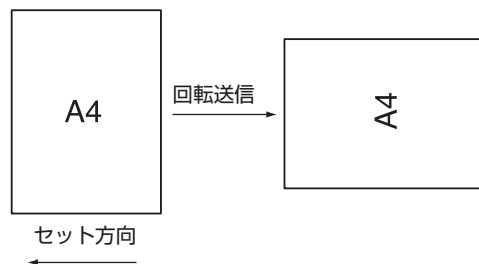
■インクなどの乾いていない原稿は、完全に乾かしてからセットしてください。（読み取り部の汚れの原因）
■原稿にクリップやホチキスの針を付けたままセットしないでください。（故障の原因）

次のような原稿は、複写機でコピーしてから、送信してください。

フィルム状の原稿、トレーシングペーパーのような透明な原稿

感圧紙、裏カーボン紙などの化学処理をした原稿

破れ、しわ、カールや折り目のついた原稿

紙厚の厚すぎる（0.15mm　を超える）原稿、布地、金属シート、印画紙

貼り合わせた原稿

紙厚の薄すぎる（0.05mm 未満）原稿

表または裏がコーティングされている原稿

A6（148mm×105 mm）より小さい原稿

→

複写機

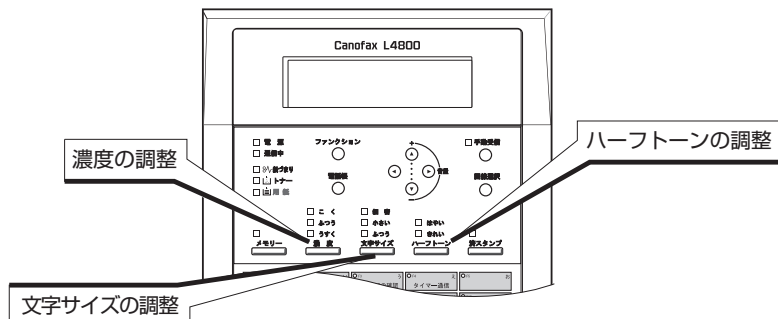
これらの原稿は、あらかじめ別の用紙にコピーしておいたものを、送信してください。

原稿サイズとセット方向について

本機ではセットされた原稿のサイズと向きを自動で検知するセンサーが原稿挿入口と原稿台についています。
従来ですと A4 原稿の長辺側を原稿挿入口にセットするとA3 サイズと認識し送信するため、相手機に A3 等倍受信能力がない場合は縮小送信していました。
本機では原稿長検出センサー（☛16 ページ）によりA4▯と認識し自動的に画情報を 90° 回転して A4▭として等倍送信します。

お知らせ

- 回転送信した場合、定型サイズの部分しか送ることはできません。
- しわやカールのきつい原稿は原稿台のセンサーが誤動作しますので、しわやカールを伸ばしてからご使用ください。
- A5 より小さい原稿（A6 サイズ）は A5として検知します。
- お買い上げ時の設定では、システム登録の「078 回転送信」は " あり " になっています。（☛119 ページ）

画質の選び方

セットした原稿に合わせて、濃度・文字サイズ・ハーフトーンを選ぶことができます。
●濃度を選ぶとき　　　　　：原稿の濃さに合わせて選んでください。
●文字サイズを選ぶとき　　：原稿の文字の大きさに合わせて選んでください。
●ハーフトーンを選ぶとき　：写真やカタログなどの原稿を送るときに選んでください。

濃度を選ぶ

濃　度 を押して選びます。

原稿	設定
文字が薄い原稿	■こく □ふつう □うすく 濃　度
普通の濃さの原稿	□こく ■ふつう □うすく 濃　度
色紙などのように紙の色の濃い原稿	□こく □ふつう ■うすく 濃　度

文字サイズを選ぶ

文字サイズ を押して選びます。

原稿	設定
特に細かい文字の原稿	■細　密 □小さい □ふつう 文字サイズ
新聞などのように細かい文字の原稿	□細　密 ■小さい □ふつう 文字サイズ
普通の大きさの文字の原稿	□細　密 □小さい ■ふつう 文字サイズ

ハーフトーンを選ぶ

ハーフトーン を押して選びます。

原稿	設定
中間調を生かして早く送信したいとき	■はやい □きれい ハーフトーン
よりきれいに送信するとき	□はやい ■きれい ハーフトーン
ハーフトーンを使わないで送信したいとき	□はやい □きれい ハーフトーン

お知らせ

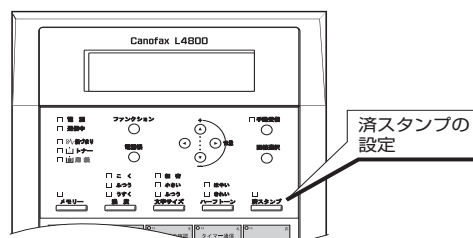
● よくお使いになる画質を登録しておけば、原稿をセットするたびに設定を変える手間が省けます。システム登録の「001 原稿濃淡」「002 文字サイズ」「003 ハーフトーン」（☞118 ページ）

済スタンプの使い方

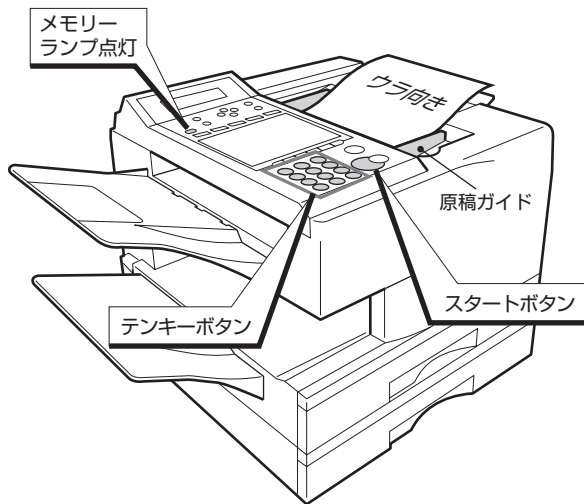
送信済みの原稿に㊔マークを押すことができます。

済スタンプ を押して切り替えてください。

㊔マークを押したいとき　■ 済スタンプ

㊔マークを押さないとき　□ 済スタンプ

お知らせ

●済スタンプの色はピンクです。押された済スタンプは消えません。
●済スタンプをトレーシングペーパーなどの表面処理された原稿に使用すると、にじむことがあります。
●済スタンプの設定はダイレクト送信用でシステム登録の「004 済みスタンプ」と、メモリー送信用でシステム登録の「028 メモリー済スタンプ」の2つがあり、ダイレクト送信またはメモリー送信指定（メモリーボタンを押しての変更）に連動して、自動的に済スタンプの設定が切り替わります。お買い上げ時の設定はそれぞれ“あり”になっています。（☞118 ページ）

ファクスを送る

直接ダイヤルで送る

■ メモリー ランプ点灯状態で
・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする
・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☞24 ページ）

```
  5月11日（日）17:15   00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ダイヤルする（最大 52 桁）

```
メモリー送信     宛先数：  0000

012XXXXXXX              外線
```

3 を押す

・原稿読み取り開始されます。
・読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。（★）

```
メモリー送信       受付 No.001
ダイヤル中（外線）
012XXXXXXX
```

お知らせ

- 宛先をまちがえたときは、クリアー を押して再指定してください。
- 送信を途中でやめるときは、ストップを押したあとに 1（はい）を押してください。
- 直接ダイヤルでは、テンキーボタン（０～９、＊、＃）、ポーズ（-）、トーン（/）が使えます。
- 回転ダイヤル式回線をお使いの場合で トーン に切り替えたいときは トーン を押します。

★お買い上げ時の設定で１宛先の指定は、クイックメモリー送信となります。

内線の相手にファクスを送る

本機では、「外線」用の電話回線のほかに「内線」としてもう１本電話回線を接続することができます。
「内線」に接続した電話回線を使ってダイヤルするときは、次のようにしてください。

1 原稿をセットする

```
  5月11日（日）17:15   00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 回線選択 を押し、「内線」を表示させる

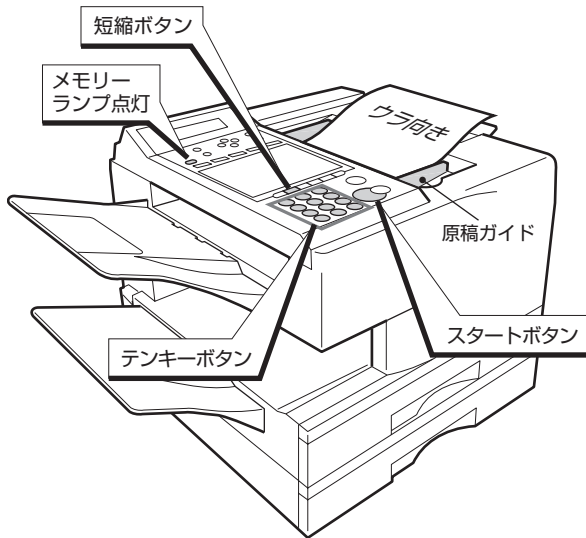
```
メモリー送信     宛先数：  0000

                        内線
```

3 宛先を指定し スタート を押す

・原稿を読み取り、送信が開始されます。

ファクス

短縮ダイヤルで送る

あらかじめ短縮ダイヤルを登録しておいてください。（☞92 ページ）短縮ダイヤルは０００～９９９までの任意の２００か所をお使いになれます。

■メモリー ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。（☞24 ページ）

```
 5月１１日（日）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 短縮 を押す

```
メモリー送信    宛先数： 0000

短縮：＿   （３桁）
```

3 短縮番号(000～999)を選ぶ

・テンキーボタンで短縮番号を選びます。

```
メモリー送信    宛先数： 0001
ＣＡＮＯＮ
短縮：001（３桁）
```

4 スタート を押す

・原稿読み取りが開始されます。
・読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。（★）

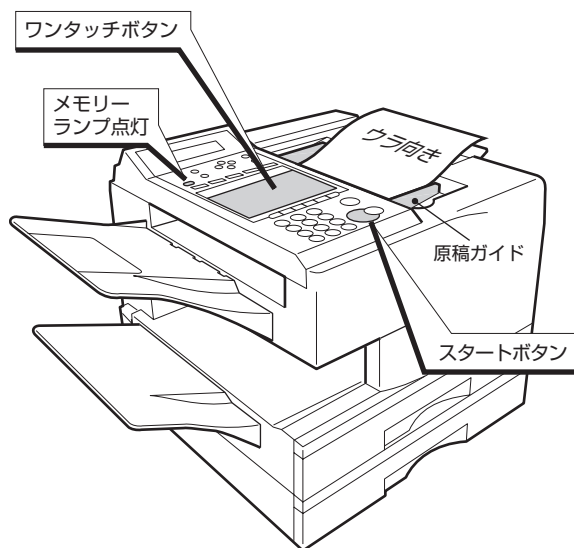
```
メモリー送信     受付 No.001
ダイヤル中（外線）
ＣＡＮＯＮ
```

お知らせ

● 宛先をまちがえたときは、ストップを押してください。
● 送信を途中でやめるときは、ストップを押したあとに①（はい）を押してください。

★お買い上げ時の設定で１宛先の指定は、クイックメモリー送信となります。

ワンタッチダイヤルで送る

あらかじめワンタッチダイヤルにダイヤル番号を登録しておいてください（☞90 ページ）。

■ メモリー **ランプ点灯状態で**
・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。（☞24 ページ）

2 ワンタッチボタン（01～50、F1～F10）を押す（★）

メモリー送信　　宛先数：0001
東京本社
ワンタッチ：01

3 スタート を押す

・原稿読み取りが開始されます。
・読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。（★★）

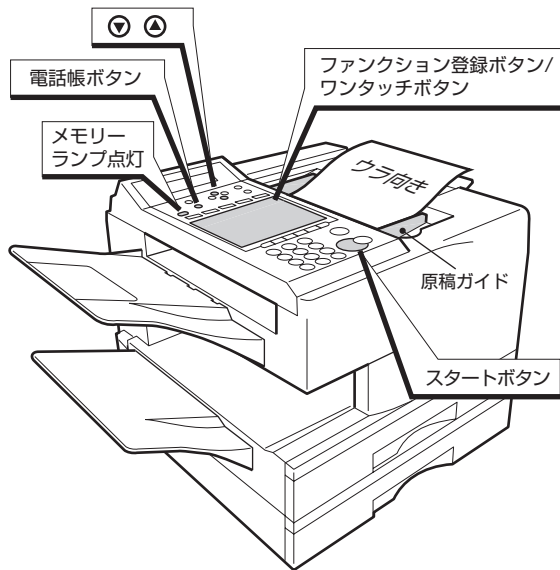
メモリー送信　　　受付 No.001
ダイヤル中（外線）
東京本社

お知らせ

- 宛先をまちがえたときは、ストップ を押してください。
- 送信を途中でやめるときは、ストップ を押したあとに 1 （はい）を押してください。

★ファンクション登録ボタン [F1] ～ [F10] にダイヤル番号を登録して（☞90 ページ）おけば、ワンタッチボタンと同じようにしてファクスを送ることができます。
★ワンタッチボタンに複数宛先を登録されている場合は1回の操作で、複数宛先の指定ができます。（☞96 ページ）
★★お買い上げ時の設定で1宛先の指定は、クイックメモリー送信となります。

電話帳ダイヤルで送る

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録(☞89 ページ)してある宛先を、電話帳ダイヤルを使い宛先名で探してダイヤルできます。

■メモリー ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☞24 ページ）

```
 5月11日（日）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 電話帳 ○ を押す

```
  ＊     電話帳     ＊
検索文字（あ～わ）を指定して
ください
```

3 検索文字を選ぶ

・ファンクション登録ボタンとワンタッチボタンを使って検索文字を選びます。
・ファンクションＦ１～Ｆ１０：あ～こ
ワンタッチ０１～３８　　　：さ～ん

```
[ と ]            短縮 ：012
宛先名：東北支店
```

4 ▼ ▲ を押して宛先を選ぶ

例：「東京本社」

```
[ と ]        ワンタッチ ：01
宛先名：東京本社
```

5 スタート を押す

・原稿読み取りが開始されます。
・読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。（★）

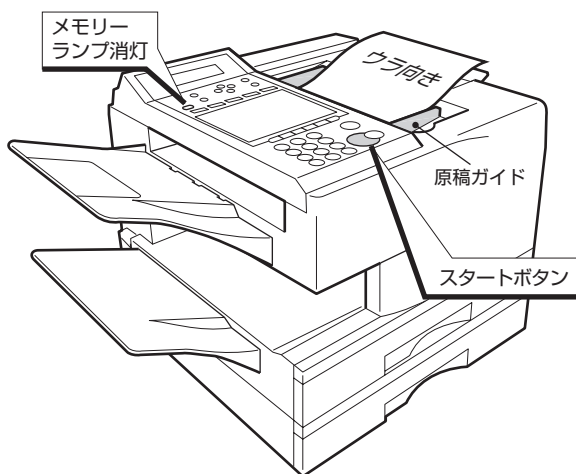
```
メモリー送信       受付 No.001
ダイヤル中（外線）
東京本社
```

お知らせ

● 宛先をまちがえたときは、ストップを押してください。
● 送信を途中でやめるときは、ストップを押したあとに１（はい）を押してください。

★お買い上げ時の設定で１宛先の指定は、クイックメモリー送信となります。

ダイレクト送信をする

原稿の枚数が多いなどでメモリーに入りきらないときにお使いください。

メモリー ランプ消灯状態で

・点灯しているときは、押して消灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☞24 ページ）

```
  5月11日（日）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 宛先を指定する

```
ダイレクト通信

012XXXXXXX          外線
```

3 を押す

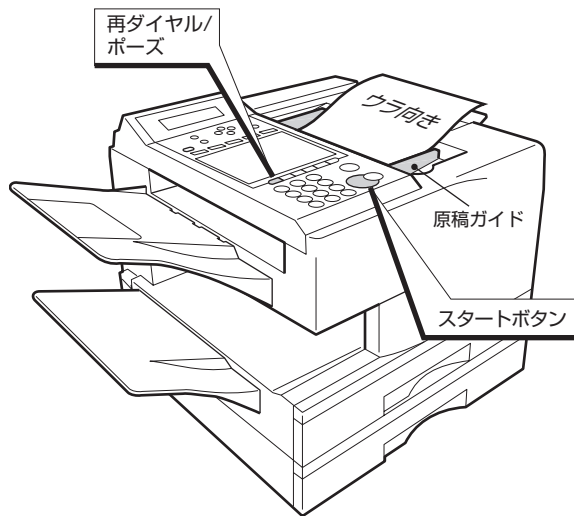
・宛先にダイヤルし、送信が開始されます。

```
ダイレクト通信      受付 No.001
ダイヤル中（外線）
012XXXXXXX
```

お知らせ

- ダイレクト送信を途中でやめるときは、（ストップ）を押したあとに（1）（はい）を押してください。
- 手順 2 で宛先は直接ダイヤル、短縮ダイヤル、ワンタッチボタン、電話帳ボタンから選べます。
- 短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤルは（スタート）を押さなくても自動的にダイヤルが開始されます。

再ダイヤルで送る

最後に通信をした宛先に、もう一度ファクスを送ります。

再ダイヤル/ポーズ
ウラ向き
原稿ガイド
スタートボタン

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☞24 ページ）

```
5月11日（日）17:15　00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 を押す

・原稿読み取りが開始されます。
・読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。（★）

```
メモリー送信　　受付 No.001
ダイヤル中（外線）
012XXXXXXX
```

お知らせ

★お買い上げ時の設定で１宛先の指定は、クイックメモリー送信となります。

自動再ダイヤル

相手が話し中などでつながらなかった場合、約３分間隔で２回まで自動的に再ダイヤルします。

メモリー送信をしたとき

●再ダイヤル待ちのとき

```
メモリー送信　　受付 No.001
再ダイヤル待ち
C A N O N
```

・３分間隔で２回まで自動的に再ダイヤルします。

●再ダイヤルを取り消すには、ディスプレイに「再ダイヤル待ち」が表示されているときに（ストップ）（1）を押します。

●再ダイヤル待ちのときに、次の送信をしたいときは、通常どおり送信してください。

●つながらなかったときは、エラーメッセージ「相手先が使用中です」が表示されます。

ダイレクト送信をしたとき

●再ダイヤル待ちのとき

```
ダイレクト通信　　受付 No.001
再ダイヤル待ち
C A N O N
```

・３分間隔で２回まで自動的に再ダイヤルします。

●再ダイヤルを取り消すには、

（ストップ）（1）を押します。

●再ダイヤル待ちのときに、次の送信をしたいときは、（ストップ）（1）を押して取り消してから送信してください。

●つながらなかったときは、エラーメッセージ「相手先が使用中です」が表示されます。

回転送信について

A4 原稿を「← 」方向へセットしたとき、読み取った画像を 90° 回転して送信して、相手の A4 用紙に等倍送信します。

1 システム登録を選ぶ
・ファンクション ⑦ ④ セット

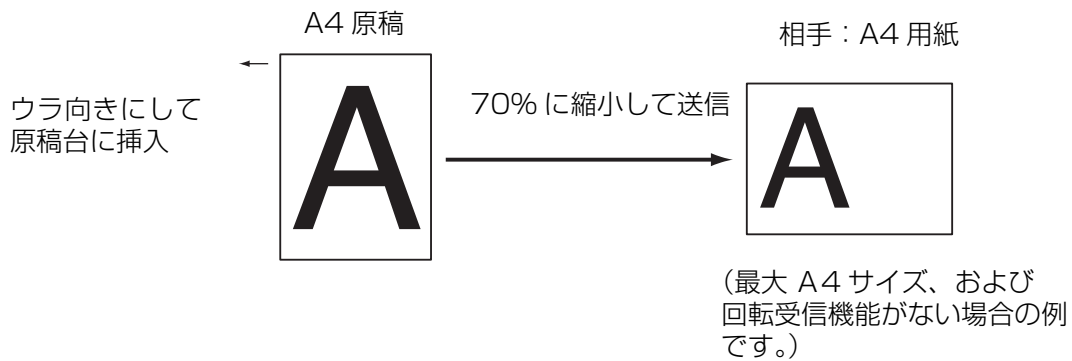
2 回転送信の設定を選ぶ
・ ⓪ ⑦ ⑧ セット

078 回転送信　設定:1
1．なし　2．あり

3 回転送信を有効にする
・② セット

4 ストップ を押す
・待機状態に戻ります。

回転送信をしない場合

（最大 A4 サイズ、および回転受信機能がない場合の例です。）

回転送信を有効にした場合

お知らせ

- ●回転送信は、メモリー送信（メモリーランプが点灯）のときにご利用できます。ダイレクト送信（メモリーランプが消灯）では、回転送信は行いません。
- ●お買い上げ時の設定では、システム登録の「078 回転送信」は " あり " になっています。（☞119 ページ）

メモリーがいっぱいになると

システム登録の「082 クイックメモリー送信」（☛119 ページ）の設定が " あり " のときにメモリーがいっぱいになると、蓄積された部分までを自動的に送信します。メモリーに蓄積されたページの送信終了後、残りの原稿を送信し直してください。また、設定が " なし " のときにメモリーがいっぱいになった場合は、次のどちらかの操作をしてください。

●1：実行　完全に蓄積されたページまでを送信します。残りの原稿を送信し直してください。
●2：中止　動作を中止し、メモリーの内容の消去を行います。再度すべての原稿を「ダイレクト送信」してください。

1 アラームが鳴る

メモリーが一杯になりました
動作を指定してください
1：実行　　2：中止

2 ①または②を押す

お知らせ

● 1ページ目でメモリーがいっぱいになったときは、送信することはできません。
●取り消しの選択画面が表示されてから、約 1 分、何も操作しないと、自動的にメモリーの内容が宛先に送信されます。
●システム登録の「082 クイックメモリー送信」（☛119 ページ）の設定が " なし " のとき、宛先数が1つで複数枚メモリー送信する場合、メモリー使用量が70%を超えた場合は、自動的にダイレクト送信に切り替わって送信します。

通信結果レポート

送信やポーリング受信などをしたとき、宛先や通信結果をレポートにしてプリントできます。

●システム登録の「012 通信結果レポート」を設定すれば、レポートのプリント方法を選択できます。（☛118 ページ）
●お買い上げ時は、通信エラーのときだけレポートをプリントします。

01頁
L4800　Ver　V00000
CANON
08年05月11日17時24分

通信結果レポート

＊＊＊　未通信があります。＊＊＊

受付番号：012
受付日時：05月11日17時15分
完了日時：05月11日17時24分

発信元情報について

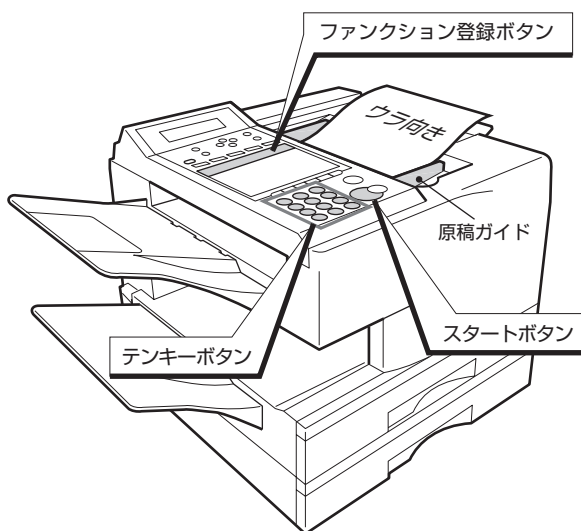
ファクスを送信したとき、発信元に登録（☛129 ページ）された会社名や部署名を通信時刻などと一緒に相手の用紙の先端にプリントできます。

相手用紙のプリント例：

'08年05月11日(日)17時15分　宛先:CANON本社　　発信：CANON営業　　R:204　P.01／01

電話番号を組み合わせて送る（ハイブリッドダイヤル）

ハイブリッドダイヤルを使えば、短縮ダイヤルやワンタッチボタンに登録した電話番号を組み合わせてお使いになることができます。

● あらかじめファンクション登録ボタン（F 1～F 10）のいずれかにハイブリッドダイヤルを登録してください。（☞101 ページ）

例：「ワンタッチボタン 02」に登録されている「0088」と、「短縮ダイヤル 001」に登録されている「012XXXXXXX」を組み合わせてダイヤルする場合

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。（☞24 ページ）

5月11日（日）17:15　00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています

2 ハイブリッドダイヤルを選ぶ

・ハイブリッドダイヤルが登録されているファンクション登録ボタンを押します。

3 組み合わせるダイヤルを選ぶ（ダイヤルの組み合わせ最大桁数：52 桁）（★）

例：「ワンタッチボタン 02」と「短縮ダイヤル 001」を組み合わせる。

ワンタッチボタン「０２」を押す

メモリー送信　宛先数：0000
ワンタッチ：０２
0088　外線

▼

短縮ダイヤル「００１」を選ぶ

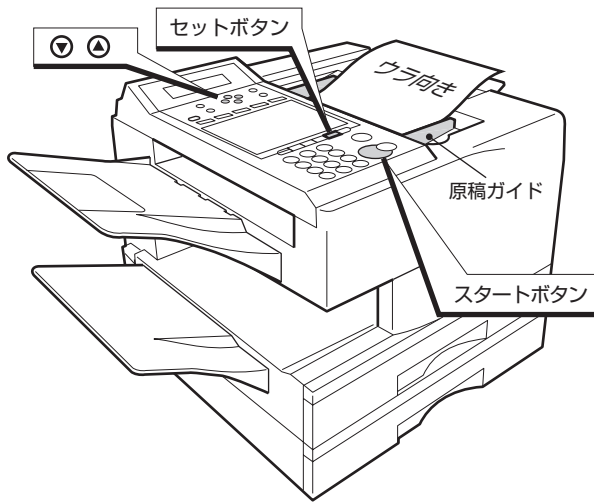
メモリー送信　宛先数：0000
短縮：００１（3 桁）
0088012XXXXXXX　外線

4 を押す

・原稿読み取りが開始されます。
・読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。（★★）

お知らせ

●ハイブリッドダイヤルでは、電話帳ボタンで宛先を選ぶことはできません。
●複数の宛先が登録されているワンタッチボタンをハイブリッドダイヤルの宛先に指定することはできません。
●途中でダイヤルをやめるときは、（ストップ）を押してください。
●電話をお使いのときは、ハイブリッドダイヤルを指定することはできません。

★ワンタッチボタンに複数宛先を登録されている場合は１回の操作で、複数宛先の指定ができます。（☞96 ページ）
★★お買い上げ時の設定で１宛先の指定は、クイックメモリー送信となります。

宛先確認のしかた

システム登録の「125 宛先確認」(☞120 ページ)を"あり"にすると、送信を開始する前に指定した宛先を確認しないと、送信できないようになります。
誤って別の相手に送信するなどの誤送信を防止することができます。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
(☞24 ページ)

5月11日(日)17:15 00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています

2 宛先を指定する

・直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳ダイヤル
(☞25 ページ〜 28 ページ)
・最大 2 2 0宛先まで指定できます。
「複数宛先の指定のしかた」
(☞35 ページ)

3 セット を押す

メモリー送信　宛先数: 0001
宛先を追加してください
又は　スタートで通信します

4 を押す

メモリー送信　宛先数: 0001
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください

5 ▼または▲で宛先を確認する

メモリー送信　宛先数: 0001

012XXXXXXX　外線

・宛先確認を行わないと送信できません。

6 を押す

・原稿を読み取り、送信が開始されます。

お知らせ

- 手順5で宛先を追加する場合、不足している宛先を追加し、手順3からの操作を繰り返します。
- 手順5でまちがえた宛先を指定していた場合、▼ ▲ ボタンで宛先を表示させてから クリアー を押し、宛先を再指定してください。この場合は手順3からの操作を繰り返します。

複数宛先の指定のしかた（順次同報送信）

宛先は直接ダイヤルで２０か所、短縮ダイヤル・ワンタッチボタンのうちで２００か所の計２２０か所まで指定できます。

●直接ダイヤルで選ぶ→［宛先の電話番号］＋［セット］→次の宛先を選べる

●短縮ダイヤルで選ぶ→［短縮］＋［指定する短縮番号］→次の宛先を選べる

●ワンタッチボタン･ファンクション登録ボタンで選ぶ
→指定するワンタッチボタン・ファンクション登録ボタンを押す→次の宛先を選べる

●電話帳ボタンで選ぶ
→［電話帳］→［検索文字を選ぶ］＋［宛先を表示させる］＋［セット］→次の宛先を選べる

●ハイブリッドダイヤルで選ぶ
→［ハイブリッドダイヤル］＋［組み合わせる短縮ボタンまたはワンタッチボタン］＋［セット］→次の宛先を選べる

例：「０１２ XXXXXXX 」「ワンタッチボタン０１」「短縮ダイヤル００１」を指定する。

6 ［セット］を押す

7 ［スタート］を押す

・原稿を読み取り、送信が開始されます。

お知らせ

●複数宛先指定の途中で▼ ▲ボタンを押すと、指定した宛先の確認ができます。

●まちがった宛先を指定したときは、▼▲ボタンで宛先を表示させてから［クリアー］を押してください。

ファクス

複数の宛先に送信したくないときは

本機では、直接ダイヤルや短縮 / ワンタッチダイヤルなどを組み合わせて、同じ原稿を複数の宛先にファクス送信できます。複数の宛先に送信したくない場合は、システム登録の「１１７複数宛先指定」の設定を“なし”にすることで、１宛先だけに送信するように設定されます。（☞120 ページ）
誤って複数の宛先へ送信する操作を防ぎたい場合に便利です。

お知らせ

- 複数宛先指定が“なし”に設定されている場合は、複数宛先へ送信できません。
- 複数宛先指定が“なし”に設定されている場合、グループダイヤルは使用できません。
- 複数宛先指定が“なし”に設定されている場合も、複数宛先を設定しているプログラムダイヤルは使用できます。

誤送信防止について

直接ダイヤルで宛先を指定する場合、誤った宛先への送信を防止するため、次の２つの機能が用意されています。

■直接ダイヤル制限機能
直接ダイヤル（手動送信を含む）による宛先の指定を、すべて禁止する機能です。

- この機能は、システム登録の「136 直接ダイヤル制限」の設定が“あり”の場合に機能します。（☞120 ページ）
- この機能を設定すると、再ダイヤルボタンは使用できません。
- 再ダイヤル待ちが表示されている場合も拒否されます。

■ダイヤル再入力機能
直接ダイヤルで宛先を指定するときに、宛先の再入力画面が表示され、1 回目と 2 回目の宛先が一致した場合にだけ送信が開始される機能です。

- この機能は、システム登録の「137 直接ダイヤル再入力」の設定が“あり”の場合に機能します。（☞120 ページ）
- システム登録の「136 直接ダイヤル制限」の設定が“あり”の場合、本機能で“あり”を設定しても、宛先の再入力画面は表示されません。（☞120 ページ）

1 **「直接ダイヤルで送る」の送信操作をする（☞25 ページ）**

2 **電話番号を、もう一度入力し**

を押す

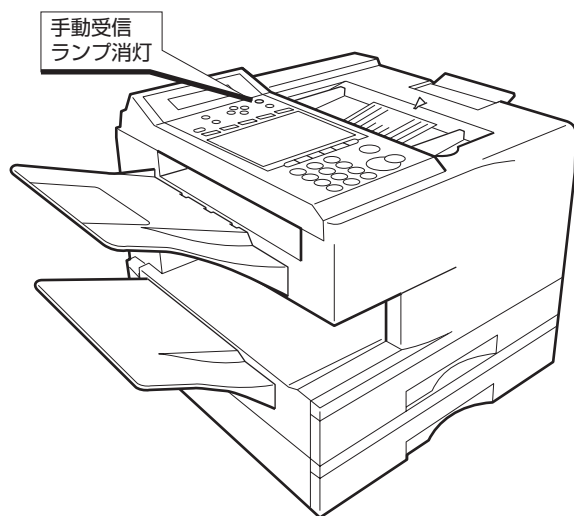
3 **電話番号が一致すると、送信が開始されます**

・電話番号が一致しない場合は、1 回目の電話番号の入力から、操作し直します。

メモリー送信　受付 No．001
ダイヤル中（外線）
012XXXXXXX

お知らせ

- 誤送信を防止する機能には、ここで説明する機能のほかに、宛先を確認する操作、および複数宛先を禁止する操作があります。それぞれ、「宛先確認のしかた」（☞34 ページ）、「複数の宛先に送信したくないときは」（上記）を参照してください。

ファクスを受ける

自動受信のしかた

相手がファクスを送ってくると、自動的に受信を始めます。

□ 手動受信 ランプ消灯状態で
・点灯しているときは、押して消灯させる。

1 相手がファクスを送ってくると、呼出音が一回鳴りつながる

2 自動的に受信が始まる

相手と話してから受信する（手動受信）

本機にオプションのハンドセットユニットを接続してお使いになっている場合、接続した受話器で話をしたあとファクスの受信ができます。

手動受信
ランプ点灯

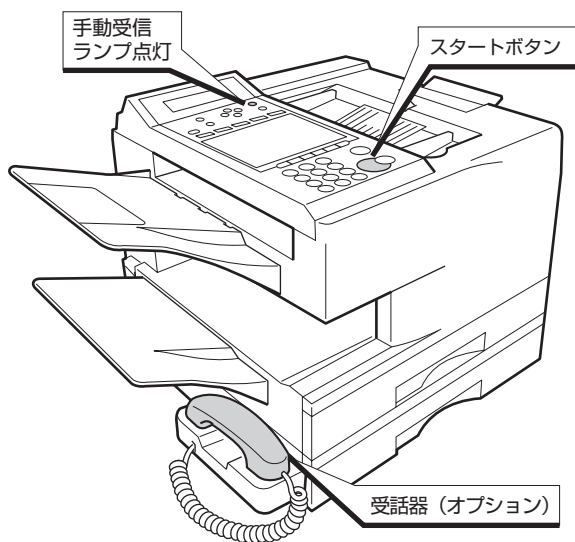
スタートボタン

受話器（オプション）

■ 手動受信 ランプ点灯状態で
・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 呼出音が鳴ったら受話器を上げる

2 相手と話をする（★）

3 原稿をセットしないで（スタート）を押す

4 受話器を戻す（★★）

★受話器を上げたときに何も聞こえない場合は、手順3の操作をして受信に切り替えてください。

★★（スタート）を押す前に受話器を戻すと、電話が切れます。

● オプションのハンドセットユニットをお使いになるときは、システム登録の「075 OP ハンドセット」の設定を“あり”にしてください。（☞119 ページ）

メモリー代行受信

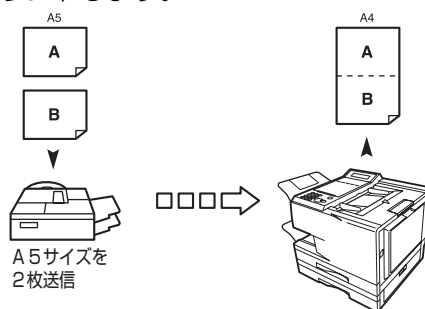
用紙がなくなったなどでプリントできなくなっても、メモリーが代わりに受信します。

1 用紙がなくなるとメモリーが代わりに受信する	2 受信が終わる	3 用紙を補給する ・プリント開始。

お知らせ

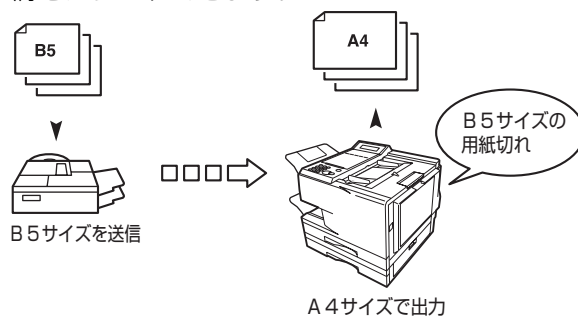
- メモリーには制限があります。用紙は早めに補充してください。（☞142 ページ）
- システム登録の「066 代行出力」の設定が“あり”になっているときは、適正サイズの用紙が無くなると、他のカセットにセットされている用紙に記録します。（☞119 ページ）
- メモリーには A ４標準原稿 (A ４サイズ７００字程度の原稿) で約１２０枚まで受信できます。
- システム登録の「009 受信時刻印字」の設定が“あり”になっているときは、45 通信までしか代行受信できません。（☞118 ページ）

2 in 1受信

相手が A ５サイズの原稿を２枚または、B ５サイズの原稿を２枚送ってきたとき、A ４または B ４サイズの用紙１枚にまとめてプリントします。

お知らせ

- システム登録の「067 受信 2in1 機能」の設定が“なし”になっているときは、2in1 受信できません。（☞119 ページ）

代行出力

本機は相手が送ってきた原稿に合わせて、受信した原稿を最適なサイズの用紙でプリントします。
代行出力の設定をしておけば、プリントの途中で用紙がなくなっても他のカセットにセットされている用紙を使って、受信した原稿をプリントできます。

お知らせ

- 他の用紙にはプリントしたくないときは、システム登録の「066 代行出力」の設定を“なし”にしておいてください。（☞119 ページ）

正順プリント

システム登録の「065 正順プリント」の設定を“あり”にすると、複数ページの受信をしたときに、プリントする順番を上から 1・2・3…ページと順に並べられます。(☛119 ページ)

お知らせ

- メモリー使用量が約 80%になると、正順プリントをしないで、そのままプリントします。

リモート受信

システム登録の「047 リモート受信」の設定を“あり”にすると、外部電話機で話をした後、外部電話機からの操作で受信に切り替えることができます。(☛119 ページ)

1 **外部電話機の受話器を上げ、相手と話をする**

2 **ファクスの受信に切り替える**
- ・プッシュホン式回線をお使いの場合：
  ⊛⊛(2秒以内に押す)
- ・回転ダイヤル式回線をお使いの場合：
  ⑨⑨(5秒以内にダイヤルする)

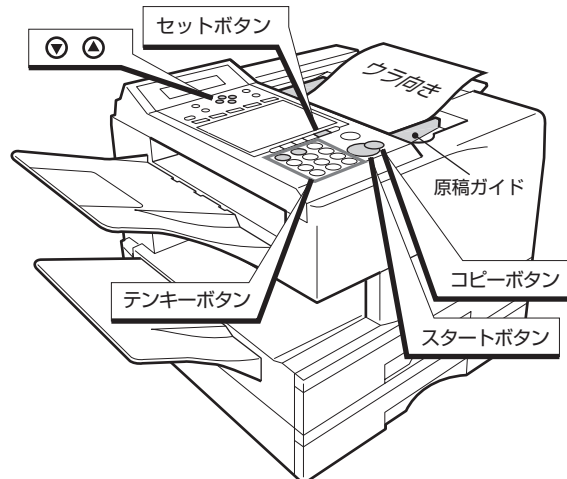
3 **受話器を戻す**

お知らせ

- 外部電話機から、電話をかけたときは、リモート受信できません。
- 手順1でファクス送信音「ポー・・ポー・・」が聞こえた場合、相手は自動送信のファクスです。手順2の操作をしてください。

コピーのしかた

コピーをするとき、次の３つの項目を選んでください。

- コピーの部数を指定する。
- ソートコピーまたはマルチコピーを選ぶ。
  - ・ ソートコピー：コピーする原稿をすべて読み取り、ページの順番を合わせて、指定部数をコピー
  - ・ マルチコピー：原稿を１枚ずつ読み取り、指定部数をコピー
- コピーする用紙を選ぶ。

1 図のように原稿をセットする

```
 5月11日（日）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 （コピー）を押す

```
コピー
部数＝ 1  倍率＝１００％
A4 →カセット１（A4）
```

3 コピーする部数（最大９９部）を入れる

・テンキーボタンでコピーする部数を入れます。

4 セット を押す

```
コピー
ソート指定
１：する       ２：しない
```

5 ①または②を選び セット を押す

１：する　→ソートコピーをする
２：しない→マルチコピーをする

```
コピー
用紙選択（１－２）
１：カセット１＝Ａ４
```

6 用紙カセットを①～④で選び セット を押す

・③、④はオプションカセット設定時に設定できます。

```
コピー
等倍
倍率＝１００％
```

7 ▼または▲を繰り返し押して固定倍率を選び セット を押す

・原稿を 90°回転させてコピー（回転記録）の設定を手動で切り替えるときは ＃（回転記録）を押します。

```
コピー
等倍
倍率＝１００％          回転
```

8 （スタート）を押す

・原稿を読み取り、コピーが開始されます。

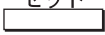
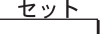
お知らせ

- コピーを途中でやめるときは、(ストップ)を押してください。
- 文字サイズは自動的に「細密」になります。
- 手順 2 で濃度、ハーフトーンを設定できます。ハーフトーンを設定したときは自動的に「きれい」になります。
- 手順 2 で原稿の大きさを認識し、原稿の大きさに合った用紙と倍率（縮小率）を自動的に選択します。認識した原稿の大きさと選択した用紙は、ディスプレイの下段に表示されます。
- A5 より小さい原稿（A6 サイズ）は、A5 サイズとして検知されます。
- 原稿と用紙の方向によって、原稿を 90°回転させてコピー（回転記録）をする場合があります。
- 異なったサイズの原稿をいっしょにセットしてコピーすると、正しくコピーできない場合があります。
- コピー中に用紙が無くなったときは、いったん読み取った原稿はメモリーから消去され、コピーは中断されます。用紙を補充し、まだコピーされていない原稿をもう一度セットして手順 1 から操作し直してください。
- 原稿を読み取り中にメモリーがいっぱいになった場合には、手順 4 で［ソートしない］を選択してコピーし直してください。
- 手差しトレイが開いている場合、手順 6 で手差しトレイの選択ができます。
- 回転ソートコピーをする場合は、システム登録の「083 回転ソート」の設定を“あり”にしてください。（☞119 ページ）
- 用紙サイズの表示に［＊＊＊＊］と表示されたときは、用紙カセットが正しくセットされていないか、手差しトレイの用紙サイズダイヤルが、表示の無いところに合わせてあります。正しくセットし直してください。
- 手順 6 で用紙を選択したときのコピー倍率は下表のようになります。手順 7 で変更します。

選択用紙 ＼ 原稿	用紙						
	A3	B4	A4	A4▯	B5▯	A5▯	はがき
A3	等倍	86%	70%	R70%	R61%	R50%	50%
B4	等倍	等倍	81%	R81%	R70%	R57%	50%
A4	等倍	等倍	等倍	R 等倍	R86%	R70%	50%
A4▯	等倍	R 等倍	R 等倍	等倍	86%	70%	R50%
B5▯	等倍	等倍	R 等倍	等倍	等倍	81%	R57%
A5▯	等倍	等倍	等倍	等倍	等倍	等倍	R 等倍

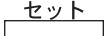
- 「R ～%」「R 等倍」は 90°回転してコピーします。
- 郵便はがきへコピーするときは、コピーされない部分ができます。

はがきサイズの原稿を、郵便はがきにコピーするときには

1 **原稿をセットする**
・原稿はコピーされる面を裏（下）にしてセットする。

2 **手差しトレイを開き、郵便はがきをセットし、用紙サイズダイヤルを「ハガキ」に合わせる**
・郵便はがきはプリントされる面を上にしてセットする。（☛148 ページ）

3 **を押す**
・はがきサイズ（A6）の原稿をセットすると、A5と検知します。

```
コピー
部数＝　1　倍率１００％
A5→テザシ（ハガキ）回転
```

4 **コピー部数を指定する**
・例：「②」

```
コピー
部数＝　2　倍率１００％
A5→テザシ（ハガキ）　回転
```

5 **［セット］を押してソート指定に切り替える。**
1 または 2 を選択して［セット］を押す

```
コピー
ソート指定
１：する　　　　２：しない
```

6 **◀ ▶ を押して手差しトレイを選択する**

```
コピー
用紙選択（１－３）
３：テザシ＝ハガキ
```

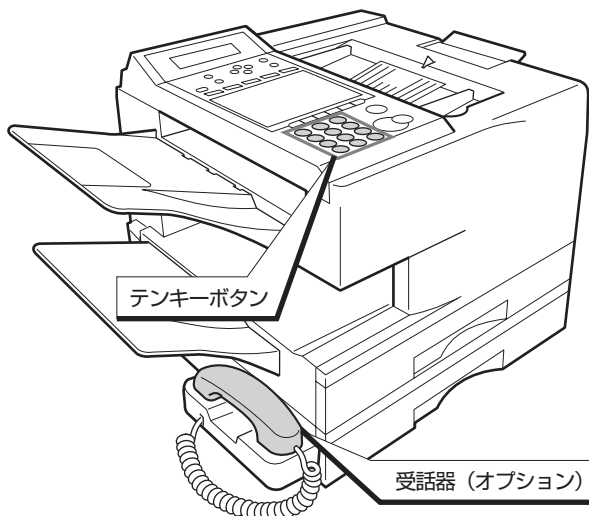
7 **［セット］を押す**

```
コピー
等倍
倍率＝１００％　　　　　回転
```

8 **［スタート］を押す**

```
マルチコピー　部数：０１／０２

プリントしています
```

お知らせ
- 郵便はがき以外の厚いはがきにコピーすると、印字品質が低下したり、紙づまりの原因となります。
- 手差しトレイに一度にセットできる郵便はがきは、最大 5 枚です。

電話の使い方（オプション）

電話をかける

1 受話器を上げる

・「ツー」が聞こえる。
・《通信中》ランプが点滅する。

5月11日（日）17:15　00%
通信とコピーができます
受話器が上がっています

2 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / 電話帳ダイヤル
・ダイヤルのしかた
（☞25 ページ～ 28 ページ）

5月11日（日）17:15　00%
ダイヤルしています
012XXXXXXX

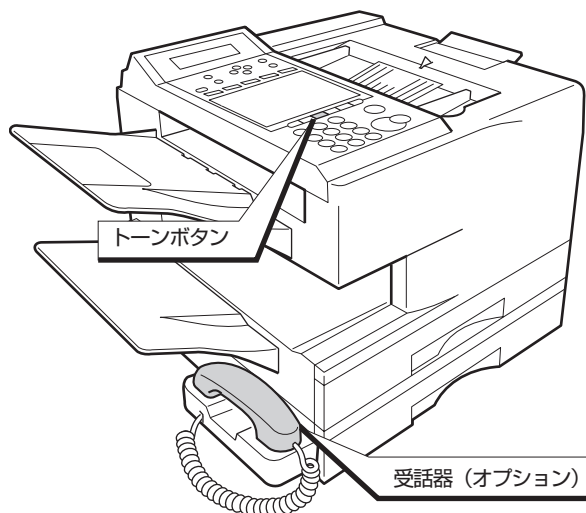
3 話をする

4 受話器を戻す

お知らせ

- オプションのハンドセットユニットをお使いになるときは、システム登録の「075 OP ハンドセット」の設定を“あり”にしてください。（☞119 ページ）
- 宛先をまちがえたときは、受話器を戻して、手順 1 からやり直します。
- 手順 2 でワンタッチダイヤルを使用したとき、「ピピピ」と鳴ったときは、グループダイヤル（☞96 ページ）として登録されているか、またはプログラムダイヤル（☞99 ページ）として登録されているワンタッチダイヤルを選んでいます。電話をかけることはできません。
- 電話のとき、「電話帳ボタン」でダイヤルする場合は、（スタート）を押します。
- （モニター）を押すと、受話器を上げないでダイヤルできます。電話がつながったら、受話器を上げてお話しください。

トーンボタンの使い方

回転ダイヤル式回線をお使いの方でも、プッシュホン信号（ピッポッパッ）を使って、銀行残高照会などの各種サービスをご利用になれます。

1 受話器を上げる「ツー」が聞こえる

・《通信中》ランプが点滅します。

```
 5月11日（日）17:15  00%
通信とコピーができます
受話器が上がっています
```

2 サービス提供元にダイヤルする

・サービス内容を確認します。

例：

```
 5月11日（日）17:15  00%
ダイヤルしています
12345678
```

3 [トーン] を押す

・プッシュホン信号に切り替えます。

・プッシュホン式回線の方は [トーン] を押す必要はありません。

```
 5月11日（日）17:15  00%
ダイヤルしています
12345678/
```

4 案内にしたがって、番号を押す

```
 5月11日（日）17:15  00%
ダイヤルしています
12345678/123
```

5 受話器を戻す

・受話器を戻すと、プッシュホン信号送出機能は解除されます。

お知らせ

● [モニター] を押すと、受話器を上げないでダイヤルできます。電話がつながったら、受話器を上げてお話しください。

プッシュホン信号で受けられるサービス例

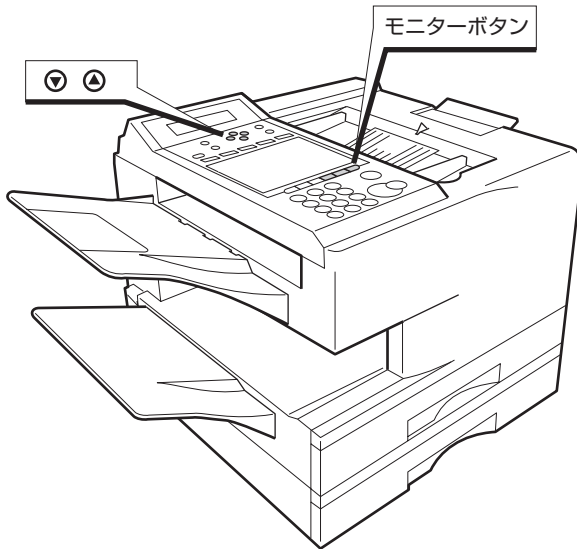
■JR 座席予約（※）
列車の空席状況を聞いたり、新幹線の座席予約ができます。

■航空券予約
国内航空大手の航空チケットが予約できます。

■銀行残高照会
口座の残高照会ができます。

■NTT の伝言ダイヤル（※）
待ち合わせの約束や外出中の連絡、伝言の録音／再生ができます。

（※）は、プッシュホン式回線利用者用のサービスです。ただし、「JR 座席予約」は、東京都区内とその周辺の方以外は、回転ダイヤル式回線でもご利用になれます。

音量の設定のしかた

モニター音量の設定

モニター を押したときなどに聞こえるスピーカー音の大きさを調整できます。

1 モニター を押す

5月11日（日）17:15　00%
ダイヤルしてください

2 ▼または▲を押す

・現在、設定されているモニター音量が表示されます。

5月11日（日）17:15　00%
モニター音量
小[■■■　　　　]大

3 ▼または▲を押して、モニター音量を調整する

・▲：モニター音が大きくなります。

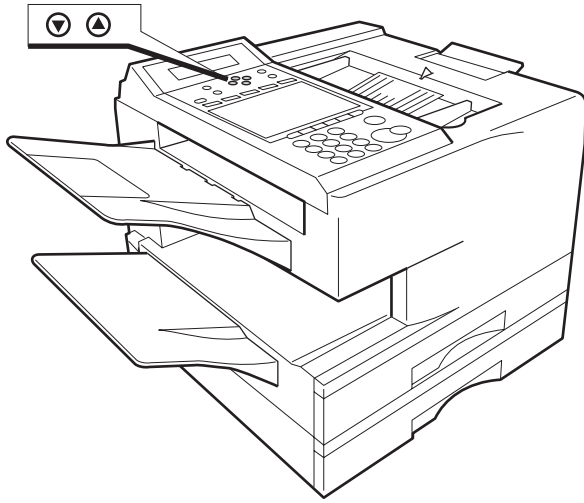
・▼：モニター音が小さくなります。

・音量は8段階まで調整できます。

・▼を押して、"■"表示を消すと、モニター音は聞こえなくなります。

5月11日（日）17:15　00%
モニター音量
小[　　　　　　　]大

4 モニター を押す

5月11日（日）17:15　00%
通信とコピーができます

呼出音量の設定

1 ▼または▲を押す

- 現在、設定されている呼出音量が表示され、1秒間、呼出音が鳴ります。

呼出音量
<<☎>>

2 ▼または▲を押して、呼出音を調整する

- テスト用の呼出音を聞きながら、お好みの大きさに調整します。
- ▲：呼出音が大きくなります。
- ▼：呼出音が小さくなります。
- 呼出音は3段階まで調整できます。

ポーリング通信

ポーリングパスワードが一致すると、ポーリング送信側にセットしている原稿をポーリング受信側の操作で取り出すことができます。このとき、通信費はポーリング受信側の負担となります。

● ポーリング通信は機種が限定されます。詳しくは、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

ポーリング送信

4 パスワード(4桁)を入れる

5 スタート を押す

・原稿読み取り開始。

6 相手からのポーリング受信の操作で、送信開始

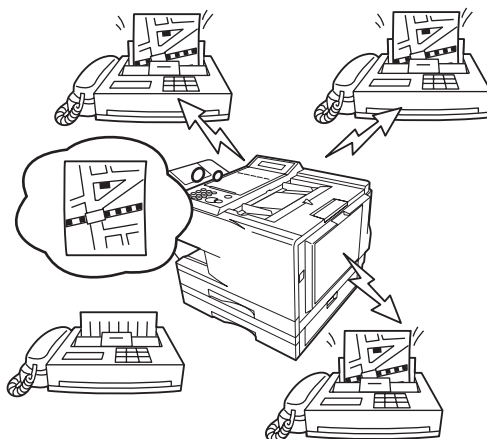
・送信が終わると、メモリーの内容は消去されます。

お知らせ

● ポーリング送信の指定を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
● ポーリング送信は、最大３０通信まで指定できます。
● ポーリング送信を解除するときは、「通信予約の消去」をしてください。(☞75 ページ)。
● ファンクション登録ボタンにポーリング送信の操作を登録しておけば、ファンクションボタンを押したあと、手順４からの操作をするだけでポーリング送信を指定できます。
● 原稿読み取り中にメモリーがいっぱいになったときは、ポーリング送信の登録はできません。

掲示板の使い方

システム登録の「027 ポーリング送信保存」の設定を“あり”にしておけば (☞118 ページ) ポーリング送信をしてもメモリーに読み込んだ原稿は消去されません。同じ原稿を複数の相手にポーリング送信 (掲示板送信) したいときにお使いください。

●掲示板送信を選んだとき、メモリーに読み込んだ原稿を消去したいときは、(☞75 ページ)「通信予約の消去」の操作をしてください。

相手を限定しないでポーリング送信をする

ポーリングパスワードを入れないでセットすればパスワードを使っていない相手にもポーリング送信できます。

1 原稿をセットする

2 ファンクション ③ を押す

ポーリング
1．ポーリング受信
2．ポーリング送信

3 ② を押す

ポーリング送信
パスワードを指定してください
■■■■（４桁）

4 スタート を押す

・原稿読み取りが開始されます。

●システム登録の「026 ポーリング用暗証番号の登録」を登録している場合は、手順３のあとクリアーボタンを押してから、スタートボタンを押してください。（☞118 ページ）

ポーリング受信

1 ファンクション ③ を押す

ポーリング
1．ポーリング受信
2．ポーリング送信

2 ① を押す

ポーリング受信
パスワードを指定してください
■■■■（４桁）

3 パスワード（４桁）を入れる

4 セット を押す

ポーリング受信　宛先数：　0000
宛先を指定してください

5 宛先を指定する

・最大２２０宛先まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☞35 ページ）

6 スタート を押す

・宛先にダイヤルし、ポーリング受信を始めます。

● ポーリング受信の指定を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
● プログラムダイヤルにポーリング受信の操作と宛先を登録しておけば、プログラムダイヤルを押すだけでポーリング受信ができます。（☞99 ページ）
● ファンクション登録ボタンにポーリング受信の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあと、手順３からの操作をするだけでポーリング受信ができます。（☞101 ページ）

タイマー通信

タイマー送信とタイマーポーリング受信、タイマー特殊通信他、通信予約を合わせて５０タイマーまで指定できます。

タイマー送信

あらかじめ指定した時刻に自動的に原稿を送信します。

1 原稿をセットする

2 ファンクション ① を押す

タイマー通信　（１－３）
番号入力または∨、∧
を入力してください

3 ① を押し、セット を押す

メモリー送信
予約時刻を指定してください
__ :

4 送信時刻を入れる
・時刻は24時間制で入れます。

5 セット を押す

メモリー送信　宛先数： 0000
宛先を指定してください

6 宛先を指定する
・直接ダイヤル　ワンタッチダイヤル　短縮ダイヤル　電話帳ダイヤル　ハイブリッドダイヤル　グループダイヤル
・最大２２０宛先まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☞35 ページ）

7 スタート を押す

・タイマー送信がセットされます。

タイマーポーリング受信

あらかじめ指定した時刻に自動的にポーリング受信を始めます。

1 ファンクション ① を押す

タイマー通信　（１－３）
番号入力または∨、∧
を入力してください

2 ② を押し、セット を押す

ポーリング受信
予約時刻を指定してください
__ :

3 受信時刻を入れる
・時刻は24時間制で入れます。

4 セット を押す

ポーリング受信
パスワードを指定してください
■■■■（４桁）

5 パスワード（４桁）を入れる

6 セット を押す

ポーリング受信　宛先数： 0000
宛先を指定してください

7 宛先を指定する
・直接ダイヤル　ワンタッチダイヤル　短縮ダイヤル　電話帳ダイヤル　ハイブリッドダイヤル　グループダイヤル
・最大２２０宛先まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☞35 ページ）

8 スタート を押す
・タイマーポーリング受信がセットされます。

お知らせ

- タイマー送信／タイマーポーリング受信の指定を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
- すでに５０件のタイマー通信を含む通信予約が予約されていると、これ以上タイマー通信をセットすることはできません。現在予約されているタイマー通信または他の通信予約を解除（☞75 ページ）するか、通信が終わってからセットし直してください。
- プログラムダイヤルにタイマー送信やタイマーポーリング受信の操作と宛先を登録しておけば、プログラムダイヤルを押すだけで通信を指定できます。（☞99 ページ）
- ファンクション登録ボタンにタイマー送信やタイマーポーリング受信の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあと、タイマー時刻をセットし、宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☞101 ページ）

タイマー特殊通信

本機でご利用になれる様々な通信を、通信時刻を指定してお使いになれます。

お知らせ

- タイマー特殊通信の指定を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
- すでに５０件のタイマー通信を含む通信予約が予約されていると、タイマー特殊通信をセットすることはできません。現在予約されているタイマー通信または他の通信予約を解除（☞75 ページ）するか、通信が終わってからセットし直してください。
- プログラムダイヤルにタイマー特殊通信の操作と宛先を登録しておけば、プログラムダイヤルを押すだけで通信を指定できます。（☞99 ページ）
- ファンクション登録ボタンにタイマー特殊通信の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあと、タイマー時刻をセットし、特殊通信の選択、宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☞101 ページ）

特殊通信一覧表

テンキーボタン	特殊通信の種類		参照ページ
③	ファイル送信		51 ページ
④	F コード通信	F コード送信	53 ページ
		F コード取り出し	54 ページ
⑥	F 網通信		55 ページ
⑦	F ポート通信		56 ページ

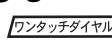
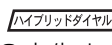
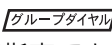
ファイル送信

会社までの地図など、頻繁に送る原稿を本機のメモリーに蓄積して何度でも送ることができます。
ファイル送信をお使いになれば、いちいち送信原稿をセットする手間が省けます。

ファイル蓄積

ファイル送信する原稿を本機のメモリーに蓄積します。メモリーに蓄積できるファイルは、１ファイルのみです。

お知らせ

- ファイル蓄積を途中でやめるときは、ストップを押してください。
- メモリーにはＡ４標準原稿で約１２０枚まで読み込めます。
- すでに蓄積されているファイルがあるときは、ファイル蓄積をすることはできません。蓄積されているファイルを消去（☞52 ページ）して、手順１からの操作をしてください。
- ファンクション登録ボタンにファイル蓄積の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押すだけでファイル蓄積ができます。（☞101 ページ）
- 原稿読み取り中にメモリーがいっぱいになったときは、ファイル送信の蓄積はできません。

ファイル送信

ファイル蓄積した内容を送信します。

3 宛先を指定する

- 直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳ダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル
- 最大２２０宛先まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☞35 ページ）

4

を押す

- 宛先にダイヤルし、ファイル送信を始めます。

お知らせ

- ファイル送信の操作を途中でやめるときは、ストップを押してください。
- ファイル送信をしても、メモリーに蓄積されている内容は消去されません。
- プログラムダイヤルにファイル送信の操作と宛先を登録しておけば、プログラムダイヤルを押すだけで通信を指定できます。（☞99 ページ）
- ファンクション登録ボタンにファイル送信の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあとに宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☞101 ページ）

ファイル消去

ファイル蓄積した内容を消去します。

お知らせ

- ファイル消去を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
- ファンクション登録ボタンにファイル消去の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押すだけで消去できます。（☞101 ページ）

ファイルプリント

ファイル蓄積した内容をプリントして確認できます。

お知らせ

- ファイルプリントの操作を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
- ファンクション登録ボタンにファイルプリントの操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押すだけでプリントできます。（☞101 ページ）
- ファイルプリントしても、メモリーに蓄積した文書は消去されません。

Fコード通信

当社機以外のファクスをお使いの相手とも、サブアドレスやパスワードを使って機密事項を保持した通信をすることができます。

- Fコード通信は、ITU-TのT30（SUB、SEP、PWD）機能を持っているファクスであれば、相手機種を限定しないでFコード通信ができます。
- Fコード通信をするには、メモリー機能を持つFコードセンター機が必要になります。

Fコード送信

Fコード送信は、Fコードセンター機に開設されているボックスの番号をサブアドレス番号で指定し、機密保持のためパスワードを使ってボックスに文書を送ります。

お知らせ

- Fコード送信の操作を途中でやめるときは、（ストップ）を押してください。
- プログラムダイヤルにFコード送信の操作と宛先を登録しておけば、プログラムダイヤルを押すだけで通信を指定できます。（☞99ページ）
- ファンクション登録ボタンにFコード送信の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあとにサブアドレス、パスワードおよび宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☞101ページ）

F コード掲示板登録の指定

あらかじめ掲示板ボックスを開設して、ボックスに文章を登録することができます。（☛108 ページ）

4 ボックス No.（2桁）を指定する

・まちがえたときは クリアー を押し、再度指定します。

5 セット を押す

・掲示板登録がセットされます。

お知らせ

- 掲示板登録の指定を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
- 掲示板登録の指定の手順５で開設していないボックス No. や、掲示板ボックスとして開設されていないボックス No. は指定できません。
- 原稿読み取り中にメモリーがいっぱいになったときは、掲示板登録の指定はできません。

F コード取り出し

F コードセンター機に開設されているボックス番号をサブアドレス番号で指定し、ボックスに保存されている文書を取り出します。

- F コード取り出しでは、F コード取り出し側が通信料金を負担します。

7 宛先を指定する

・直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳ダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル

・最大２２０宛先まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☛35 ページ）

8 スタート を押す

・F コードセンターへダイヤルし、保存されている文書の取り出しを始めます。

お知らせ

- F コード取り出しの操作を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
- プログラムダイヤルに F コード取り出しの操作と宛先を登録しておけば、プログラムダイヤルを押すだけで通信を指定できます。（☛99 ページ）
- ファンクション登録ボタンに F コード取り出しの操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあとにサブアドレス、パスワードおよび宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☛101 ページ）

F コード親展プリント

親展ボックスに登録された文書を引き出すことができます。(☛105 ページ)

1 ファンクション ◯ ② を押す

特殊通信　　　　　(3－7)
番号入力またはV、Λ
を入力してください

2 ④ セット ④ セット を押す

F コード親展プリント
ボックス No. を指定してください
＿　　　(2 桁)

3 ボックス No.(2桁)を指定する

・まちがえたときは クリアー を押し、再度指定します。

4 セット を押す

F コード親展プリント
暗証番号を指定してください
＿　　　　(4 桁)

5 暗証番号(4桁)を指定する

・まちがえたときは クリアー を押し、再度指定します。

6 セット を押す

・F コード親展プリントの出力がセットされます。
・暗証番号が一致すると、指定された親展ボックスに登録されている文書のプリントを始めます。

お知らせ

● F コード親展プリントの操作を途中でやめるときは、(ストップ) を押してください。
● F コード親展プリントの手順4で開設していないボックスや、親展ボックスとして開設されていないボックス、および文書が登録されていないボックスは指定できません。
● 親展ボックスの暗証番号を忘れると、登録されている文書の出力ができなくなります。暗証番号は忘れないようにご注意ください。
● 暗証番号を忘れた場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
● F コード親展プリントは、他にリストのプリントや受信データのプリント動作をしているときは指定できません。

F 網通信

NTT コミュニケーションズのファクシミリ通信網を利用して通信することができます。F 網通信をお使いになるときは、NTT コミュニケーションズとの利用契約が必要です。お近くの NTT コミュニケーションズ窓口にお問い合わせください。

1 原稿をセットする

5月11日(日) 17:15　00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています

2 ファンクション ◯ ② ⑥ セット を押す

F 網通信　　　宛先数：　0000
宛先を指定してください

3 宛先を指定する

・直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳ダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル
・最大 10 宛先まで指定できます。(☛35 ページ)

4

を押す

・原稿読み取りが開始されます。
・F 網通信が開始されます。

お知らせ

● F 網通信の操作を途中でやめるときは、 を押します。
● 使用する場合には、システム登録の「096 NTT ファクシミリ通信網」を " なし " 以外に設定してください。(☛119 ページ)

F ポート通信

KDDI 株式会社（KDDI）の F ポート専用回線を利用して、海外の相手に送信するパケット交換式のファクシミリ通信網サービスが利用できます。
F ポート通信をお使いになるときは、KDDI 株式会社（KDDI）との利用契約が必要です。お近くの KDDI 株式会社（KDDI）にお問い合わせください。

1 **原稿をセットする**

```
 5月11日（日）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ファンクション ② ⑦ セット **を押す**

```
F ポート通信    宛先数： 0000
宛先を指定してください
```

3 **宛先を指定する**

・ 直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳ダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル

・最大 8 宛先まで指定できます。
「複数宛先の指定のしかた」（☞35 ページ）

4 スタート **を押す**

・原稿読み取りが開始されます。
・F ポート通信を開始します。

お知らせ

● F ポート通信の操作を途中でやめるときは、ストップを押します。

OMR 通信

機能や宛先をマークした OMR シートを原稿の一番上に重ねてセットすれば、複雑な通信を簡単な操作でご利用できます。
OMR 通信を指定できる宛先は、OMR 解読機能を持つ相手に限ります。

1 **OMR シートを原稿の一番最初のページにセットする**

```
 5月11日（日）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ファンクション ⑧ ② セット **を押す**

```
OMR 送信        設定：1

  1：オフ    2：オン
```

3 ② セット **を押す**

```
 5月11日（日）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

4 **宛先を指定する**

・ 直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳ダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル

・最大２２０宛先まで指定できます。
「複数宛先の指定のしかた」（☞35 ページ）

5 スタート **を押す**

・原稿読み取りが開始されます。
・OMR 通信を開始します。

お知らせ

● OMR 通信の操作を途中でやめるときは、ストップを押します。

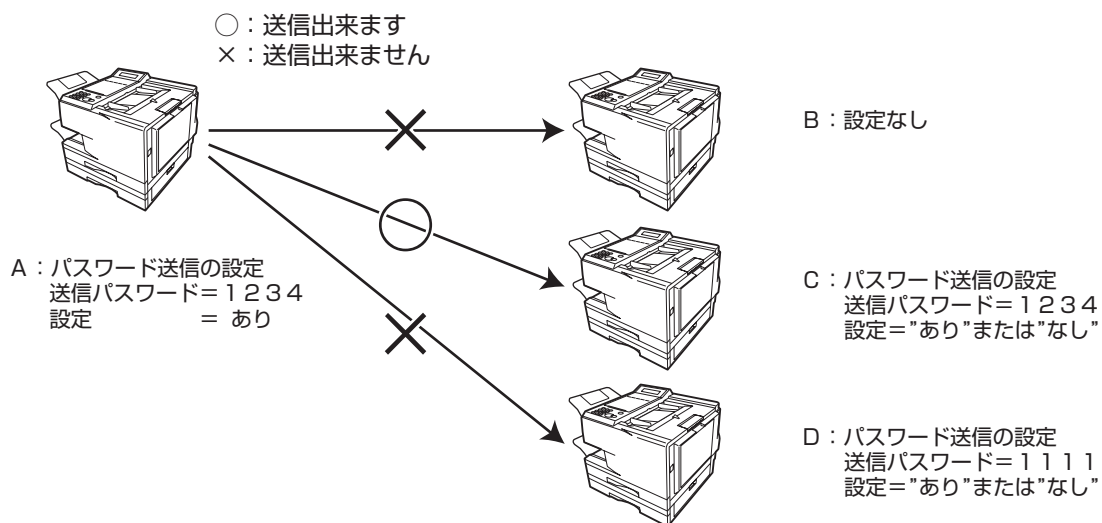
パスワード通信

パスワード通信について

通信するときに、送信側と受信側に登録されているパスワードを照合します。パスワードを照合し、一致する相手とだけ通信するので、機密性の高い通信が確保できます。また、送信と受信を個別に制限できるので、相手に合わせた設定ができます。

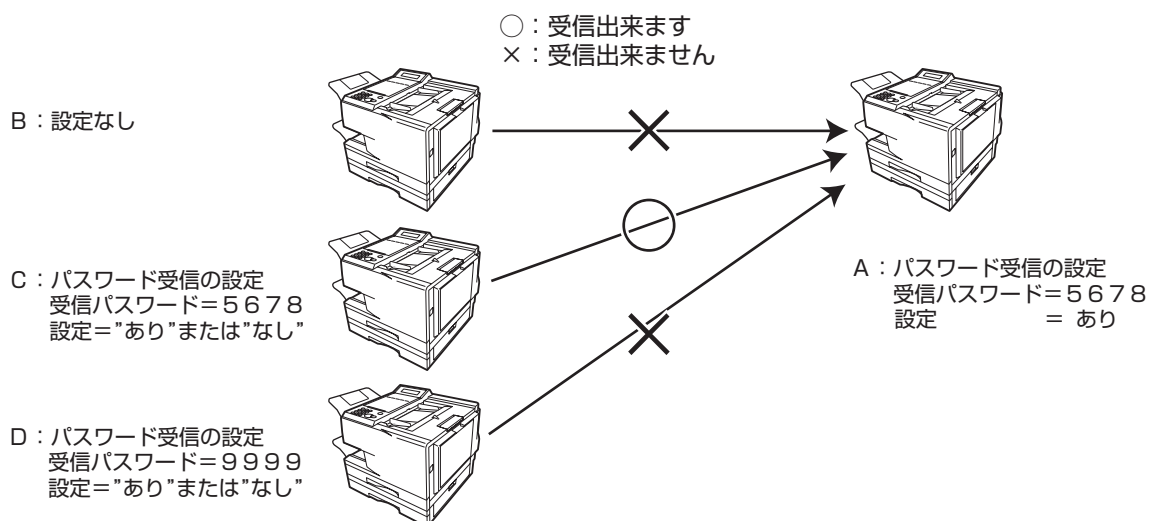
● パスワード通信では、本機または相手機が送信をする際に受信側を確認する「パスワード送信」（☞59 ページ）と、本機または相手機が受信をする際に送信側を確認する「パスワード受信」（☞61 ページ）の設定が必要です。

システム登録について

	設定状況	本機が送信時	本機が受信時
パスワード送信	送信パスワードの登録なし	通常の送信をします。	通常の受信をします。
	送信パスワードを登録して設定を“なし”にする	通常のダイヤル操作では通常の送信をします。 一時的にパスワード送信をしたい場合は、送信前の操作が必要です。（☞63 ページ）	相手がパスワード送信をしてきた場合に、相手送信機が本機の送信パスワードを照合して、一致すると受信します。 相手が通常の送信の場合には、通常の受信をします。
	送信パスワードを登録して設定を“あり”にする	通常のダイヤル操作でパスワードを使った送信をします。相手受信機の送信パスワードを照合して、一致すると送信します。 一時的にパスワード送信をしない場合は、送信前の操作が必要です。（☞63 ページ）	
パスワード受信	受信パスワードの登録なし	通常の送信をします。	通常の受信をします。
	受信パスワードを登録して設定を“なし”にする	パスワード受信の設定をしている相手に送信した場合に、相手受信機が本機の受信パスワードを照合して、一致すると送信します。 パスワード受信を設定していない相手には、通常の送信をします。	通常の受信をします。
	受信パスワードを登録して設定を“あり”にする		常にパスワードを使った受信の状態になっています。 相手送信機の受信パスワードを照合して、一致すると受信します。

パスワード送信

パスワード送信は、送信側の設定が"あり"の場合、受信側に設定されている「送信パスワード」を送信側でチェックし、一致した場合に送信します。

・ 送信側のパスワード送信の設定が"なし"の場合は、通常の送信と変わりありません。
・ パスワード送信の設定"あり"または"なし"は、送信時のみに機能します。

パスワード受信

パスワード受信は、受信側の設定が"あり"の場合、送信側に設定されている「受信パスワード」を受信側でチェックし、一致した場合に受信します。

・ 受信側のパスワード受信の設定が"なし"の場合は、通常の受信と変わりありません。
・ パスワード受信の設定"あり"または"なし"は、受信時のみに機能します。

パスワード送信の設定

1 ファンクション ⑦ **を押す**

・登録モードを選択します。

2 ④ セット **を押す**

・システム登録を選択します。

3 ⓪④③ セット **を押す**

・パスワード送信を選択します。

043 パスワード送信
パスワードを指定してください
_　　　　（4桁）

4 パスワード送信用のパスワード（4 桁）を入れ、セット を押す

・例：パスワード「1234」の場合、①②③④を押します。

まちがえたときは、クリアー を押して再度入力します。

043 パスワード送信　設定：1
パスワード＝１２３４
１：なし　　　２：あり

5 使い方に合わせて、①（なし）または②（あり）を押す

・例：「②」

043 パスワード送信　設定：2
パスワード＝１２３４
１：なし　　　２：あり

6 **を押す**

お知らせ

● パスワード送信の設定を取り消すときは、手順５で クリアー セット を押したあとに、ストップ を押します。

● パスワード送信の設定を“あり”にすると、ディスプレイに“パスワード送信設定中です”が表示されます。

● ディスプレイに“パスワード送信設定中です”が表示されているときは、通常の送信ができなくなります。パスワード送信をしたくないときは、「パスワード送信設定の一時変更」（☞63 ページ）を参照して操作してください。

● パスワード送信の設定および変更を途中でやめるときは、ストップ を押します。

● パスワード受信およびパスワード送信の設定を“あり”にするとディスプレイに「パスワード送受信設定中です」が表示されます。

パスワード送信の変更

1 ファンクション ○ ⑦ を押す
・登録モードを選択します。

2 ④ セット を押す
・システム登録を選択します。

3 ⓪④③ セット を押す
・パスワード送信を選択します。

```
043 パスワード送信
パスワードを指定してください
１２３４　（４桁）
```

4 パスワードを変更するときは、クリアー を４回押す
・現在設定されている内容が表示されます。
・パスワードを変更しないときは セット を押し、手順６へ進みます。

```
043 パスワード送信
パスワードを指定してください
＿　　　　（４桁）
```

5 変更するパスワード（４桁）を入れ、セット を押す
・例：パスワード「4321」の場合、④③②① を押します。
・まちがえたときは、クリアー を押して再度入力します。

```
043 パスワード送信　設定：１
パスワード＝４３２１
１：なし　　２：あり
```

6 ①（なし）または②（あり）を押す
・例：「②」

```
043 パスワード送信　設定：２
パスワード＝４３２１
１：なし　　２：あり
```

7 セット ストップ を押す

お知らせ

- 手順６で、クリアー セット を押したあとに ストップ を押すと、設定されていた内容がすべて消去されます。
- パスワード送信の設定および変更を途中でやめるときは、ストップ を押します。

パスワード受信の設定

1 ファンクション ◯ ⑦ **を押す**
- 登録モードを選択します。

2 ④ セット **を押す**
- システム登録を選択します。

3 ⓪ ④ ④ セット **を押す**
- パスワード受信を選択します。

```
044 パスワード受信
パスワードを指定してください
__          （4桁）
```

4 **パスワード受信用のパスワード（4桁）を入れ、セット を押す**
- 例：パスワード「5678」の場合、⑤ ⑥ ⑦ ⑧ を押します。
- まちがえたときは、クリアー を押して再度入力します。

```
044 パスワード受信      設定：1
パスワード＝５６７８
1：なし        2：あり
```

5 **使い方に合わせて、①（なし）または②（あり）を押す。**
- 例：「②」

```
044 パスワード受信      設定：2
パスワード＝５６７８
1：なし        2：あり
```

6 セット ストップ **を押す**

お知らせ

- パスワード受信の設定を取り消すときは、手順５で クリアー セット を押したあとに、ストップ を押します。
- パスワード受信の設定を“あり”にすると、ディスプレイに「パスワード受信設定中です」が表示されます。
- ディスプレイに“パスワード受信設定中です”が表示されているときは、通常の受信ができなくなります。
- パスワード受信の設定および変更を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- パスワード受信およびパスワード送信の設定を“あり”にするとディスプレイに「パスワード送受信設定中です」が表示されます。

パスワード受信の変更

1 ファンクション ⑦ を押す
・登録モードを選択します。

2 ④ セット を押す
・システム登録を選択します。

3 ⓪ ④ ④ セット を押す
・パスワード受信を選択します。

```
044 パスワード受信
パスワードを指定してください
５６７８　（４桁）
```

4 **パスワードを変更するときは、クリアーを４回押す**
・現在設定されている内容が表示されています。
・パスワードを変更しないときは セット を押し、手順６へ進みます。

```
044 パスワード受信
パスワードを指定してください
＿　　　　（４桁）
```

5 **変更するパスワード（４桁）を入れ、セット を押す**
・例:パスワード「8765」の場合、⑧ ⑦ ⑥ ⑤ を押します。
・まちがえたときは、クリアーを押して再度入力します。

```
044 パスワード受信　設定：１
パスワード＝８７６５
１：なし　　２：あり
```

6 **①（なし）または②（あり）を押す**
・例：「②」

```
044 パスワード受信　設定：２
パスワード＝８７６５
１：なし　　２：あり
```

7 セット ストップ **を押す**

お知らせ

● 手順６で、クリアー セット を押したあとに ストップ を押すと、設定されていた内容がすべて消去されます。
● パスワード受信の設定および変更を途中でやめるときは、ストップ を押します。

パスワード送信設定の一時変更

パスワード送信の一時解除・一時設定を行いたい場合、次の手順で1回の通信に限り、設定を変更できます。

1 ファンクション ○ ⑧ **を押す**

・セレクトモードを選択します。

2 ④ セット **を押す**

・パスワード送信を選択します。

```
パスワード送信　　　設定：1

　1：オフ　　　2：オン
```

3 ① **または** ② **を押し、**セット **を押す**
② **を選んだ場合はパスワードを入力する**

・次の通信設定を選択します。

・①：1 回の通信に限りパスワード送信の設定を“オフ”にできます。

・②：1 回の通信に限りパスワード送信の設定を“オン”にできます。

例：パスワードに
④ ③ ② ① を入力

```
パスワード送信
パスワードを指定してください
4321
```

4 セット **を押す**

5 **宛先を指定する**

・ 直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳ダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル

・最大 220 宛先まで指定できます。
「複数宛先の指定のしかた」（☞35 ページ）

6

を押す

・1回の通信に限りパスワード送信の設定を“なし”または“あり”にして通信を開始します。

セレクト通信

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されているダイヤル番号の下４桁と、相手から送られてきたID 番号の下４桁を照合し、一致したときだけ送信または、受信します。

セレクト送信

- あらかじめ、セレクト送信する宛先を登録しておいてください。（☛89 ページ）
- 相手の ID 番号には、電話番号を登録してもらってください。

1 原稿をセットする

```
5月１１日（日）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ファンクション ⑧ ③ セット を押す

・セレクト送信を選択します。

```
セレクト送信          設定：１
  １：オフ       ２：オン
```

3 ② セット を押す

・セレクト送信がセットされます。

4 宛先を指定する

・直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳ダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル

・最大２２０宛先まで指定できます。
「複数宛先の指定のしかた」（☛35 ページ）

5 スタート を押す

・原稿読み取りが開始されます。宛先にダイヤルを開始します。
・１回の通信に限りセレクト送信が開始されます。
・相手の数字 ID と、本機に登録されているダイヤル番号を照合し、一致したときだけ送信します。

お知らせ

- システム登録の「045 セレクト送信」の設定（☛119 ページ）を“あり”にしておけば、常にセレクト送信の状態になります。
- セレクト送信の設定を途中でやめるときは、ストップを押します。
- システム登録の「045 セレクト送信」（☛119 ページ）を“あり”にすると、ディスプレイに“セレクト送信設定中です”が表示されます。
- セレクト送信を解除するときは、手順３で①を押します。
- 本機に相手のダイヤル番号を登録していないときは、送信できません。
- 相手が ID 番号を送ってこない場合（ID 番号を登録していない、登録できないなど）は、送信できません。
- 手動送信をしたときは、相手をセレクトしないで送信します。
- セレクト受信およびセレクト送信を“あり”にすると、ディスプレイに「セレクト送受信設定中です」が表示されます。

セレクト受信

● あらかじめ、セレクト受信する宛先を登録しておいてください。（☞89 ページ）
● 相手の ID 番号には、電話番号を登録してもらってください。

1 ファンクション ○ ⑦ **を押す**
・登録モードを選択します。

2 ④ セット **を押す**
・システム登録を選択します。

3 ⓪④⑥ セット **を押す**
・セレクト受信を選択します。

```
046 セレクト受信　　設定：1
1：なし　　　2：あり
```

4 ② **を押す**
・"あり"を選択します。

```
046 セレクト受信　　設定：2
1：なし　　　2：あり
```

5 セット ストップ **を押す**
・セレクト受信が設定されます。
・受信が始まると、相手の数字 ID と、本機に登録されているダイヤル番号を照合し、一致したときだけ受信します。

お知らせ

● セレクト受信の設定を途中でやめるときは、ストップを押します。
● セレクト受信を"あり"にすると、ディスプレイに"セレクト受信設定中です"が表示されます。
● セレクト受信を解除するときは、手順４で①を押します。
● 本機に相手のダイヤル番号を登録していないときは、受信できません。
● 相手が ID 番号を送ってこない場合（ID 番号を登録していない、登録できないなど）は、受信できません。
● 手動受信をしたときは、相手をセレクトしないで受信します。
● セレクト受信およびセレクト送信を"あり"にすると、ディスプレイに「セレクト送受信設定中です」が表示されます。

優先通信

● 複数の通信予約をしているときに、至急に送りたい原稿を、現在行っている通信の次に割り込んで通信できるよう通信予約できます。

1 原稿をセットする

```
 5月11日（日）17:15  10%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ファンクション ⑧ ① セット を押す

```
優先通信          設定：1
  1：オフ    2：オン
```

3 ② セット を押す

・優先通信が指定されます。

4 宛先を指定する

・直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳ダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル

・最大２２０宛先まで指定できます。
「複数宛先の指定のしかた」（☞35 ページ）

```
メモリー送信    宛先数： 0001
ＣＡＮＯＮ
短縮：００１（３桁）
```

5 スタート を押す

・原稿の読み取りが開始されます。

```
優先通信        受付 No.001
蓄積頁：０１          11%
ＣＡＮＯＮ
```

お知らせ

● 優先予約の指定を途中でやめるときは、ストップを押します。

ワンタイム海外通信

海外の相手と通信していて、通信エラーや画面異常になるときに指定してください。

1 原稿をセットする

```
5月11日（日）17:15　00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ファンクション ○ ⑧ ⑤ セット を押す

・ワンタイム海外通信を選択します。

```
ワンタイム海外通信　　設定：1
　1：オフ　　2：オン
```

3 ② セット を押す

・ワンタイム海外通信がセットされます。

4 宛先を指定する

・直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / 電話帳ダイヤル / ハイブリッドダイヤル / グループダイヤル

・最大２２０宛先まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☞35 ページ）

5

を押す

・原稿の読み取りが開始されます。

お知らせ

● ワンタイム海外通信の指定を途中でやめるときは、ストップを押します。

定期便タイマー通信

あらかじめ定期便タイマーの指定時刻を登録（5 つまでの時刻）しておけば、定期便タイマー送信をセットした時刻から最も近い登録時刻になると自動的に送信が始まります。

● 定期便タイマーは、他の通信予約を含めて最大 50 件まで指定できます。

● 自局情報の「定期便タイマーの登録」（☞134 ページ）をしておいてください。

1 原稿をセットする

```
5月11日（日）17:15　00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ファンクション ○ ⑧ ⑥ セット を押す

・定期便タイマー通信を選択します。

```
定期便タイマー通信　　設定：1
　1：オフ　　2：オン
```

3 ② セット を押す

・定期便タイマー通信がセットされます。

4 宛先を指定する

・直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / 電話帳ダイヤル / ハイブリッドダイヤル / グループダイヤル

・最大２２０宛先まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☞35 ページ）

5

を押す

・原稿の読み取りが開始されます。

6 定期便タイマー通信がセットされる

・一番近い登録時刻になると、自動的に定期便タイマー通信を開始します。

お知らせ

● 定期便タイマー通信の指定を途中でやめるときは、ストップを押します。

● 指定した定期便タイマー通信を消去するときは、「通信予約の消去」（☞75 ページ）をしてください。

● 指定した定期便タイマー通信の内容を確認するときは、「通信予約の確認」（☞72 ページ）をしてください。

メモリー受信

ファクスを受信したとき、すぐに用紙にプリントしないでメモリーに蓄積しておくことができます。

メモリー受信の設定

1 ファンクション ○ ⑧ ⑦ セット を押す

```
メモリー受信　　　　　　設定：1
1：なし　2：あり　3：ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

2 ② セット を押す

・メモリー受信の設定がされます。

お知らせ

● メモリー受信の設定を途中でやめるときは、ストップ を押します。

メモリー受信を設定しているとき

メモリー受信する

・相手からのダイヤルで、自動的に受信が始まります。

```
5月11日（日）17:15　01%
通信とコピーができます
受信データが残っています
```

お知らせ

● メモリーには、A ４標準原稿で約１２０枚まで蓄積できます。
● 手動受信をしたときでも、原稿はメモリーに保存されます。
● メモリー受信の設定を“あり”にするとシステム登録の「037 メモリー受信暗証番号の登録」の変更ができなくなります。（☞119 ページ）

メモリー受信の解除

1 ファンクション ⑧ ⑦ セット を押す

メモリー受信　　　　設定：2
1：なし　2：あり　3：ﾌﾟﾘﾝﾄ

2 ① セット を押す

・メモリー受信が解除されます。

お知らせ

- メモリーに受信した原稿が蓄積されているときは、メモリーの内容をプリントしてからメモリー受信を解除します。
- システム登録の「037 メモリー受信暗証番号の登録」でパスワードの登録をしているときは、手順 2 のあとにパスワードを入力してください。（☞ 119 ページ）

メモリー受信のプリント

メモリー受信した原稿をプリントします。

1 メモリー受信をしたとき

5月11日（日）17:15　01%
通信とコピーができます
受信データが残っています

2 ファンクション ⑧ ⑦ セット を押す

メモリー受信　　　　設定：2
1：なし　2：あり　3：ﾌﾟﾘﾝﾄ

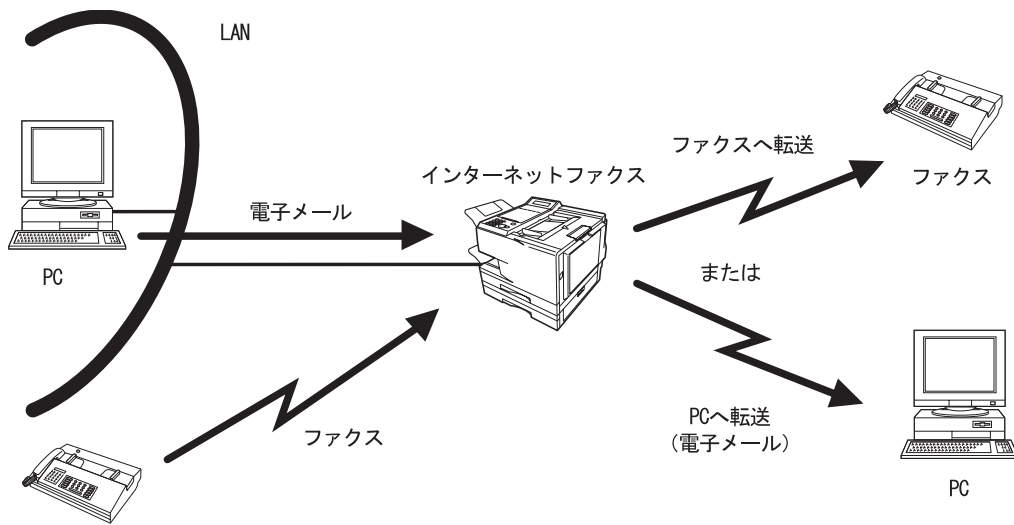
3 ③ セット を押す

・メモリー受信した原稿をプリントします。
・プリントが終わるとメモリーの内容は消去され、メモリー受信設定中の画面に戻ります。

お知らせ

- メモリー受信の解除およびプリントの設定を途中でやめるときは ストップ を押してください。
- メモリー受信のプリントで、プリントが始まってから ストップ を押しても、プリントは止まりません。
- システム登録の「037 メモリー受信暗証番号の登録」でパスワードの登録をしているときは、手順 3 のあとにパスワードを入力してください。（☞ 119 ページ）

メモリー転送

一般回線用ファクスからの受信原稿と、LAN 経由で受信した電子メールが転送できます。
また宛先としては、メールアドレスか電話番号のどちらかが登録できます。電子メールを使ってのメモリー転送を使用する場合はオプションのインターネット FAX ユニットが必要です。

メモリー転送の設定

1 **登録モードを選ぶ**

ファンクション ○ ⑦

2 **システム登録を選ぶ**

④ セット

3 **メモリー転送を選ぶ**

⓪⑤④ セット を押す

```
054 メモリー転送　　設定：1
1．なし　　2．あり
```

4 **“あり”を選ぶ**

② を押す

```
054 メモリー転送　　設定：2
1．なし　　2．あり
```

5 セット **を押す**

```
054 メモリー転送先の指定
宛先を指定してください
```

6 **宛先を指定する**

・短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤルで指定できます。
例：「短縮ダイヤル 001」

```
054 メモリー転送先の指定
ＣＡＮＯＮ
短縮：００１（3 桁）
```

7 セット **を押す**

・着信ポートの指定をします。
例：①～③で指定します「選択画面例」

```
054 着信ポートの指定
1．外線　　2．内線
3．指定なし
```

8 **メモリー転送時間帯の指定をする**

```
054 メモリー転送時間帯の指定
1．なし　　2．あり
```

9 **メモリー転送時間帯の指定をしない時は①を押す**

・指定する時は②を押して、開始時刻と終了時刻を入力し セット を押します。

```
054 自端末出力の指定
1．なし　　2．あり
```

10 **自端末出力の指定をしない時は①を押す**

・指定する時は②を押します。

```
065　正順プリント　設定：2
1．なし　　2．あり
```

11 **（ストップ）を押す**

お知らせ

● メモリー転送の設定を途中でやめるときは、（ストップ）を押してください。

● 手動受信した原稿は転送せずにプリントします。

● メモリー転送が設定されているときは、待機画面に「メモリー転送通信設定中です」と表示されます。

メモリー転送をセットしているとき
ファクスまたは電子メールを受信すると

メモリー転送設定中 → ファクスまたは電子メールを受信する → 受信が終わる → 登録されている転送先へ受信した原稿または電子メールの送信を始める

お知らせ

● メモリー受信中にメモリーがいっぱいになった場合は、メモリーに受信できたページまでを転送します。

● 転送先が話し中などでつながらなかったときは、通信結果レポートと受信した原稿をプリントします。

● メモリー容量が約 98%以上のときは、送信されても呼出音を鳴らすだけで受信できません。インターネットＦＡＸオプションをお使いの場合、インターネットからの送信の場合は呼出音は鳴りません。

メモリー転送の解除

1 **登録モードを選ぶ**

（ファンクション）⑦

2 **システム登録を選ぶ**

④（セット）

3 **メモリー転送を選ぶ**

⓪⑤④（セット）**を押す**

```
054 メモリー転送　　設定：2
1．なし　　2．あり
```

4 **“なし”を選ぶ**

①**を押す**

```
054 メモリー転送　　設定：1
1．なし　　2．あり
```

5 （セット）**を押す**

```
065　正順プリント　設定：2
1．なし　　2．あり
```

6 （ストップ）**を押す**

● メモリー転送の解除を途中でやめるときは、（ストップ）を押してください。

便利な機能の使い方

通信予約の確認と消去

タイマー通信などの通信予約を確認・消去できます。

通信予約の確認

● 通信予約の内容をディスプレイに表示させて確認できます。また、通信予約をレポートにしてプリントすることもできます。

3 ▼ または ▲ を押す

・▼ または ▲ を押すたびに画面が切り替わり、予約している通信や未通信の内容が表示されます。
・未通信のときには、「再通信待ち」が表示されます。

4 を押す

・通信予約の確認を終了します。

● 通信予約の確認を途中でやめるときは、ストップを押します。
● 手順2で①を押すと、通信予約をレポートにしてプリントできます。
● 手順1で「ピピピ」と鳴り、“予約ファイルがありません”と表示されたときは、通信予約されている内容がありません。
● 通信予約レポートのプリントの設定を途中でやめるときは、ストップを押します。
● プリントが始まってからストップを押しても、プリントは止まりません。

通信予約表示のみかた
メモリー送信
受付 No.010
時刻指定中
CANON
通信の種類が表示されます。
通信を指定した宛先が表示されます。
受付 No. が表示されます。
通信の状況が表示されます。
・通信中
・再通信待ち
・時刻指定中
・定期便指定中
・予約中
・再ダイヤル待ち

通信予約の変更

タイマー送信やタイマーポーリング受信で予約した宛先や時刻を変更できます。

1 ファンクション ○ ⑨ ② セット を押す

・時間・宛先変更を選択します。

```
時間・宛先変更
受付 No. または　∨　∧
受付 No.=＿　（3 桁）
```

2 **変更する受付 No. を指定する、または(▼)、(▲)を押して変更するファイルを選択する**

・受付 No.（3 桁）を指定してファイルを選ぶこともできます。

・(▼)または(▲)を押して、現在予約している通信の内容を表示します。

・受付 No. をまちがえたときは、クリアーを押して、入れ直します。

例：「受付 No.001 を指定」

```
時間・宛先変更
受付 No. または　∨　∧
受付 No.=001（3 桁）
```

または

例：「(▼)(▲)で選択」

```
メモリー送信　　　受付 No.001
時刻指定中
CANON
```

3 セット **を押す**

・予約時刻が表示されます。

```
メモリー送信　　　受付 No.001
予約時刻を指定してください
10：00
```

4 **変更する時刻を入れ、セット を押す**

・例：午後 10 時 30 分に変更する場合

・②②③⓪ セット を押します。

・時刻は 24 時間制で入れます。

・まちがえたときは、クリアーを押して、入れ直します。

・予約時刻を変更しないときは、何も入力しないでセット を押します。

```
メモリー送信　　宛先数：　0002
宛先を追加してください
又は　スタートで通信します
```

5 **複数の宛先を指定している場合は、(▼)または(▲)を押して変更する宛先を表示する**

・宛先を変更しない場合は、手順 8 へ進みます。
・宛先の追加のみの場合は、手順 7 へ進みます。
・指定している宛先が 1 宛先の場合は手順 6 へ進みます。

6 クリアー**を押して、表示されている宛先を取り消す**

・複数の宛先を取り消すときは、手順 5 からの操作を繰り返します。

```
メモリー送信　　宛先数：　0001
CANON
短縮：001（3 桁）
```

7 変更または追加する宛先を入れる

・ 直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳ダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル
・ 宛先は、すでに指定されているものと合わせて最大２２０件まで指定できます。「複数宛先の指定のしかた」（☞35 ページ）
・ 宛先を変更または追加しないときは、何も入れないで手順８へ進みます。

8 スタートを押す

・ 通信予約の内容が変更され、待機状態に戻ります。

通信予約の消去

● 予約した通信の内容を消去できます。

1 ファンクション ⑨ ③ セット を押す
・ 通信予約の消去を選択します。

```
通信予約の消去
受付 No. または ∨ ∧
受付 No.=＿ （３桁）
```

2 消去する受付 No. を指定する、または▼、▲を押して変更するファイルを選択する

・ ３桁の受付 No. を指定します。まちがえたときは、クリアーを押して、入れ直します。
・ ▼または▲を押すと、現在予約している通信の内容が表示されます。

例：「受付 No.001 を指定」

```
通信予約の消去
受付 No. または ∨ ∧
受付 No.=001（３桁）
```

または

例：「▼ ▲で選択」

```
メモリー送信 受付 No.001
時刻指定中
CANON
```

3 セット を押す

```
メモリー送信 受付 No.001
通信予約の消去を行いますか
1．はい 2．いいえ
```

4 ①を押す
・ 指定した受付 No. の通信予約を消去します。
・ 消去しないときは、②を押します。

```
メモリー送信 受付 No.001
消去しました
```

お知らせ
● 通信予約の消去を途中でやめるときは、ストップを押します。
● 受付 No. が分からないときは、通信予約レポートをプリントしてください。（☞72 ページ）

指定通信予約レポートのプリント

受付 No. を指定して通信予約レポートをプリントできます。レポートには、通信を指定した原稿が付加されます。

1 ファンクション ⑨ ④ セット を押す

```
指定通信予約レポート
受付 No. または ∨ ∧
受付 No.= __ （3 桁）
```

2 プリントする受付 No. を指定する、または▼、▲を押してプリントするファイルを選択する

・3 桁の受付 No. を指定します。まちがえたときは、クリアーを押して、入れ直します。

・▼または▲を押すと、現在予約している通信の内容が表示されます。

例 :

```
メモリー送信　　　受付 No.001
定期便指定中
総務部
```

3 セット を押す

・指定した受付 No. の通信予約レポートをプリントします。

```
指定通信予約レポート
プリントしています
```

お知らせ

● 通信予約レポートのプリントの設定を途中でやめるときは、ストップを押します。
● 手順 2 で受付 No. が分からないときは、通信予約レポートをプリントしてください（☞72 ページ）。

未達宛先再通信の指定

未通信となった、最新 10 通信までをメモリーに保持し、受付 No. を指定して、もう一度通信することができます。

● システム登録の「031 未送信ファイル保存」の設定が“あり”になっていないと、未通信の内容はメモリーに保存されません。（☛118 ページ）

■未達宛先再通信の個別指定

● 未通信になった通信から、受付 No. を指定して再通信します。

1

を押す

```
未達宛先再通信
受付 No. または　∨　∧
受付 No.= _　（3 桁）
```

2 テンキーボタンまたは▼、▲で受付No.を指定する

・3 桁の受付 No. を指定します。

・まちがえたときは、クリアーを押して、入れ直します。

・▼または▲を押すと、未達宛先に予約されている通信の内容が表示されます。
例：

```
未達宛先再通信
受付 No. または　∨　∧
受付 No.=001（3 桁）
```

3

を押す

・再通信がセットされます。
・宛先へダイヤルし、再通信を開始します。

```
受付 No.001 で受け付けました
蓄積頁：０３
大阪支店
```

● 再通信の指定を途中でやめるときは、ストップを押します。
● 受付 No. が分からないときは、通信予約レポートをプリントしてください。（☛72 ページ）
● 未通信が 10 通信以上になると、一番古い通信から消去されます。そのとき、通信結果レポートをプリントしてメモリーから消去された内容をお知らせします。

■未達宛先再通信の全指定

メモリーに保存されている未通信を、すべて再通信します。

1 ファンクション ⑨ ⑥ セット **を押す**

```
未達宛先再通信
受付 No. または　∨　∧
受付 No.= _　（3 桁）
```

2 ⊛ ⊛ ⊛ セット **を押す**

・未達宛先再通信の全指定をします。

```
全宛先再送信しますか
1．はい　　　2．いいえ
```

3 ① **を押す**

・未達宛先再通信に登録されている全宛先の再通信がセットされる。

```
全宛先再通信受け付けました
```

受信データの強制出力

システム登録の「066 代行出力」を“なし”にしているときは、相手が送信した原稿サイズに適応する用紙が無くなっていると、受信した原稿はプリントされないでメモリーに保存します。（☞119 ページ）
次の操作をすると、メモリーに保存されている原稿を強制的にプリントすることができます。

■メモリーに受信データが残っているとき

次の内容が表示されます。

```
  5月11日（日）17:15  20%
通信とコピーができます
受信データが残っています
```

1 ファンクション ⑨ ⑦ セット **を押す**

・メモリーに保存されている受信データの情報が表示されます。

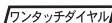
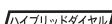
```
受付 No. 080      1．強制出力
10-10 13:15       受信頁数：01
CANON
```

2 ① **を押す**

・受信データを強制出力する。

```
受信データの強制出力
プリントしています
```

お知らせ

- 受信データの強制出力の設定を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- プリントが始まってから ストップ を押しても、プリントは止まりません。
- 複数の受信データがあるときは、一番最初に代行受信したものしか選択できません。

手動ファイル転送

代行受信をしているけれどトナーや用紙が無くてプリントできないときなどに、受信した内容を別のファクスに転送してプリントすることができます。

1 ファンクション ⑨ ⑧ セット
を押す

```
手動ファイル転送 宛先数：0000
宛先を指定してください
```

2 **宛先を指定する**

・ 直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル
電話帳ダイヤル ハイブリッドダイヤル グループダイヤル

・最大220宛先まで指定できます。
「複数宛先の指定のしかた」（☞35 ページ）

3 スタート **を押す**

・宛先にダイヤルし、
受信データの転送を始めます。

お知らせ

- 手動ファイル転送の設定を途中でやめるときは、ストップ を押してください。
- ファンクション登録ボタンに手動ファイル転送の操作を登録しておけば、ファンクション登録ボタンを押したあとに宛先を入れるだけで通信を指定できます。（☞101 ページ）

レポートのプリント

通信管理レポートのプリント

送信および受信の結果をレポートにしてプリントします。

1 ファンクション ○ ⑥ ① セット を押す

通信管理レポート
1．通信管理レポートの出力
2．通信管理レポートの確認

2 ①を押す

・通信管理レポートのプリントを開始します。

通信管理レポート
プリントしています

01頁

L4800 Ver V00000

CANON

08年05月11日17時15分

通 信 管 理 レ ポ ー ト

＊ 送 信 ＊

No.	受付番号	通信日時	相手先	枚数	通信種別	通信時間	ﾓｰﾄﾞ	状況
01	001	05-11 15:15	123	00／01	送 信	00:00'15	G3外	停止SW
02	003	05-11 15:23	03-3123-4567	01／01	送 信	00:00'15	G3外	良 好

＊ 受 信 ＊

No.	受付番号	通信日時	相手先	枚数	通信種別	通信時間	ﾓｰﾄﾞ	状況
01	002	05-11 15:15		01	受 信	00:00'24	G3外	良 好
02	005			01	受 信	00:00'33	G3外	良 好
				01	ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ受信	00:00'22	G3外	良 好
					受 信	00:01'06	G3外	良 好
						00:00'50	G3外	

お知らせ

- 通信管理レポートのプリントを指定すると、40 通信分の結果をレポートにしてプリントします。
- システム登録の「013 通信管理レポート」（☞118 ページ）の設定をすれば、40 通信分ごとにレポートを自動出力することができます。
- 通信管理レポートのプリントを途中でやめるときは、(ストップ)を押します。
- 手順２で②を押すと、通信管理レポートの内容をディスプレイに表示させて確認できます。▼ ▲ で画面が切り替わり、送信および受信の結果を確認できます。

通信受付レポートのプリント

メモリー通信を受け付けるたびに、受付内容を表すレポートをプリントできます。
システム登録の「014 通信受付レポート」の設定（☞118 ページ）を"あり"に設定する必要があります。

01頁
L4800 Ver V00000

通信受付レポート

CANON

08年05月11日11時26分

受付番号	受付日時	通信種別	処理状況	指定時刻	パスワード
013	05-11 11:26	送　信	時刻指定中	17:00	
	宛先 (0001カ所)				
	直接：(外線) 012XXXXXXX				

お知らせ

- プリントした通信受付レポートに送信した原稿を付加します。

通信結果レポートのプリント

通信するたびに、通信結果の内容を表すレポートをプリントすることができます。
お買い上げ時の設定では、結果レポートは未通信になったときだけプリントされます。

01頁
L4800　Ver　V00000

通信結果レポート

CANON

08年05月11日17時24分

＊＊＊　未通信があります。＊＊＊

受付番号：012
受付日時：05月11日17時15分
完了日時：05月11日17時24分

お知らせ

- システム登録の「012 通信結果レポート」（☛118 ページ）の設定により、通信結果レポートのプリント方法を選択することができます。
- プリントした通信結果レポートに、送信した原稿を付加します。ただし、ダイレクト送信時は付加しません。

リストのプリント

ダイヤルリストのプリント

ワンタッチ・短縮リスト：ダイヤル番号を登録した内容をプリントします。
電話帳リスト：ダイヤル番号を登録した内容を、検索文字の順番にリストにしてプリントします。

1 ファンクション ⑥ ② セット を押す

ダイヤルリスト
1．ワンタッチ・短縮リスト
2．電話帳リスト

2 ①または②を押す

・ダイヤルリストのプリントを開始します。

01頁
L4800 Ver V00000
CANON
08年05月11日17時15分

ワンタッチ・短縮リスト

ﾜﾝﾀｯﾁ･短縮番号 登録名称／電話番号

00 [き] CANON

01

01頁
L4800 Ver V00000
CANON
08年05月11日17時15分

電話帳リスト

■検索文字 【え】
ﾜﾝﾀｯﾁ･短縮番号 登録名称／電話番号
<001> [え] A商事株式会社
(外線)012XXXXXXXX

■検索文字 【し】
ﾜﾝﾀｯﾁ･短縮番号 登録名称／電話番号
<003> [し] C商事株式会社
(外線)012OOOOOOOO

■検索文字 【て】
ﾜﾝﾀｯﾁ･短縮番号 登録名称／電話番号
<005> [て] T産業株式会社
(外線)012△△△△△△△

お知らせ

● ダイヤルリストのプリントの設定を途中でやめるときは、ストップを押します。

ワンタッチリストのプリント

ワンタッチ、ファンクションに登録したグループダイヤル、プログラムダイヤル、ファンクションの内容をリストにしてプリントします。

2 ①〜④で選択する
または▼ ▲で選択し、セットを押す

- ①：グループダイヤルリスト
- ②：プログラムダイヤルリスト
- ③：ファンクションリスト
- ④：全ワンタッチリスト

ワンタッチリストのプリントを開始します。

お知らせ

- ワンタッチリストのプリントの設定を途中でやめるときは、(ストップ)を押します。

システム登録リストのプリント

システム登録で設定した内容をリストにしてプリントします。

1 ファンクション ◯ ⑥ ④ セット を押す

- システム登録に設定されている内容がプリントされます。
- プリント終了後、待機状態に戻ります。

システム登録リスト
プリントしています

01頁

L4800　Ver　V00000

CANON

08年 05 月11日17時15分

システム登録リスト

					現在の設定	（標準設定）
001	原稿濃淡	(1: ふつう	2: こく	3: うすく)	1	1
002	文字サイズ	(1: ふつう	2:小さい	3 :細密)	1	1
003	ハーフトーン	(1:なし	2:きれい	3:はやい)	1	1
004	済みスタンプ	(1:なし	2:あり)		2	2
005	送信メモリー優先	(1:なし	2:あり)		2	2
006	ダイヤル切替　外線	(1:PB	2:１０pps	3:２０pps)	1	1
	内線	(1:PB	2:１０pps	3:２０pps)	1	1
007	発信元印字	(1:なし	2:原稿外	3:原稿内)	3	3

お知らせ

- システム登録リストのプリントの設定を途中でやめるときは、ストップを押します。

自局情報リストのプリント

自局情報に設定した内容をリストにしてプリントします。

1 ファンクション ⑥ ⑤ セット を押す

・自局情報に設定されている内容がプリントされます。

自局情報リスト
プリントしています

01頁
L4800 Ver V00000
CANON
08年05月11日17時15分

自 局 情 報 リ ス ト

発信元情報 : CANON

外線 1数字ID : 012XXXXXXX

お知らせ

● 自局情報リストのプリントの設定を途中でやめるときは、ストップ を押します。

F コード通信リストのプリント

F コード通信に設定した内容をリストにしてプリントします。

1 ファンクション ⑥ ⑥ セット を押す

・F コード通信に設定されている内容がプリントされます。

F コード通信リスト
プリントしています

01頁
L4800 Ver V00000
CANON
08 年 05 月11日17時15分

Fコード通信リスト

ボックス番号	ボックス名称	サービス名	付加サービス	
01	親展ボックス	親展ボックス	暗証番号	: ＊＊＊＊
			サブアドレス	: 12345678901234567890
			パスワード	: 12345678901234567890
			セレクト番号	: 短縮 : 100
			受付ﾚﾎﾟｰﾄ出力	: あり

お知らせ

● F コード通信リストのプリントの設定を途中でやめるときは、ストップ を押します。

ユーザー管理リストのプリント

ユーザー別管理をセットしているとき、設定したユーザーの内容をリストにしてプリントしたり、ユーザーごとの通信管理などのレポートをプリントできます。
ユーザー別管理をしているときファクスを使う（☞116 ページ）の操作のあと使用できます。

1 ファンクション ◯ ⑥ ⑦ セット を押す

・ユーザー管理者用暗証番号（☞114 ページ）が登録されていないときは、手順 3 の画面へ進みます。

ユーザー管理リスト
管理暗証番号を指定してください
＿　　　　（４桁）

2 暗証番号を指定する

・例：暗証番号が 1234 の場合
・①②③④ セット を押します。

ユーザー管理リスト
1．ユーザー設定リスト
2．ユーザー別管理レポート

3 ①または② を押す

・1：ユーザーの設定内容リスト
・2：ユーザーごとの通信管理などのレポート
ユーザー管理リストのプリントを開始します。

01頁
L4800　　Ver　V00000
CANON
08年05月11日17時15分

ユーザー設定リスト

ﾕｰｻﾞｰ番号	ﾕｰｻﾞｰ名称	ボタン番号	パスワード
01	開発1課		1234
02	開発2課		2345
03	開発3課		3456
04	開発4課		4567
	ユーザー管理者暗証番号		0123

01頁
L4800　　Ver　V00000
CANON
08年05月11日17時15分

ユーザー別管理レポート

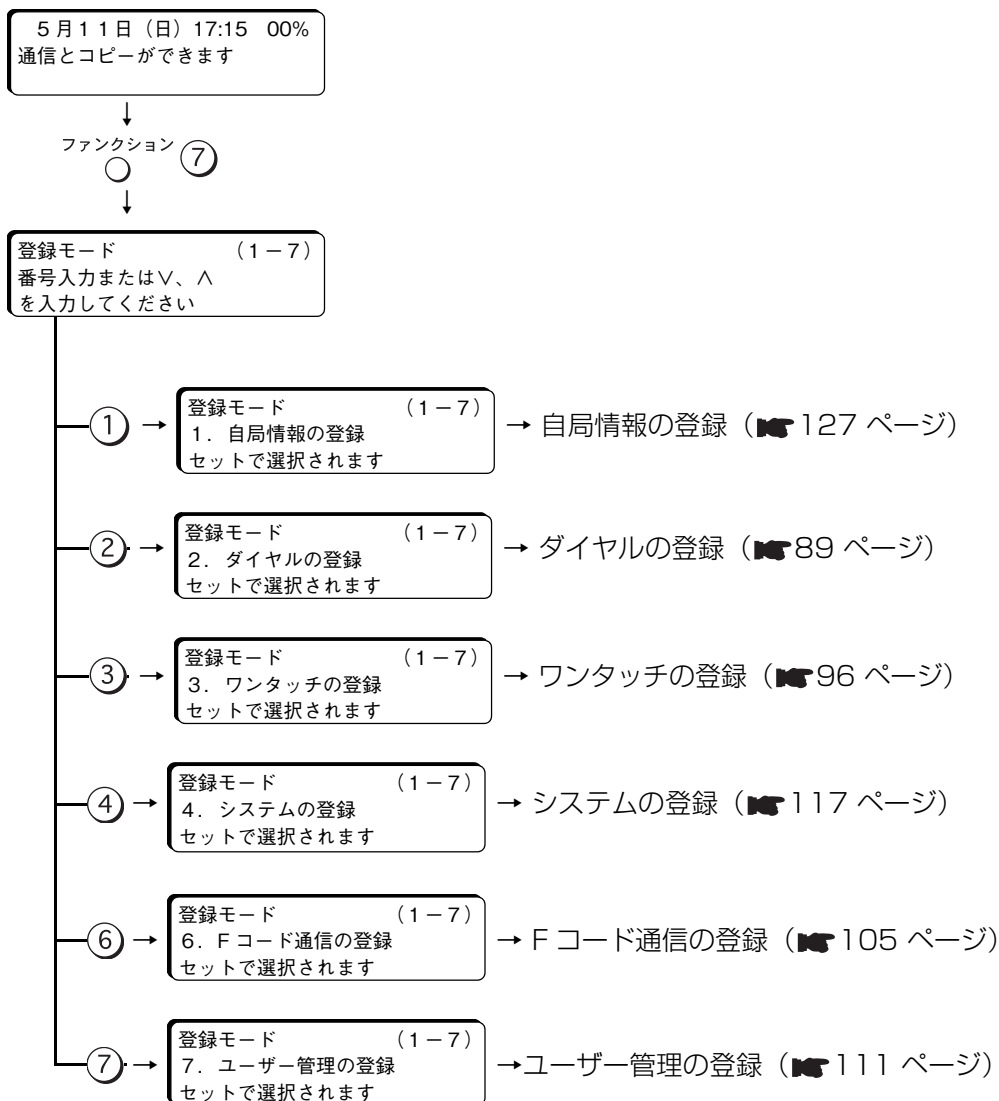
1. 集計期間　：08年05月04日20時58分　～　08年05月11日17時15分

2. 時刻指定

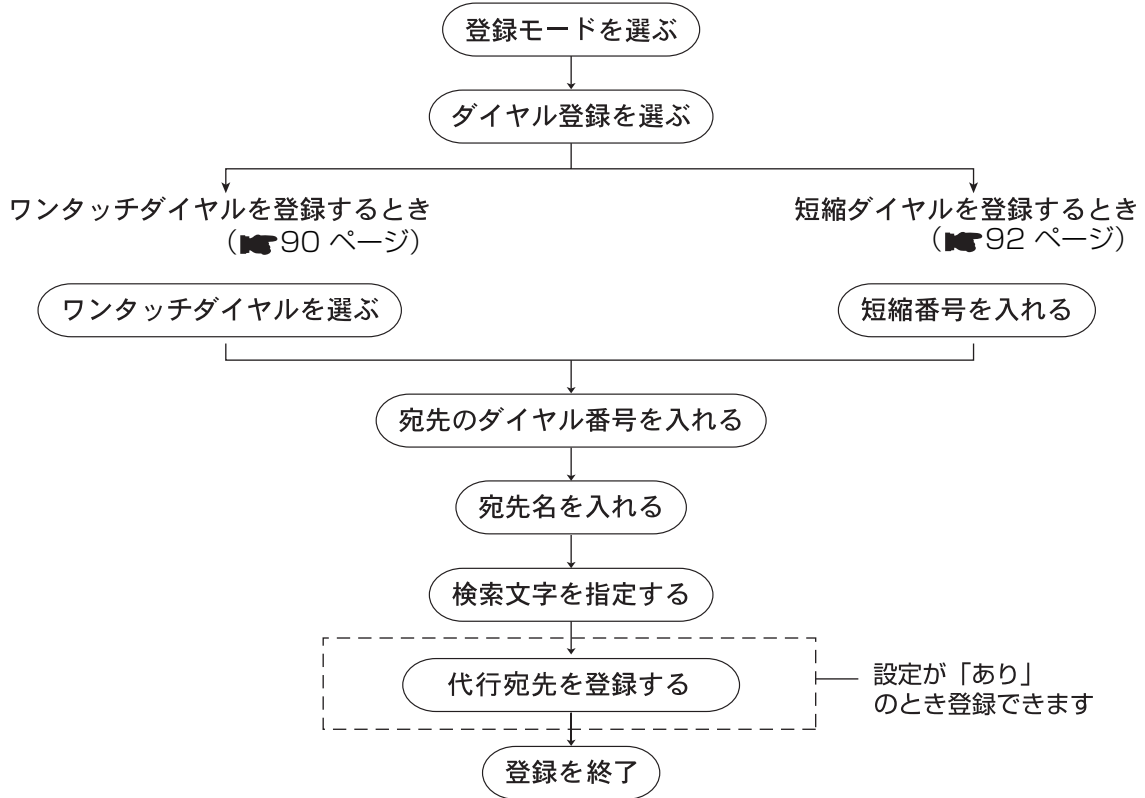
指定時刻

● ユーザー管理リストのプリントの設定を途中でやめるときは、ストップ を押します。

登録操作フロー

次のボタン操作をして、それぞれの登録をします。

ダイヤルの登録

ダイヤル登録操作フロー

ダイヤル番号をワンタッチダイヤル（01 ～ 50、F1 ～ F10）や短縮ダイヤル（000 ～ 999）に登録して、簡単な操作で相手にダイヤルすることができます。

ワンタッチダイヤルの登録

よく使う宛先のダイヤル番号をワンタッチダイヤル（01 ～ 50、F1 ～ F10）に登録しておくことができます。

1 ファンクション ⑦ ② セット を押す

ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録

2 ① を押す

ワンタッチダイヤルの登録
ボタン（1～50、F1～F10）
を押してください

3 ワンタッチボタン（01 ～ 50、F1 ～ F10）を押す

・すでに登録されている内容がある場合、そのダイヤル番号が表示されます。
・まちがえたときや登録済みのボタンを押した場合は、▼ ▲ を押し、ほかのワンタッチボタンを選べます。

ワンタッチダイヤル登録：01
ダイヤルを登録してください
_ 外線

4 宛先のダイヤル番号（最大 52 桁）を入れる

・まちがえた場合は、◀ ▶ を押してカーソルを移動させて クリアー で消してから、入れ直します。

例：「012XXXXXXX」

ワンタッチダイヤル登録：01
ダイヤルを登録してください
012XXXXXXX_ 外線

5 セット を押す

・ダイヤル番号が登録されます。

ワンタッチダイヤル登録：01
宛先名を登録してください
__

6 宛先名（最大 20 文字）を入れる

・「文字入力のしかた」（☛122 ページ）

東京本社__
入力モード：かな漢
■

7 セット を押す

・宛先名が登録されます。
宛先名に登録した先頭の文字が、電話帳検索をするときの検索文字として表示されます。

ワンタッチダイヤル登録：01
検索文字を入力してください
検索文字：と

8 検索文字を確認して セット を押す

・検索文字が登録されます。
・システム登録の「107 代行宛先通信」（☛120 ページ）の設定が " あり " の場合、登録できます。

代行宛先を登録してください

短縮：__ （3 桁）

9

・続けてワンタッチダイヤルの登録ができます。
手順 3 からの操作をします。

ワンタッチダイヤルの登録
ボタン (1 ～ 50、F1 ～ F10)
を押してください

10 ストップ を押す

お知らせ

- ワンタッチダイヤルの登録を途中でやめるときは、（ストップ）を押します。
- 手順４でダイヤル番号として登録できるのは、数字、＊、＃、ポーズ（－）、トーン（／）、モニター（スペース）の最大５２桁です。
- トーン を押すとプッシュホン信号に切り替わります。表示は“／”として登録されます。
- NCC 回線をご利用の場合は、NCC 回線のアクセス番号のあとに、再ダイヤル/ポーズ を２回押して約７秒の空白時間を入れてから、残りのダイヤル番号を入れてください。
- 宛先名の先頭に 50 音以外の文字を登録したときは、電話帳検索するときの検索文字が登録されません。手順８で セット を押す前に、ワンタッチダイヤル F1（あ）～F10（こ）、01（さ）～38（ん）を使って検索文字を登録してください。
- 電話番号を誤って登録すると、自動再ダイヤルにより相手の方を何度も呼び出し、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。

短縮ダイヤルの登録

よく使う宛先のダイヤル番号を 3 桁の短縮番号（000 ～ 999）に登録しておくことができます。

1 ファンクション ⑦ ② セット を押す

ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録

2 ② を押す

短縮ダイヤルの登録 設定数 : 0000
短縮番号を指定してください
短縮 : ＿　（3 桁）

3 **短縮番号（000 ～ 999）を押す**

・すでに登録されている内容がある場合、そのダイヤル番号が表示されます。
・まちがえたときや登録済みのボタンを押した場合は、▼ ▲ を押し、ほかのワンタッチボタンを選べます。

短縮ダイヤルの登録　短縮 : 001
ダイヤルを登録してください
＿　外線

4 **宛先のダイヤル番号（最大 52 桁）を入れる**

・まちがえた場合は、◀ ▶ を押してカーソルを移動させて クリアー で消してから、入れ直します。

例 :「012XXXXXXX」

短縮ダイヤルの登録　短縮 : 001
ダイヤルを登録してください
012XXXXXXX ＿　外線

5 セット を押す

・ダイヤル番号が登録されます。

短縮ダイヤルの登録　短縮 : 001
宛先名を登録してください
＿

6 **宛先名（最大 20 文字）を入れる**

・「文字入力のしかた」（☞ 122 ページ）

東京本社＿
　入力モード : かな漢
■

7 セット を押す

・宛先名が登録されます。
・宛先名に登録した先頭の文字が、電話帳検索をするときの検索文字として表示されます。

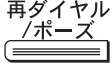
短縮ダイヤルの登録　短縮 : 001
検索文字を入力してください
検索文字 : と

8 **検索文字を確認して セット を押す**

・検索文字が登録されます。
・システム登録の「107 代行宛先通信」（☞ 120 ページ）の設定が " あり " の場合、登録できます。

代行宛先を登録してください

短縮 : ＿　（3 桁）

9

・続けて短縮ダイヤルの登録ができます。手順 3 からの操作をしてください。

短縮ダイヤルの登録 設定数 :0001
短縮番号を指定してください
短縮 : ＿　（3 桁）

10 ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

- 短縮ダイヤルの登録を途中でやめるときは、(ストップ)を押します。
- 手順４でダイヤル番号として登録できるのは、数字、＊、＃、ポーズ（－）、トーン（／）、モニター（スペース）の最大 52 桁です。
- トーン を押すとプッシュホン信号に切り替わります。表示は“／”として登録されます。
- NCC 回線をご利用の場合は、NCC 回線のアクセス番号のあとに、再ダイヤル/ポーズ を２回押して約７秒の空白時間を入れてから、残りのダイヤル番号を入れてください。
- 宛先名の先頭に 50 音以外の文字を登録したときは、電話帳検索するときの検索文字が登録されません。手順８で セット を押す前に、ワンタッチダイヤル F1（あ）～ F10（こ）、01（さ）～ 38（ん）を使って検索文字を登録してください。
- 電話番号を誤って登録すると、自動再ダイヤルにより相手の方を何度も呼び出し、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。

ダイヤルの変更

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている内容を変更します。

1 ファンクション ⑦ ② セット を押す

ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録

2 ①または② を押す

- ①：ワンタッチダイヤルを変更する場合
- ②：短縮ダイヤルを変更する場合

例：「①」

ワンタッチダイヤルの登録
ボタン（1 ～ 50、F1 ～ F10)
を押してください

3 変更するワンタッチダイヤル（01 ～ 50、F1 ～ F10）を押す

- 登録されているダイヤル番号が表示されます。

ワンタッチダイヤル登録：01
ダイヤルを登録してください
012XXXXXXX　外線

4 クリアー を押す

- 表示されている番号が消去されます。

これから先は、「ワンタッチダイヤルの登録」（☞90 ページ）または「短縮ダイヤルの登録」（☞92 ページ）の手順４からの操作をします。

ダイヤルの消去

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている内容を消去します。

1 ファンクション ⑦ ② セット を押す

ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録

2 ①または②を押す

・①：ワンタッチダイヤルを消去する場合

・②：短縮ダイヤルを消去する場合

例：「①」

ワンタッチダイヤルの登録
ボタン（1 ～ 50、F1 ～ F10)
を押してください

3 消去するワンタッチダイヤル（01 ～ 50、F1 ～ F10）を押す

・登録されているダイヤル番号が表示されます。

ワンタッチダイヤル登録：01
ダイヤルを登録してください
012XXXXXXX 外線

4 クリアー を押す

・表示されている番号が消去されます。

5 セット ストップ を押す

・指定したワンタッチダイヤルが消去されます。

・セット を押したあとに、手順 3 からの操作を繰り返せば、続けてダイヤル番号の消去ができます。

お知らせ

● ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの変更および消去を途中でやめるときは、ストップ を押します。

ワンタッチの登録

ワンタッチ（01 ～ 50、F1 ～ F10）にダイヤルを登録して、グループダイヤル、プログラムダイヤルとして、お使いになれます。

グループダイヤルの登録

ワンタッチに、複数の短縮番号やワンタッチを登録して、グループダイヤルとしてお使いになれます。（最大２００宛先まで）

● グループダイヤルには、登録済みのワンタッチや短縮番号を入力します。あらかじめ、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録をしておいてください（☞90 ページ、☞92 ページ）。

1

を押す

グループダイヤルの登録
ボタン（1 ～ 50、F1 ～ F10）
を押してください

2 **ワンタッチダイヤル（01 ～ 50，F1 ～ F10）を押す**
例：「ワンタッチダイヤル 03」

グループダイヤルの登録
名称を登録してください
_

3 **グループダイヤル名称（最大 20 文字）を入れる**
・「文字入力のしかた」（☞122 ページ）

東京本社__
入力モード：かな漢
■

4 セット **を押す**

グループダイヤルの登録：0000
宛先を指定してください

5 **グループダイヤルに登録するワンタッチ番号、短縮番号（最大２００宛先）を指定する**
例：「短縮 010」

グループダイヤルの登録：0001
営業部
短縮：０１０（３桁）

6 セット **を押す**
・手順５からの作業を繰り返し、続けてグループダイヤルに宛先を追加できます。

グループダイヤルの登録：0001
宛先を追加してください

7 スタート ストップ **を押す**

■登録内容の宛先確認／消去

ワンタッチをグループダイヤルとして登録するとき、宛先内容の確認／消去ができます。

1 ファンクション ⑦ ③ セット ① セット を押す

グループダイヤルの登録
ボタン（1 ～ 50、F1 ～ F10)
を押してください

2 **確認または消去するワンタッチダイヤル（01 ～ 50，F1 ～ F10）を押す**

例：「ワンタッチダイヤル 03」

グループダイヤルの登録
ボタン番号：０３
グループ　登録済み

3 **セット を押し、グループダイヤル名称（最大 20 文字）を入れる**

・「文字入力のしかた」（☛122 ページ）

・登録されているグループダイヤル名称は クリアー を押して消去できます。

・グループダイヤル名称を変更しない場合は手順4へ進みます。

4 **セット を押す**

グループダイヤルの登録：0010
宛先を指定してください

5 **▼ ▲ を押して、宛先を確認する**

・▼ ▲ を押すたびにディスプレイが切り替わります。

グループダイヤルの登録：0010
営業部
短縮：０１０（３桁）

・宛先を消去しない場合は、手順7へ進みます。

6 **消去する宛先が表示されたら、クリアー を押す**

・表示されている短縮番号が消去されます。

グループダイヤルの登録：0009
企画部
短縮：００９（３桁）

7 **セット スタート ストップ を押す**

各種登録・設定

グループダイヤルの変更

1 「登録内容の宛先確認／消去」（☞97 ページ）の手順 4 までの操作をする

2 ▼ ▲ を押して、宛先を確認する

グループダイヤルの登録：0010
営業部
短縮：０１０（３桁）

3 消去する宛先が表示されたら、クリアー を押す
・変更する宛先が消去されます。

グループダイヤルの登録：0009
企画部
短縮：００９（３桁）

4 セット を押す

グループダイヤルの登録：0009
宛先を追加してください

5 追加する宛先を指定する
・続けて、グループダイヤルに宛先を追加できます。
例：「短縮０１１」

グループダイヤルの登録：0010
東京本社　総務部
短縮：０１１（３桁）

6 セット を押す

グループダイヤルの登録：0010
宛先を追加してください

7 セット を押す
・グループダイヤルの変更が終わります。

グループダイヤルの登録
ボタン（1 ～ 50、F1 ～ F10）
を押してください

8 ストップ を押す

お知らせ

● グループダイヤルの変更を途中でやめるときは、ストップ を押します。

プログラムダイヤルの登録

ワンタッチに宛先とポーリング受信などの各種通信操作を登録しておくと、複雑な機能もボタンを 1 回押すだけで指定できます。

● プログラムダイヤルの宛先には、登録済みの短縮番号やワンタッチ番号を入力します。あらかじめ、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの登録をしておいてください。（☞90 ページ、☞92 ページ）

1 ファンクション ⑦ ③ セット ② セット **を押す**

プログラムダイヤルの登録
ボタン（1～50）
を押してください

2 登録するワンタッチダイヤル（01 ～ 50）を押す

・指定したワンタッチに登録内容があるときは、ディスプレイの 3 段目に、その内容を表示する。

・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直す。

プログラムダイヤルの登録
名称を登録してください
_

3 プログラム名称（最大 20 文字）を入れる

・「文字入力のしかた」（☞122 ページ）

東京本社＿
入力コード：かな漢
■

4 セット **を押す**

プログラムダイヤルの登録
プログラムが登録できます
操作を指定してください

5 ファンクション **を押して、通信操作を登録する**

・登録する機能を表示させ、各種通信操作を登録します。
・宛先指定などは、通常の通信操作と同じです。各ページを参照してください。

・登録できる通信操作の種類（☞100 ページ）

ファンクション選択　（1－8）
番号入力または∨、∧
を入力してください

6 スタート **を押す**

・プログラムダイヤルが登録されます。

プログラムダイヤルの登録
ボタン（1～50）
を押してください

7 続けて、プログラムダイヤルの登録ができます。手順 2 からの操作を繰り返します。

8 ストップ **を押す**

お知らせ

● プログラムダイヤルの登録を途中でやめるときは、ストップを押します。
● プログラムダイヤルの登録は、最大 50 件まで指定できます。

プログラムダイヤルの変更

1 「ワンタッチの消去」（☞104 ページ）をする

2 「プログラムダイヤルの登録」（☞99 ページ）の操作をして、プログラムダイヤルを登録し直す

登録できる通信操作の種類

プログラムダイヤル	1. タイマー通信	1. 送信
		2. ポーリング受信
		3. 特殊通信
	2. 特殊通信	3. ファイル送信
		4. F コード通信
		6. F 網通信
		7. F ポート通信
	3. ポーリング	1. ポーリング受信
	8. セレクトモード	1. 優先通信
		2. OMR 送信
		3. セレクト送信
		4. パスワード送信
		5. ワンタイム海外通信
		6. 定期便タイマー通信

ファンクションの登録

ファンクション登録ボタン F1 通信予約の確認 〜 F10 によく使う機能を 10 種類まで登録できます。ファンクション登録しておくと、複雑な操作を 1 回の操作で指定できます。
また、ダイヤル番号を登録して、ワンタッチダイヤル、グループダイヤルとしてもお使いになれます。

1 ファンクション ⑦ ③ セット ③ セット を押す

ファンクションの登録
ボタン（F１～F１０）
を押してください

2 登録するボタン（F1 ～ F10）を押す

・指定したファンクション登録ボタンに登録内容があるときは、ディスプレイの 3 段目に、「ファンクション　登録済み」と表示されます。

・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

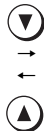
希望項目の番号を選んでください
１．タイマー送信
２．タイマーポーリング受信

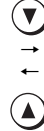
3 ▼ または ▲ を押して、登録する機能を表示させる

・▼ ▲ を押すと、ディスプレイは次のように切り替わります。登録する機能を表示させます。

・登録できる機能の種類（☞ 102 ページ）

希望項目の番号を選んでください
１．タイマー特殊通信
２．ファイル蓄積

▼ → ← ▲

希望項目の番号を選んでください
１．ファイル送信
２．ファイル消去

▼ → ← ▲

希望項目の番号を選んでください
１．ファイルプリント
２．手動ファイル転送

4 ① または ② を押す

・登録する機能がディスプレイの 3 段目に表示されます。

・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

5 セット を押す

ファンクションの登録
ボタン（F１～F１０）
を押してください

6 続けて、ファンクションの登録ができます
手順 2 からの操作を繰り返します

7 ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● ファンクションの登録を途中でやめるときは、ストップを押します。

● 例えば、「タイマー特殊通信」または「ファイル蓄積」をファンクションに登録する場合、手順 4 で①または②を押しただけでは機能は登録されません。以下の操作をしてください。

・「タイマー特殊通信」の場合、手順４までの操作をする→時刻指定する
→セットを 2 回押す→ストップを押す

・「ファイル蓄積」の場合、手順４までの操作をする→「外線」または「内線」を選ぶ
→セットを 2 回押す→ストップを押す

各種登録・設定

■登録できる機能の種類

機能名	説明	参照ページ
タイマー送信	あらかじめ、指定しておいた時間に通信を指定することができます。	49 ページ
タイマーポーリング受信	あらかじめ、指定しておいた時間にタイマーポーリング受信をします。	49 ページ
タイマー特殊通信	本機でご利用になれる各種通信を、通信時刻を指定してお使いになれます。	50 ページ
ファイル蓄積	ファイル送信する原稿を本体のメモリーに蓄積します。	51 ページ
ファイル送信	ファイル蓄積した内容を送信します。	51 ページ
ファイル消去	ファイル蓄積した内容を消去します。	52 ページ
ファイルプリント	ファイル蓄積した内容をプリントして確認できます。	52 ページ
手動ファイル転送	代行受信をしているけれどトナーや用紙が無くてプリントできないときなどに、受信した内容を別のファクスに転送してプリントすることができます。	78 ページ
F コード送信	F コードを付加した送信ができます。	53 ページ
F コード取り出し	相手機に開設されたボックスに登録してある文書を取り出すことができます。	54 ページ
F コード掲示板登録	あらかじめ掲示板ボックスを開設して、ボックスに文書を登録することができます。	54 ページ
F コード親展プリント	親展ボックスに登録された文書を取り出すことができます。	55 ページ
F 網通信	NTT コミュニケーションズのファクシミリ通信網を使って通信することができます。	55 ページ
F ポート通信	KDDI 株式会社（KDDI）の F ポート専用回線を利用して通信することができます。	56 ページ
ポーリング受信	相手にセットされているポーリング原稿を、こちらの操作で受信します。	48 ページ
ポーリング送信	相手の操作で自動的に送信したいときに、ポーリング送信をセットします。	47 ページ
通信管理レポートの出力	通信管理レポートをプリントすることができます。	79 ページ
通信管理レポートの確認	通信管理状況を、ディスプレイで確認することができます。	79 ページ
OMR 通信	専用の OMR シートを使って、通信を指定することができます。	56 ページ
パスワード送信	パスワードが一致する相手にだけ、送信することができます。	59 ページ
セレクト送信	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録した相手にしか、ファクスを送信しないようにすることができます。	64 ページ
優先通信	至急に送信したい原稿を、現在、行っている通信の次に送信することができます。	66 ページ
ワンタイム海外通信	海外の相手と通信をしていて、通信エラーや画質異常になるときに指定します。	67 ページ
定期便タイマー通信	登録済みの定期便タイマーの指定時刻（最大５つ）から、一番近い時刻になると、自動的に通信を始めます。	67 ページ
通信予約の確認	タイマー通信などの通信予約した内容を確認します。	72 ページ
時間・宛先変更	タイマー送信やタイマーポーリング受信の指定時間、宛先を変更できます。	74 ページ
通信予約の消去	通信予約されている内容を消去します。	75 ページ
指定通信予約レポート	通信予約をしている内容があるとき、指定する予約内容をレポートにしてプリントすることができます。	76 ページ
未達宛先再通信	メモリーに蓄積されている未通信の内容を再通信の指定にします。	77 ページ
受信データの強制出力	装置設定の「代行出力」が“なし”になっているとき、メモリーに蓄積されている受信原稿を強制的にプリントします。	78 ページ
通信先表示の確認	オプションの通信ユニットを増設した場合、同時に通信している通信中の相手や通信枚数をディスプレイで確認します。	ー
省エネモード	節電モード、省エネモードの設定ができます。	ー
メモリー転送	受信した原稿を、すべて指定した宛先へ転送します。	70 ページ

機能名	説明	参照ページ
ダイレクト通信	メモリーを使わないで送信をすることができます。	29 ページ
発信元印字の ON/OFF	送信するときに、発信元情報の印字の付加を指定できます。	―
等倍送信	相手側にセットされている記録紙のサイズに関わらず、セットした原稿を縮小しないで送信できます。	―
ハイブリッドダイヤル	ハイブリッドダイヤルの指定ができます。ハイブリッドダイヤルをお使いになるときは、必ず登録してください。	33 ページ
通信モード／回線	回線の指定ができます。	―
LAN 中継指示	インターネット FAX オプション装着時に表示されます。	―
インターネット	インターネット FAX オプション装着時に表示されます。	―
ネットワークスキャナー	インターネット FAX オプション装着時に表示されます。	―
IP FAX A3 送信	インターネット FAX オプション装着時に表示されます。	―

お知らせ

● ファンクションの登録を途中でやめるときは、を押します。

ワンタッチの消去

ワンタッチ（01 ～ 50）とファンクション登録ボタン（F1 ～ F10）に登録されている内容を消去します。

1 ファンクション ⑦ ③ セット ④ セット **を押す**

ワンタッチボタンの消去
ボタン(1 ～ 50、F1 ～ F10)
を押してください

2 **消去するボタンを押す**

・消去するワンタッチボタン（01 ～ 50、F1 ～ F10）を選択します。
・登録されている内容がディスプレイの 3 段目に表示されます。
・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

ワンタッチボタンの消去
ボタン番号：０１
ダイヤル　　　登録済み

3 セット **を押す**

ワンタッチボタンの消去
ボタン番号：０１　消去しますか
１．はい　　２．いいえ

4 ① **を押す**

・指定したボタンの内容が消去されます。
・登録内容を消去しないときは、② を押します。手順 1 の画面に戻ります。

ワンタッチボタンの消去
ボタン番号：０１消去しました

5 **続けて、ワンタッチボタンの消去をするときは、手順 2 からの操作を繰り返します**

ワンタッチボタンの消去
ボタン(1 ～ 50、F1 ～ F10)
を押してください

6 ストップ **を押す**

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● ワンタッチの消去を途中でやめるときは、ストップを押します。

Fコード通信の登録

Fコード通信で使うボックスを開設します。
本機では、親展ボックスと掲示板ボックスを開設できます。

親展ボックスの登録

1 ファンクション ⑦⑥ セット を押す

F コード通信の登録
1．ボックスの登録
2．ボックスの消去

2 ①を押す

ボックスの登録
1．親展ボックスの登録
2．掲示板ボックスの登録

3 ①を押す

親展ボックスの登録
ボックス No. を指定してください
＿　　（2桁）

4 ボックス No.（2桁：01 ～ 10）を指定する

・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。
・すでに掲示板ボックスとして登録されているボックスNo. を選ぶことはできません。

例：「01」

親展ボックスの登録
ボックス No. を指定してください
０１　（2桁）

5 セット を押す

親展ボックスの登録
ボックス名称を登録してください
＿

6 ボックス名称（最大20文字）を入れる

・「文字入力のしかた」
（☛122ページ）

親展ボックス＿
　入力モード ：カナ

7 セット を押す

親展ボックスの登録
暗証番号を登録してください
＿　　　（4桁）

8 暗証番号（4桁）を登録する

・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

例：「1234」

親展ボックスの登録
暗証番号を登録してください
１２３４　（4桁）

9 セット を押す

親展ボックスの登録
サブアドレスを登録してください
＿

10 サブアドレス（最大20桁）を登録する

・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

例：「12345678901234567890」

親展ボックスの登録
サブアドレスを登録してください
12345678901234567890

11 セット を押す

親展ボックスの登録
パスワードを登録してください
＿

12 パスワード（最大 20 桁）を登録する

・パスワードが必要ない場合は、何も入力しないで手順 13 に進みます。

・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

例：「22222333334444455555」

親展ボックスの登録
パスワードを登録してください
22222333334444455555

13 セット を押す

親展ボックスの登録
セレクト番号を登録してください
短縮：__　（3桁）

14 親展ボックスに受信する相手を登録する

・親展ボックスに受信する相手を選択します。

・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

・セレクト番号の選び方（107 ページ）

例：短縮番号「001」

親展ボックスの登録
CANON
短縮：001　（3桁）

15 セット を押す

親展ボックスの登録
受付レポートを出力しますか
1．はい　　2．いいえ

16 受付レポートの出力を選ぶ

・①：親展ボックスに受信したとき、受付レポートを出力します。

・②：受付レポートを出力しません。

受付レポートを出力した場合

例：「①」

ボックス No. 01は
親展ボックス
として登録されました

17 続けて、親展ボックスの登録をするときは、手順4からの操作を繰り返します

18 ストップ を押す

お知らせ

● 親展ボックスに登録した暗証番号は忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れると、親展ボックスに受信した文書をプリント（55 ページ）したり、ボックスの登録内容を変更・消去することができなくなります。

● 暗証番号を忘れた場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

● 親展ボックスの登録を途中でやめるときは、ストップを押します。

親展ボックスの変更

1 「親展ボックスの登録」の手順３までの操作をする
（☛105 ページ）

2 変更するボックス No. を指定し、セット を押す

・まちがえたときは、セット を押す前に クリアー を押して、指定し直します。

3 指定したボックス No. に登録されている暗証番号を入力し、セット を押す

4 「親展ボックスの登録」の手順６からの操作をして、ボックス名称などの登録内容を変更する （☛105 ページ）

お知らせ

●掲示板ボックスに登録されているボックスを、親展ボックスに変更することはできません。ボックスの内容を変更するときは「通信ボックスの消去」（☛110 ページ）をしてから登録し直してください。

セレクト番号の選び方

親展ボックスに受信する相手をセレクトすることができます。

セレクト番号	照合のしかた
任意の短縮番号	指定した短縮番号に登録されている電話番号の下４桁と、相手から送られてくる ID 番号の下４桁を照合し、一致すると受信を始めます。
00 ＊	短縮番号「000 ～ 009」に登録されている（最大１０宛先）電話番号の下 ４ 桁と、相手から送られてくる ID 番号の下４桁を照合し、一致すると受信を始めます。
0 ＊＊	短縮番号「000 ～ 099」に登録されている（最大１００宛先）電話番号の下４桁と、相手から送られてくる ID 番号の下４桁を照合し、一致すると受信を始めます。
＊＊＊	短縮番号「000 ～ 999」に登録されている (最大 200 宛先) 電話番号の下４桁と、相手から送られてくる ID 番号の下４桁を照合し、一致すると受信を始めます。
入力なし	相手をセレクトしないで受信します。

掲示板ボックスの登録

1 ファンクション ○ ⑦ ⑥ セット を押す

```
Fコード通信の登録
1. ボックスの登録
2. ボックスの消去
```

2 ①を押す

```
ボックスの登録
1. 親展ボックスの登録
2. 掲示板ボックスの登録
```

3 ②を押す

```
掲示板ボックスの登録
ボックスNo.を指定してください
__     (2桁)
```

4 ボックスNo.（2桁：01～10）を指定する

・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

・すでに親展ボックスとして登録されているボックスNo.を選ぶことはできません。

例：「01」

```
掲示板ボックスの登録
ボックスNo.を指定してください
01  (2桁)
```

5 セット を押す

```
掲示板ボックスの登録
ボックス名称を登録してください
__
```

6 ボックス名称（最大20文字）を入れる

・「文字入力のしかた」
（☛122ページ）

```
掲示板ボックス__
  入力モード ：カナ
```

7 セット を押す

```
掲示板ボックスの登録
暗証番号を登録してください
__         (4桁)
```

8 暗証番号（4桁）を登録する

・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

例：「1234」

```
掲示板ボックスの登録
暗証番号を登録してください
1234  (4桁)
```

9 セット を押す

```
掲示板ボックスの登録
サブアドレスを登録してください
_
```

10 サブアドレス（最大20桁）を登録する

・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

例：「12345678901234567890」

```
掲示板ボックスの登録
サブアドレスを登録してください
12345678901234567890
```

11 セット を押す

```
掲示板ボックスの登録
パスワードを登録してください
_
```

12 パスワード（最大20桁）を登録する

・パスワードが必要ない場合は、何も入力しないで手順13に進みます。

・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

例：「22222333334444455555」

```
掲示板ボックスの登録
パスワードを登録してください
22222333334444455555
```

13 セット を押す

```
掲示板ボックスの登録
原稿消去を行いますか
1. はい     2. いいえ
```

14 通信後のメモリー保存を選ぶ

- ①：掲示板ボックスの内容を送信した後、原稿を消去します。
- ②：送信した後、消去しません。

例：「①」

15 続けて、掲示板ボックスの登録ができます。手順4からの操作を繰り返します

16 (ストップ) を押す

お知らせ

- 掲示板ボックスに登録した暗証番号は忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れると、ボックスの登録内容を変更・消去することができなくなります。
- 暗証番号を忘れた場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
- 掲示板ボックスの登録を途中でやめるときは、(ストップ)を押します。

掲示板ボックスの変更

1 「掲示板ボックスの登録」の手順3までの操作をする（☛108ページ）

2 変更するボックス No. を指定し、[セット] を押します

- まちがえたときは、[セット] を押す前に [クリアー] を押して、指定し直します。

3 指定したボックス No. に登録されている暗証番号を入力し、[セット] を押す

4 「掲示板ボックスの登録」の手順6からの操作をして、ボックス名称などの登録内容を変更する（☛108ページ）

お知らせ

- 親展ボックスに登録されているボックスを、掲示板ボックスに変更することはできません。ボックスの内容を変更するときは「通信ボックスの消去」（☛110ページ）をしてから登録し直してください。

通信ボックスの消去

1 ファンクション ⑦ ⑥ セット を押す

```
Fコード通信の登録
1．ボックスの登録
2．ボックスの消去
```

2 ② を押す

```
通信ボックスの消去
ボックスNo.を指定してください
＿　　（2桁）
```

3 **ボックスNo.（2桁）を指定する**

・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

例：「01」

```
通信ボックスの消去
ボックスNo.を指定してください
01　（2桁）
```

4 セット を押す

```
通信ボックスの消去
暗証番号を指定してください
＿　　　（4桁）
```

5 **暗証番号（4桁）を指定する**

・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

例：「1234」

```
通信ボックスの消去
暗証番号を指定してください
1234　（4桁）
```

6 セット を押す

```
通信ボックスの消去
ボックスNo.01を消去しますか
1．はい　　2．いいえ
```

7 **ボックスの内容を消去するときは① を押す**

・ボックスの内容を消去しないときは、② を押します。手順3から指定し直します。

```
通信ボックスの消去
ボックスNo.01を消去しました
```

8 **続けて、通信ボックスの消去ができます。手順3からの操作を繰り返します**

9 を押す

お知らせ

● 指定した暗証番号を忘れた場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
● 通信ボックスの消去を途中でやめるときは、ストップを押します。

ユーザー管理の登録

ユーザー別管理をするときに登録します。
管理者用の暗証番号を登録すれば（☛114 ページ）、管理責任者が登録した４桁の暗証番号を入力しないと、ユーザーの登録／消去ができないようにできます。
また、ユーザーNo. を入力しないとファクスを使うことができなくなるため、部門ごとの管理もしやすくなります。
● 通信中のときは、ユーザー管理の登録はできません。

ユーザー管理の登録

1

を押す

```
ユーザー管理の登録　　（１－４）
番号入力またはV、Λ
を入力してください
```

2 ①を押す

```
ユーザー管理の登録　　（１－４）
１．ユーザーの登録
セットで選択されます
```

3 セット押す

・ユーザー管理者暗証番号を登録（☛114 ページ）していない場合は、次の画面は表示されずに手順６の画面に進みます。

```
ユーザーの登録
管理暗証番号を指定してください
__　　　　（４桁）
```

4 **ユーザー管理者用暗証番号（４桁）を指定する**

・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

例：「1234」

```
ユーザーの登録
管理暗証番号を指定してください
１２３４　（４桁）
```

5 セットを押す

```
ユーザーの登録
ユーザー No. を指定してください
__　　（２桁）
```

6 **ユーザーNo.（01 ～ 30）を指定する**

・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

例：「01」

```
ユーザーの登録
ユーザー No. を指定してください
０１　（２桁）
```

7 セットを押す

```
ユーザーの登録
パスワードを登録してください
__　　　　（４桁）
```

8 **利用者制限のパスワード（４桁）を登録する**

・まちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。
・利用者制限をしない場合は、何も登録しないで手順９へ進みます。

例：「5678」

```
ユーザーの登録
パスワードを登録してください
５６７８　（４桁）
```

9 セット を押す

```
ユーザーの登録
ユーザー名称を登録してください
_
```

10 ユーザー名（最大 10 文字）を入力する

・「文字入力のしかた」（☛122 ページ）

```
総務部_
 入力モード ：かな漢
■
```

11 セット を押す

```
ユーザーの登録
ワンタッチに登録しますか
1. はい    2. いいえ
```

12 ワンタッチボタンへの登録を指定する

・ ① : 指定したユーザー No. をワンタッチボタンに登録し、手順 13 へ進みます。
・ ② : 指定したユーザー No. をワンタッチボタンに登録しないで、手順 15 の画面へ進みます。

13 ユーザーを登録するワンタッチダイヤル（01 ～ 50、F1 ～ F10）を押す

・指定したワンタッチ、ファンクション登録ボタンに登録内容があるときは、ディスプレイの 3 段目に、その内容を表示します。
・まちがえたときは、クリアー を押して、指定し直します。

```
ユーザーの登録
ボタン番号：50
          未登録
```

14 セット を押す

・続けて、ユーザーの登録ができます。手順 6 からの操作を繰り返します。

```
ユーザーの登録
ユーザー No. を指定してください
_   （2桁）
```

15 ストップ を押す

● ユーザーの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
● ユーザー No.、利用者制限用パスワード、ユーザー管理者暗証番号には、数字のみ登録できます。
● ユーザーを変更したいときは、すでに登録されているユーザーを消去してから、登録し直してください。（☛113 ページ）

ユーザーの変更

1 「ユーザーの消去」（下記参照）の操作をする

2 「ユーザー管理の登録」（☞111 ページ）の操作をして、ユーザーの変更をします。

ユーザーの消去

1 ファンクション ⑦⑦ セット を押す

ユーザー管理の登録　（１－４）
番号入力または∨、∧
を入力してください

2 ②を押す

ユーザー管理の登録　（１－４）
２．ユーザーの消去
セットで選択されます

3 セット を押す

・ユーザー管理者用暗証番号を登録（☞114 ページ）していない場合は、次の画面は表示されずに手順６の画面に進みます。

ユーザーの消去
管理暗証番号を指定してください
＿　　　（４桁）

4 ユーザー管理者用暗証番号（４桁）を指定する

・まちがえたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「1234」

ユーザーの消去
管理暗証番号を指定してください
１２３４　（４桁）

5 セット を押す

ユーザーの消去
ユーザー No. を指定してください
＿　　（２桁）

6 消去するユーザー No.（01 ～ 30）を指定する

・まちがえたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「01」

ユーザーの消去
ユーザー No. を指定してください
０１　（２桁）

7 セット を押す

・指定したユーザーNo.に利用者制限のパスワードが登録されている場合は、次の画面が表示されます。

・利用者制限のパスワードを登録していない場合は、手順 10 の画面へ進みます。

ユーザーの消去
パスワードを指定してください
＿　　　（４桁）

8 利用者制限のパスワード（４桁）を指定する

・まちがえたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「5678」

ユーザーの消去
パスワードを指定してください
５６７８　（４桁）

各種登録・設定

9 セット を押す

```
ユーザーの消去
ユーザー No.: 0 1 を消去しますか
1．はい　　2．いいえ
```

10 ① を押す

・指定したユーザーNo. を消去します。

・消去しない場合は、② を押します。手順 6 の画面に戻ります。

```
ユーザーの消去
ユーザー No.: 0 1 を消去しました
```

→

```
ユーザーの消去
ユーザー No. を指定してください
__　　（2 桁）
```

11 続けて、ユーザー No. の消去ができます。手順 6 からの操作を繰り返します

12 ストップ を押す

お知らせ

● ユーザーの消去を途中でやめるときは、ストップ を押します。

ユーザー管理者用暗証番号の登録

ユーザー管理者が使う暗証番号を登録することができます。
暗証番号を登録しておけば、暗証番号を知っている管理者だけが、ユーザーの登録／消去や、ユーザー設定リストをプリントすることができます。

1 ファンクション ⑦ ⑦ セット を押す

```
ユーザー管理の登録　　（1 − 4）
番号入力または∨、∧
を入力してください
```

2 ③ を押す

```
ユーザー管理の登録　（1 − 4）
3．ユーザー管理者暗証番号登録
セットで選択されます
```

3 セット を押す

```
ユーザー管理者暗証番号の登録
管理暗証番号を登録してください
__　　　（4 桁）
```

4 ユーザー管理者用暗証番号（4 桁）を登録する

・まちがえたときは、クリアー を押して、指定し直します。

例：「1234」

```
ユーザー管理者暗証番号の登録
管理暗証番号を登録してください
1 2 3 4　（4 桁）
```

5 セット を押す

```
ユーザー管理の登録　（1 − 4）
3．ユーザー管理者暗証番号登録
セットで選択されます
```

6 ストップ を押す

お知らせ

● ユーザー管理者暗証番号の登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
● すでにユーザー管理者暗証番号が登録されている場合には、暗証番号を登録することができません。
● ユーザー管理者暗証番号を変更したいときは、すでに登録されている暗証番号を消去してから、登録し直してください。（☞ 115 ページ）

ユーザー管理者用暗証番号の消去

1 ファンクション ○ ⑦ ⑦ [セット] を押す

```
ユーザー管理の登録　　（１－４）
番号入力または∨、∧
を入力してください
```

2 ④ を押す

```
ユーザー管理の登録　（１－４）
４．ユーザー管理者暗証番号消去
セットで選択されます
```

3 [セット] を押す

```
ユーザー管理者暗証番号の消去
管理暗証番号を指定してください
＿　　　　　（４桁）
```

4 ユーザー管理者暗証番号（4 桁）を指定する

・まちがえたときは、[クリアー] を押して、指定し直します。

例：「1234」

```
ユーザー管理者暗証番号の消去
管理暗証番号を指定してください
１２３４　（４桁）
```

5 [セット] を押す

```
ユーザー管理者暗証番号の消去
管理暗証番号を消去しますか
１．はい　　　２．いいえ
```

6 ① を押す

・ユーザー管理者暗証番号を消去します。

・消去しない場合は、② を押します。
手順 2 の画面に戻ります。

```
ユーザー管理の登録　（１－４）
４．ユーザー管理者暗証番号消去
セットで選択されます
```

7 (ストップ) を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● ユーザー管理者暗証番号の消去を途中でやめるときは、(ストップ) を押します。

ユーザー別管理の設定

ユーザー別管理の機能をお使いになりたいとき“あり”にします。

1 ファンクション ○ ⑦ ④ [セット] を押す

```
システムの登録　　　(001-137)

　　No. =＿　　　（３桁）
```

2 ① ⓪ ⑧ [セット] を押す

```
108 ユーザー別管理　設定：1

１．なし　　　２．あり
```

3 ② [セット] を押す

・ユーザー別管理の設定がセットされます。

4 を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● ユーザー別管理の設定を途中でやめるときは、(ストップ) を押します。

● ユーザー別管理の設定を“なし”にしたいときは、手順3で ① [セット] を押します。

ユーザー別管理をしているときファクスを使う

ユーザー別管理の設定（☞115 ページ）のあとに操作できます。

1 **ユーザーNo.(01～30) を入力し、［セット］を押す**
- 111 ページ手順６で指定した No. を入力します。
- まちがえたときは、（ストップ）を押して、指定し直します。
- パスワードが指定されていないときは手順３へ進みます。

2 **パスワード（４桁）を入力し、［セット］を押す**
- 111 ページ手順８で指定したパスワードを入力します。
- まちがえたときは、［クリアー］を押して、指定し直します。

3 **通信などの操作をする**
- 通信などの操作が終わると、ユーザー管理設定中の画面に戻ります。

お知らせ
- 112 ページ手順１２～１４でワンタッチボタンへユーザーの登録をしておけば、ユーザー No. が登録されているワンタッチボタンを押すだけで通信等の操作をすることができます。
- 利用者制限パスワードを登録した場合はパスワードの入力が必要です。

ユーザー別レポートの設定

ユーザー別管理をしているとき、ユーザーNo. で区分けされた部署ごとにユーザー別管理レポートを一定の周期で自動出力させることができます。

3 **②または③を押し［セット］を押す**
- 「曜日指定」または「日時指定」の周期がセットできます。

例：③「日時指定」

4 **日付と時刻を入れる**
- 例：「毎月１日１２時００分」の場合 ⓪①①②⓪⓪を押す
- 時刻は２４時間制で入れます。
- まちがえたときは、［クリアー］を押して、指定し直します。

5 **［セット］（ストップ）を押す**
- 待機状態に戻ります。

お知らせ
- ユーザー別レポートの設定を途中でやめるときは、（ストップ）を押します。
- ユーザー別レポートの設定を“なし”にしたいときは、手順３で①［セット］を押します。

システムの登録

システム登録のしかた

1 ファンクション ⑦ を押す

```
登録モード                 （1－7）
番号入力または∨、∧
を入力してください
```

2 ④ セット を押す

```
システムの登録          (001-137)

   No.  ＝＿          （3桁）
```

3 **設定する番号（3桁）を入れ、セット を押す**

例：「003」

```
003 ハーフトーン      設定：1
1．なし
2．きれい     3．はやい
```

・「システム登録一覧表」（☞118ページ）を参照して、設定番号を選択します。

・設定番号をまちがえたときは、クリアーを押して、指定し直します。

4 **設定値を選ぶ**

・「システム登録一覧表」（☞118ページ）を参照して、設定値を選択します。

```
003 ハーフトーン      設定：1
1．なし
2．きれい     3．はやい
```

5 セット **を押す**

・続けて、表示されている項目の設定ができます。手順4からの操作を繰り返します。

```
004 済みスタンプ      設定：2

1．なし        2．あり
```

6 ストップ **を押す**

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● システム登録を途中でやめるときは、ストップを押します。

● 手順4の画面を表示しているとき、▼ ▲ を押すと、ほかの設定項目が選べます。

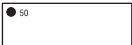
システム登録一覧表

お買い上げ時は、下線の位置に設定されています。

設定番号	設定項目	設定値	説明
001	原稿濃淡	1：ふつう 2：こく 3：うすく	通常使用する原稿の濃さに合わせます。
002	文字サイズ	1：ふつう 2：小さい 3：細密	通常使用する原稿の文字の大きさに合わせます。
003	ハーフトーン	1：なし 2：きれい 3：はやい	通常使用する原稿に合わせます。
004	済みスタンプ	1：なし 2：あり	ダイレクト送信時に済スタンプの設定状態を選びます。(メモリー送信時の済スタンプは「028 メモリー済スタンプ」で設定します。)
005	送信メモリー優先	1：なし 2：あり	“なし”にすると、通常の操作でダイレクト送信となります。
006	ダイヤル切替	1：外線 2：内線 + 1：PB 2：10pps 3：20pps	お使いの電話回線に合わせて、ダイヤル種別を選びます。（☞139 ページ）
007	発信元印字	1：なし 2：原稿外 3：原稿内	相手用紙にプリントする発信元の位置を設定します。“なし”にすれば、発信元をプリントしません。
009	受信時刻印字	1：なし 2：あり	“あり”にすれば、受信した時刻を用紙にプリントします。
010	ブザー音量	1：小さい 2：ふつう 3：大きい	アラーム音やボタンを押したときの音量を調節します。
012	通信結果レポート 1：ダイレクト結果レポート 2：メモリー結果レポート	1：なし 2：未通信 3：全通信	通信結果レポートをプリントするときの条件を設定します。
013	通信管理レポート	1：なし 2：あり	通信管理レポートのプリント方法を設定します。“なし”にしたときはパネル操作でレポートをプリントします。
014	通信受付レポート	1：なし 2：あり	メモリー送信を受け付けたとき、受付番号や宛先などをレポートにしてプリントします。
021	着信呼出回数	1：1回 0:0 回　～　9:9 回	ファクスが着信するまでに鳴る呼出音の回数を設定します。
026	ポーリング用暗証番号の登録	4 桁のパスワード	ポーリング通信をするときに使う 4 桁のパスワードです。
027	ポーリング送信保存	1：なし 2：あり	“あり”にすると、ポーリング送信したあと、原稿をメモリーから消去しません。
028	メモリー済スタンプ	1：なし 2：あり	“なし”にすると、メモリー送信のときに、原稿をメモリーに蓄積した時点で済スタンプを押しません。(ダイレクト送信時の済スタンプは「004 済みスタンプ」で設定します。)
031	未送信ファイル保存	1：なし 2：あり	未通信になったファイルをメモリーに保存し、再通信を指定することができます。
034	省エネモード	1：なし 2：節電 3：省エネ	省エネ運転（パネル以外電源断）または節電運転を設定します。タイマーを使って運転時間の指定もできます。(省エネ設定中はディスプレイに「省電力中です」と表示します）（☞121 ページお知らせ）

設定番号	設定項目	設定値	説明
037	メモリー受信暗証番号の登録	4 桁のパスワード	メモリー受信をした文書を、印刷するときのパスワードを設定します。セレクトモードで設定を“あり”にした場合、メモリー受信暗証番号の変更ができなくなります。（☞68 ページ）
043	パスワード送信	4 桁のパスワード ＋ 1：なし 2：あり	送信パスワードを使って、相手とパスワード通信するとき、4 桁のパスワードを登録し、“あり”または“なし”を選びます。（☞59 ページ）
044	パスワード受信	4 桁のパスワード ＋ 1：なし 2：あり	受信パスワードを使って、相手とパスワード通信するとき、4 桁のパスワードを登録し、“あり”または“なし”を選びます。（☞61 ページ）
045	セレクト送信	1：なし 2：あり	“あり”にすると、ダイヤル番号が登録されている相手にしかファクスを送信しません。
046	セレクト受信	1：なし 2：あり	“あり”にすると、ダイヤル番号が登録されている相手のファクスしか受信しません。
047	リモート受信	1：なし 2：あり	“あり”にすると、接続した外部電話機から、ファクスをリモート受信できます。
051	遠隔診断	1：なし 2：あり	遠隔操作などにより各種の診断を行う機能です。
054	メモリー転送	1：なし 2：あり	“あり”にすると、受信した原稿を、すべて指定した宛先へ転送できます。メモリー転送する宛先、メモリー転送を有効とする着信回線、転送時間帯、受信した原稿の本機でのプリント指定をセットできます。
065	正順プリント	1：なし 2：あり	複数ページの受信やソートコピーをしたときの、プリントする順番を選びます。“なし”にすると、1 枚目のページよりプリントを開始します（この場合、ページ順は逆になります）。（☞39 ページ）
066	代行出力	1：なし 2：あり	“あり”にしていると、受信中に適正サイズの用紙が無くなると、ほかのカセットにセットされている用紙を使ってプリントします。（☞38 ページ）
067	受信 2 in 1 機能	1：なし 2：あり	A5 または B5 サイズの原稿を 2 枚受信したとき、A4 またはB4サイズの用紙1枚にまとめてプリントします。
068	ダイヤルトーン検知	1：なし 2：あり	“なし”にすると、ダイヤルトーンの検知をしません。
071	親切受信	1：なし 2：あり	相手が自動送信のファクス（ポー・・ポー・・音）の場合、受話器をおろすと自動的に受信に切り替わります。
075	OP ハンドセット	1：なし 2：あり	オプションハンドセットをお使いのときに設定します。
078	回転送信	1：なし 2：あり	A4 原稿を（←）の方向にセットし、送信すると 90°回転して（←）送ります。
082	クイックメモリー送信	1：なし 2：あり	クイックメモリー送信を設定します。“あり”にすると、ＡＤＦ から1ページ目の原稿をメモリーに読み込んだ時点で送信を開始する機能です。（複数宛先の場合は、クイックメモリー送信となりません。）
083	回転ソート	1：なし 2：あり	A4 原稿の複数ページの受信やソートコピーで、A4 用紙へプリントするときは、1 部プリントするごとに A4 縦、A4 横と交互にプリントします。（この場合は、用紙の設定で A4 縦、横の両用紙をカセットに設定する必要があります）
088	通信モード／回線	1：外線 2：内線	回線選択の初期値を設定します。
096	NTT ファクシミリ通信網	1：なし 2：SDT 3：Timer	ファクシミリ通信網加入時、第２発信音を検知する場合は２：ＳＤＴ、しない場合は３：Timer に設定します。

設定番号	設定項目	設定値	説明
099	メモリー容量	―	オプションの「メモリーカード」の取り付け状態を確認します。（メモリーカードは、取り付け時に自動認識しますので設定はありません。）
102	液晶表示濃度	1:淡い～3～6:濃い	ディスプレイの表示濃度を設定します。
103	発呼宛先表示	1：宛先名 2：ダイヤル	宛先指定したとき、ディスプレイに表示する宛先種類の設定をします。
105	メモリーフル時動作	1：中止 2：実行	メモリーフル時の動作を設定します。
106	原稿詰まり時動作	1：中止 2：実行	原稿詰まり時動作を設定します。
107	代行宛先通信	1：なし 2：あり	短縮ダイヤルとワンタッチダイヤル発呼にて相手が話し中のとき、代行宛先に送信するかの設定をします。
108	ユーザー別管理	1：なし 2：あり	ユーザー別管理をするかの設定をします。
109	ユーザー別レポート	1：なし 2：曜日指定 3：日時指定	（日／週）ユーザー別管理レポートの出力条件を設定します。
116	受信時呼び出し	1：なし 2：あり	オプションのハンドセットをお使いで、自動受信が設定されているとき“あり”に設定しておくと、受信した相手が電話の場合呼び出し音を鳴らします。（☞お知らせ）
117	複数宛先指定	1：なし 2：あり	複数宛先の設定をします。 “あり”にすると、複数の宛先に送信できます。 “なし”にすると、送信時に複数の宛先を指定することはできません。（☞36 ページ）
125	宛先確認	1：なし 2：あり	宛先指定時に確認画面を表示するときに“あり”にします。（☞34 ページ）
136	直接ダイヤル制限	1：なし 2：あり	宛先入力時の直接ダイヤル機能の有効/ 無効を設定します。“あり”に設定すると、直接ダイヤルによる宛先の指定、インターネット FAX でのメールアドレスの入力はできません（手動送信を含む）。“あり”に設定した場合、［再ダイヤル］は使用できません。 （メールアドレス入力は、オプションのインターネット FAX ユニットをお使いの場合にご利用になれます。）
137	直接ダイヤル再入力	1：なし 2：あり	直接ダイヤルによる宛先指定時、インターネット FAX でのメールアドレス入力時、再ダイヤル時、および宛先確認で、宛先を入力する時に、宛先の再入力画面を表示するかどうかを設定します。“あり”に設定すると、宛先の再入力画面が表示され、1 回目と 2 回目の宛先が一致した場合にだけ通信が開始されます。 ・“あり”に設定した場合も、手動送信のときは、再入力画面が表示されません。 ・「136 直接ダイヤル制限機能」が“あり”に設定されている場合、本機能で“あり”を設定しても、宛先の再入力画面は表示されません。 （メールアドレス入力は、オプションのインターネット FAX ユニットをお使いの場合にご利用になれます。）

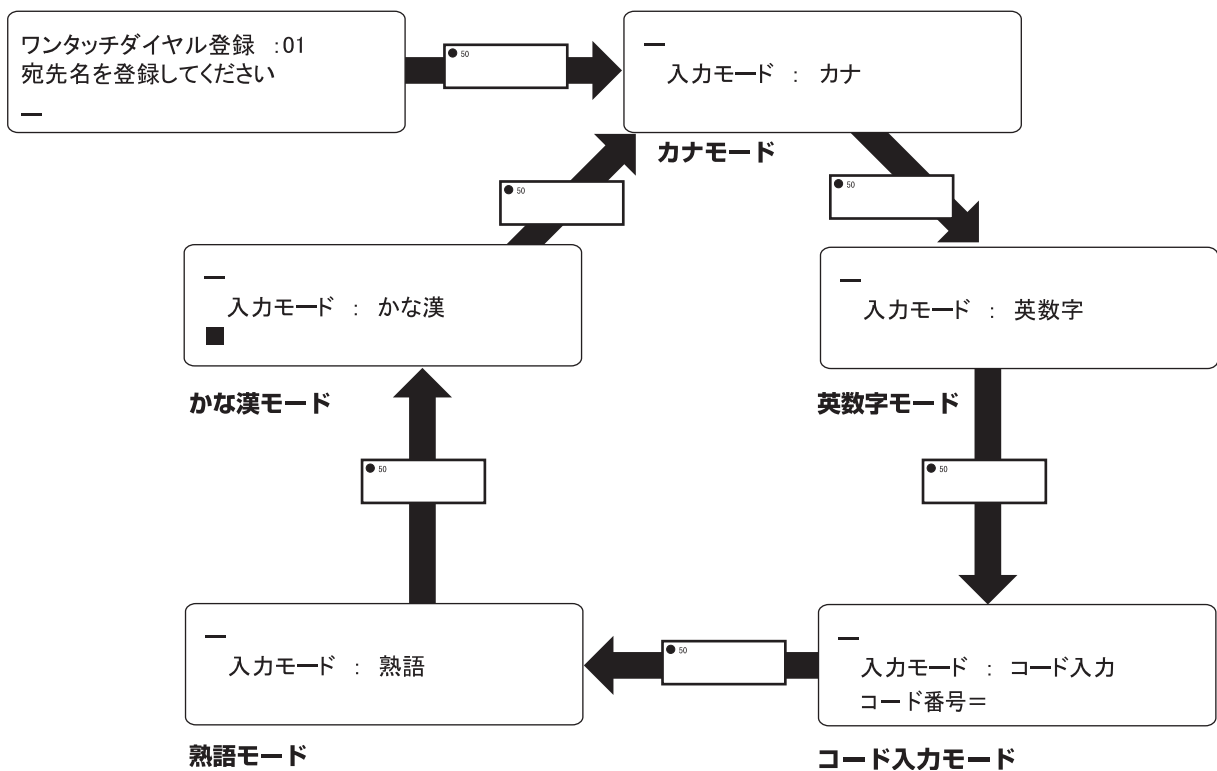
お知らせ

- システム登録の「034 省エネモード」（☛118 ページ）の設定で「省エネ」を選択したとき、本機が次の状態にある場合は省エネ運転になりません。
  - ・タイマー通信が予約されているとき
  - ・メモリー受信またはポーリング送信がセットされているとき
  - ・インターネット ＦＡＸ ユニットをお使いのとき
  - ・Ｆコード掲示板、ファイル蓄積、未達宛先再通信、等がセットされているとき
  - ・原稿がセットされたままのとき
  - ・オプションのハンドセットや外部電話機の受話器が上がっているとき
  - ・ＮＴＴ ファクシミリ通信網を“なし”以外に設定したとき
  - ・着信呼出回数を「0」に設定したとき
- システム登録の「116 受信時呼び出し」（☛120 ページ）の設定が“あり”のときは、受信時呼び出し機能が働き、呼び出し音が鳴った場合、外部電話機の受話器を上げても本機は検知できません。

文字入力のしかた

短縮ダイヤルの宛先名や、自局情報の登録などをするときに文字を入力します。

- 文字入力をするときは、宛先シートを取り外して、宛先シートの下にある文字シートを使って入力してください。
- 文字は [● 50]（ワンタッチボタン 50）を使って入力モードを切り替えながら入力します。
- 本機では、ひらがな・カタカナ・漢字・英数字・記号が入力できます。

入力モードの切り替え方

文字入力時は [● 50]（ワンタッチボタン 50）が文字切替ボタンとなり、以下のように押すごとに入力モードが切り替わります。初期状態では「かな漢モード」に設定されています。

文字入力のしかた

ひらがな・カタカナ・漢字を入力します。
文字入力の画面を表示させる

短縮ダイヤルの登録　短縮：001
宛先名を登録してください

1 文字シートに従って、文字を入力する

・例：「松」を入力する場合

文字シートの［21 ま］［08 つ］を押す。

▼、▲キーを押し、変換したい文字を表示させる。

・まちがえたときは、［クリアー］を押して、入力し直す。

入力モード：かな漢　2/10
松

2 ［セット］を押す

・文字を確定する。

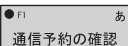
松
入力モード：かな漢

お知らせ

- ディスプレイ３段目には、漢字が表示されます。
- 濁点、半濁点を入力したいときは、［29］［30］を押します。

英数字の入力のしかた

文字入力の画面を表示させる

```
短縮ダイヤルの登録　短縮：001
宛先名を登録してください
_
```

1 ［50］を２回押す

・「英数字入力モード」に切り替わる。

```
_
入力モード：英数字
```

2 文字シートおよびテンキーボタンに従って、英数字を入力する

・例：「A」を入力する場合［F1 あ 通信予約の確認］を押す

・まちがえたときは、［クリアー］を押して、入力し直す。

```
A_
入力モード：英数字
```

3 ［セット］を押す

コード入力のしかた

区点コード表を参照して、区点コードに対応する文字を入力します。
・「区点コード表」（☞167 ページ）
文字入力の画面を表示させる

```
短縮ダイヤルの登録　短縮：001
宛先名を登録してください
_
```

1 ［50］を３回押す

```
_
入力モード：コード入力
コード番号＝
```

2 区点コード（４桁）を入力する

・例：「全」を入力する場合③③②⓪を押す

```
全_
入力モード：コード入力
コード番号＝
```

・まちがえたときは、［クリアー］を押して、入力し直す。

3 ［セット］を押す

熟語入力のしかた

熟語一覧表を参照して、ファンクション登録ボタン（[F1 通信予約の確認 あ]～[F10 こ]）、ワンタッチ（01 ～ 46）に対応する熟語を入力します。

・「熟語一覧表」（☞181 ページ）

文字入力の画面を表示させる

```
短縮ダイヤルの登録　短縮： 001
宛先名を登録してください
_
```

3 入力する文字を選ぶ

・例：「東海」を指定する場合③を押す

・まちがえたときは、[クリア]を押し熟語を削除して、手順 2 へ戻り入力し直します。

お知らせ

● ワンタッチの 20、30、45 と 47 ～ 50 には、対応する熟語がありません。

文字の変更／消去

例：「東京本社総務部」を「東京本社企画部」に変更する

短縮ダイヤルの登録　短縮：001
宛先名を登録してください
東京本社総務部

1 ◀または▶を押す

東京本社総務部_
入力モード：かな漢
■

2 クリアーを押して、変更する文字を消去する

・カーソルの左側にある文字を1文字ずつ消去する。

・入力されている文字をすべて消去したいときは、カーソルを左端に移動させてから、クリアーを押す。

東京本社務部
入力モード：かな漢
■

クリアー

東京本社部
入力モード：かな漢
■

3 F7 き　F6 か　F8 く　を押す

・文字シートを使って、変更する文字を入力する。

東京本社部
入力モード：かな漢
きかく■

4 ▼または▲を押し、変換する文字を表示させる

・文字シートを使って、変更する文字を入力する。

東京本社部
入力モード：かな漢　1/3
企画

5 セットを押す

・変換した文字がカーソルの前に挿入される。

東京本社企画部
入力モード：かな漢
■

6 セットを押す

自局情報の登録

自局情報では、次の項目が登録できます。

	登録項目	内容	参照ページ
1	時刻の指定	現在の日付けと時刻を登録します。	128ページ
2	発信元情報	原稿を送信するとき、原稿の先端につける、会社名や部署名などの情報を登録します。	129ページ
3	文字 ID（カナ）	相手のディスプレイに表示させる会社名などの情報を登録します。	130ページ
4	外線数字 ID	外線を使って通信したとき、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	131ページ
5	内線数字 ID	内線を使って通信したとき、相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。	132ページ
6	定時刻タイマー	タイマー通信を指定するときの時刻を登録します。	133ページ
7	定期便タイマー	定期便タイマー通信を指定するときの指定時刻（1 ～ 5）を登録します。	134ページ
8	F コードサブアドレス	サブアドレス通信をするときに使うサブアドレス番号を登録します。	135ページ
9	F コードパスワード	サブアドレス通信をするときに使うパスワードを登録します。	136ページ

日付と時刻の登録

現在の日付と時刻を登録します。

1 ファンクション ⑦ ① セット を押す

2 ▼ または ▲ を押して、「時刻の指定」を表示させる

時刻の指定
０８年０５月１１日１２時００分

3 日付と時刻を入れる

・例:「2008年05月11日　午後5時15分」の場合 ⓪⑧⓪⑤①①①⑦①⑤を押す。
・時刻は 24 時間制で入れます。
・日付、時刻が 1 桁の場合は、数字の前に⓪を入れます。
・まちがえたときは、◀ ▶ でカーソルを移動させてから入れ直します。

4 セット を押す

・日付と時刻が登録されます。続けて、「発信元情報の登録」ができます。
（☛129 ページ）

5 ストップ を押す

・登録した日時が表示され待機状態に戻ります。

お知らせ

- 時計は、1 か月に 1 分程度ずれることがあります。
- 長時間、電源が切れていると、日時がずれることがあります。最初からセットし直してください。
- 日付と時刻の登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。

発信元情報の登録

原稿を送信するとき、原稿の先端に会社名や部署名を付けることができます。

1 ファンクション ⑦ ① セット を押す

2 ▼ または ▲ を押して、「発信元情報の登録」を表示させる

発信元情報の登録
名称を登録してください

3 発信元（最大 20 文字）を入れる
・「文字入力のしかた」（☞122 ページ）

東京本社
入力モード ：かな漢

4 セット ストップ を押す
・待機状態に戻ります。

お知らせ

● 発信元名称の登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。

発信元情報の変更

1 「発信元情報の登録」の手順 2 までの操作をする（上記参照）
・現在、登録されている発信元情報が表示されます。

2 変更する文字の右隣にカーソルを移動し、クリアー を押す
・◀ または ▶ を押してカーソルを移動させます。

3 変更する文字を入力する（☞122 ページ）

4 セット ストップ を押す
・待機状態に戻ります。

文字 ID（カナ）の登録

相手のディスプレイにこちらの会社名などを表示させることができます。カナ ID 表示することのできる機種は限定されています。詳しくは、お近くのキヤノン販売店またはお客様相談センターにご連絡ください。

1 ファンクション ⑦ ① セット を押す

2 ▼ または ▲ を押して、「文字 ID（カナ）の登録」を表示させる

3 文字 ID（最大 16 文字）を入れる

・文字 ID には、最大 16 文字のかたかな、英数字のみが入力できます。

・「文字入力のしかた」（☞122 ページ）

4 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● 文字 ID（カナ）の登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。

文字 ID（カナ）の変更

1 「文字 ID（カナ）の登録」の手順 2 までの操作をする（上記参照）

・現在、登録されている文字 ID（カナ）が表示されます。

2 変更する文字の右隣にカーソルを移動し、クリアー を押す

・◀ または ▶ を押してカーソルを移動させます。

3 変更する文字を入力する（☞122 ページ）

4 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

外線数字 ID の登録

外線を使って通信をしたとき、相手のディスプレイにこちらの電話番号などを表示させることができます。

1 ファンクション ⑦ ① セット を押す

2 ▼ または ▲ を押して、「外線数字 ID の登録」を表示させる

外線数字 I D の登録
_

3 外線の電話番号（最大 20 桁）を入れる

・最大 20 桁の電話番号を入力できます。

・まちがえたときは、クリアー を押して、入力し直します。

外線数字 I D の登録
012XXXXXXX_

4 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

● 外線数字 ID の登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。

● 外線数字 ID には、数字、+、スペースが登録できます。「+」を登録するときは、⊛ を押します。「スペース」を登録するときは、モニター を押します。

外線数字 ID の変更

1 「外線数字IDの登録」の手順2までの操作をする（上記参照）

・現在、登録されている外線数字 ID が表示されます。

2 変更する文字の右隣にカーソルを移動し、クリアー を押す

・◀ または ▶ を押してカーソルを移動させます。

3 変更する数字を入力し、セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

内線数字 ID の登録

内線を使って通信をしたとき、相手のディスプレイにこちらの電話番号などを表示させることができます。

3 内線の電話番号（最大 20 桁）を入れる

・最大 20 桁の電話番号を入力できます。

・まちがえたときは、クリアー を押して、入力し直します。

4 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● 内線数字 ID の登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。

● 内線数字 ID には、数字、+、スペースが登録できます。「+」を登録するときは、⊛ を押します。「スペース」を登録するときは、モニター を押します。

内線数字 ID の変更

1 「内線数字IDの登録」の手順2までの操作をする（上記参照）

・現在、登録されている内線数字 ID が表示されます。

2 変更する文字の右隣にカーソルを移動し、クリアー を押す

・◀ または ▶ を押してカーソルを移動させます。

3 変更する数字を入力し、セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

定時刻タイマーの登録

タイマー通信を指定するときの時刻を登録します。

1 **を押す**

2 ▼ または ▲ を押して、「定時刻タイマーの登録」を表示させる

```
定時刻タイマーの登録
時刻を指定してください
__ :
```

3 タイマー通信の指定時刻を入れる

・例：「午前 10 時」を指定する場合

 を押す

・時刻は 24 時間制で入力します。

・まちがえたときは、クリアーを押して、入力し直します。

```
定時刻タイマーの登録
時刻を指定してください
１０：００
```

4 セット ストップ **を押す**

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● 定時刻タイマーの登録を途中でやめるときは、ストップを押します。

定時刻タイマーの変更

1 「定時刻タイマーの登録」の手順 2 までの操作をする（上記参照）

・現在、登録されている定時刻が表示されます。

2 変更する定時刻を入力する

3 **を押す**

・待機状態に戻ります。

定期便タイマーの登録

定期便タイマー通信を指定するときの指定時刻（1 ～ 5）を登録します。

1 ファンクション ⑦ ① セット を押す

2 ▼ または ▲ を押して、「定期便タイマーの登録」を表示させる

```
定期便タイマーの登録
登録番号を指定してください
__ （1～5）
```

3 **登録番号（1 ～ 5）を指定する**

・まちがえたときは、クリアー を押して、入力し直します。

```
定期便タイマーの登録
登録番号を指定してください
1 （1～5）
```

4 セット を押す

```
定期便タイマーの登録
時刻を指定してください
__ :
```

5 **定期便タイマー通信の時刻を入力する**

・例：「午前 10 時」を指定する場合 ① ⓪ ⓪ ⓪ を押します。

・時刻は 24 時間制で入力します。

・まちがえたときは、クリアー を押して、入力し直します。

```
定期便タイマーの登録
時刻を指定してください
10：00
```

6 セット を押す

・続けて他の定期便タイマーの登録をするには、手順 3 からの操作を繰り返します。

7 ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● 定期便タイマーの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。

定期便タイマーの変更

1 **「定期便タイマーの登録」の手順 2 までの操作をする（上記参照）**

2 **変更する登録番号（1 ～ 5）を指定し、セット を押す**

・現在、登録されている時刻が表示されます。

3 **変更する時刻を入力する**

4 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

F コードサブアドレスの登録（サブアドレス通信）

F コード通信をするときに使う最大 20 桁の F コードサブアドレスを登録します。

1 ファンクション ⑦ ① セット を押す

2 ▼ または ▲ を押して、「F コードサブアドレスの登録」を表示させる

F コードサブアドレスの登録

3 F コードサブアドレス（最大 20 桁）を入れる

・まちがえたときは、クリアー を押して、入力し直します。

例：「12345678901234567890」

F コードサブアドレスの登録
12345678901234567890

4 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

- F コードサブアドレスの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- F コードサブアドレスには、数字、＊、＃、スペースが登録できます。「スペース」を登録するときは、モニター を押します。

F コードサブアドレスの変更

1 「F コードサブアドレスの登録」の手順 2 までの操作をする（上記参照）

・現在、登録されている F コードサブアドレスが表示されます。

2 変更する数字の右隣にカーソルを移動し、クリアー を押す

・◀ または ▶ を押してカーソルを移動させます。

3 変更する F コードサブアドレスを入力し、セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

F コードパスワードの登録（サブアドレス通信）

F コード通信をするときに使う最大 20 桁の F コードパスワードを登録します。

1 ファンクション ⑦ ① セット を押す

2 ▼ または ▲ を押して、「F コードパスワードの登録」を表示させる

F コードパスワードの登録
_

3 F コードパスワード（最大 20 桁）を入れる

・まちがえたときは、クリアー を押して、入力し直します。

例：「12345678901234567890」

F コードパスワードの登録
12345678901234567890

4 セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

- F コードパスワードの登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- F コードパスワードには、数字、＊、＃、スペースが登録できます。
  「スペース」を登録するときは、モニター を押します。

F コードパスワードの変更

1 「F コードパスワードの登録」の手順 2 までの操作をする（上記参照）

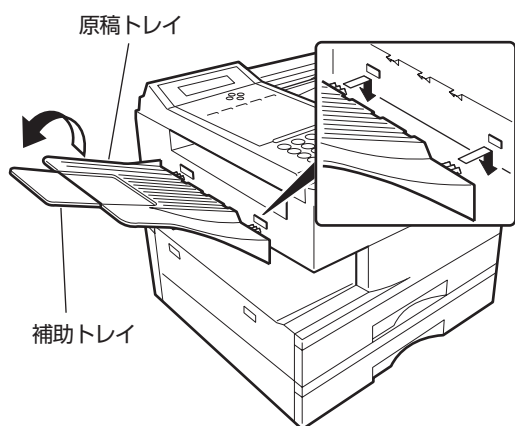
・現在、登録されている F コードパスワードが表示されます。

2 変更する数字の右隣にカーソルを移動し、クリアー を押す

・◀ または ▶ を押してカーソルを移動させます。

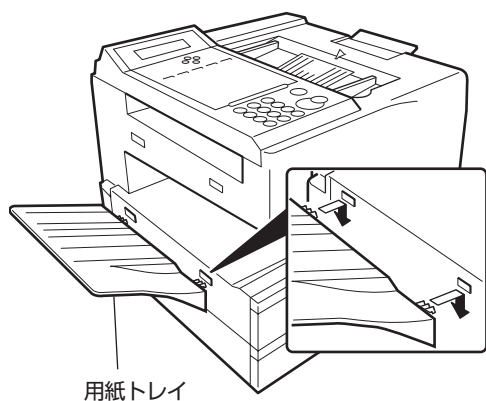
3 変更する F コードパスワードを入力し、セット ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

取り付け方

原稿トレイの取り付け

1 原稿トレイのツメ（2 か所）を本体の穴に差し込み、トレイの根元を両手で持ち、垂直に押し下げる

お知らせ

● B4 サイズ以上の原稿を送信するときは、補助トレイを開いてお使いください。

用紙トレイの取り付け

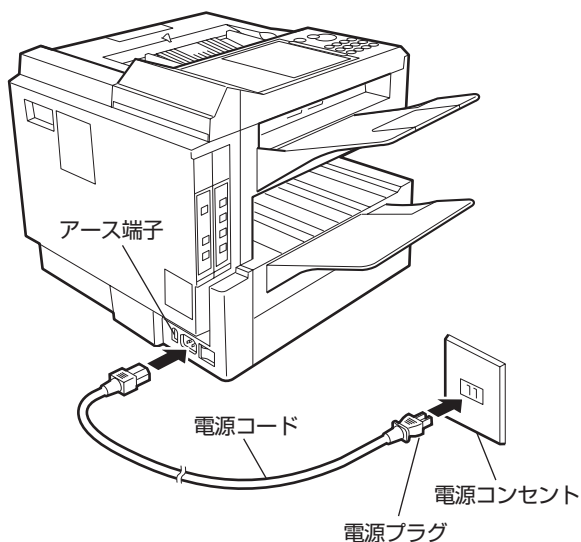
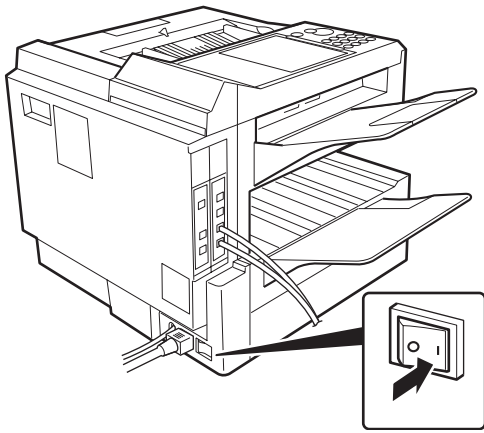
1 用紙トレイのツメ（2 か所）を本体の穴に差し込み、トレイの根元を両手で持ち、垂直に押し下げる

電源コードの接続

1 電源コードを本体に取り付け、電源プラグを電源コンセントに差し込む

・電源プラグを、確実に差し込みます。

お知らせ

● 湿気の多い場所では、アース線を取り付けてください。（☛ 17 ページ）

電源を入れる

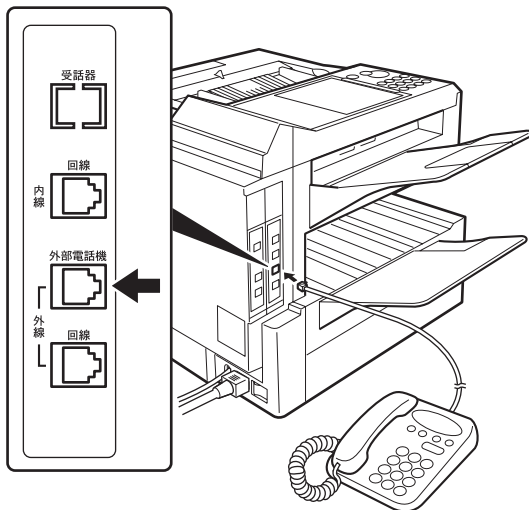
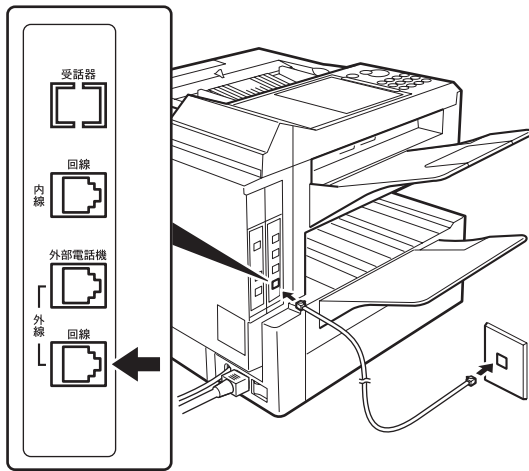
1 **電源スイッチの“I”（入）側を押す**

電話回線の接続

1 **回線コードのモジュラープラグを回線用モジュラージャックに差し込む**

・「カチッ」と音がするまで差し込みます。

お知らせ

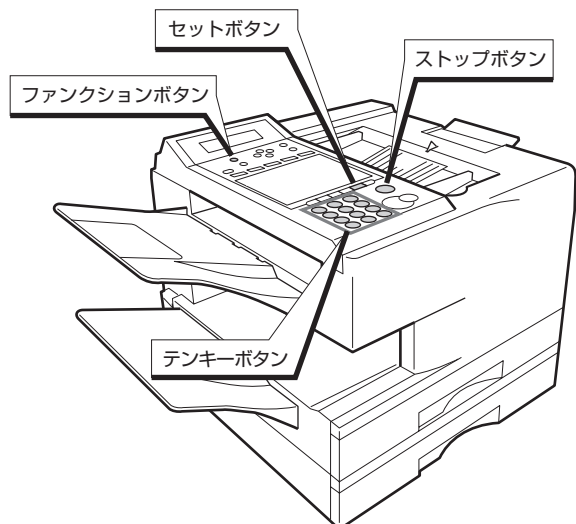
- 社内交換機などの内線を接続するときは、回線コードのモジュラープラグを、内線の回線用モジュラージャックに差し込んでください。
- **電話回線がモジュラージャック以外の場合は、工事が必要です。お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。**
- **NTT のピンク電話の回線や、キャッチホンサービスをご利用になることはできません。**

外部電話機の接続

1 **回線コードのモジュラープラグを外部電話機用モジュラージャックに差し込む**

・「カチッ」と音がするまで差し込みます。

お知らせ

- 外部電話機の回線がモジュラージャック以外の場合は、工事が必要です。お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
- **外部電話機を使っているときは、ディスプレイに“受話器が上がっています”が表示されます。**

このファクシミリを設置する場所が NTT 電話局から遠距離の場合、宛先によっては通信できないことがあります。このときは、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

電話回線の設定

電話回線には、プッシュホン式とダイヤル式があります。お使いの電話回線に合わせて、電話回線の種類を設定してください。

1 ファンクション ⑦ ④ セット ⓪ ⓪ ⑥ セット **を押す**

```
006 ダイヤル切替

1. 外線    2. 内線
```

2 **①または②を押し、回線を指定する**

例：「①を指定したとき」

```
006 ダイヤル切替外線  設定：1
1. PB   2. 10pps
3. 20pps
```

3 **①〜③を押す**

・お使いの電話回線に合わせて選ぶ。

①：プッシュホン式回線（PB）をお使いの場合

②：回転ダイヤル式回線（10PPS）をお使いの場合

③：回転ダイヤル式回線（20PPS）をお使いの場合

4

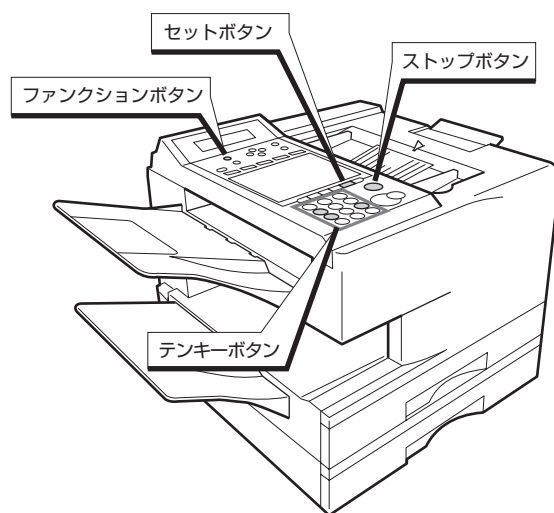
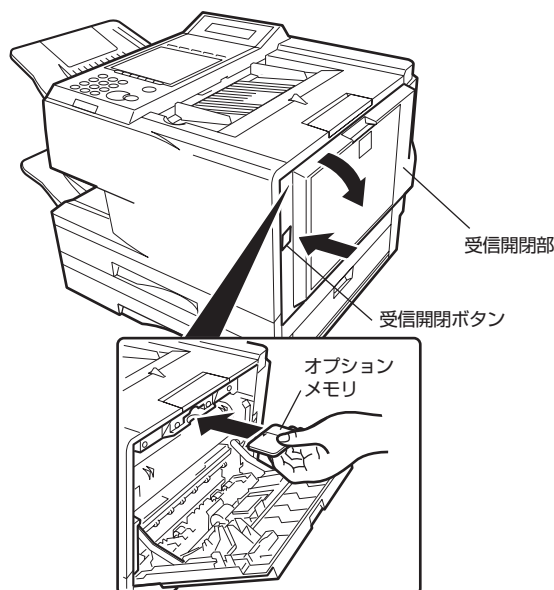
・待機状態に戻ります

お知らせ

- 電話回線の設定を途中でやめるときは、(ストップ)を押します。
- 設定をまちがえると、電話がかからなかったり、違う相手にかかることがあります。
- 電話回線の種類が分からない場合は、ご契約の NTT 窓口にお問い合わせください。

オプションメモリの取り付け

本機に内蔵されているメモリーのほかにオプションのオプションメモリを取り付けて、大量のファクスをメモリー受信または、代行受信することができます。

· メモリーに原稿が蓄積されているときに、オプションメモリを取り付けると、メモリーに入っていた内容は消去されます。
· オプションメモリを取り付ける前、通信予約レポートをプリント（☞72 ページ）して、メモリーに何も蓄積されていないことを確認してください。
· ディスプレイに“メモリー受信されています”が表示されているときは、メモリーの内容をプリント（☞38 ページ）して、メモリーに何も蓄積されていない状態にしてください。

1 電源スイッチを“○”（切）にする

2 受信開閉ボタンを押して、静かに受信開閉部を開ける

3 オプションメモリを奥までしっかりと差し込む

· メモリー容量の表示面を上に向けて、止まるまで確実に差し込んでください。

4 受信開閉部を閉め、電源を入れる

5月11日（日）17:15　　00%
通信とコピーができます

5 ファンクション○ ⑦ ④ セット ⓪ ⑨ ⑨ セット を押す

· ディスプレイにメモリー容量が表示されます。標準で実装されているメモリーの容量とオプションメモリの総容量が表示されます。
例：

· 取り付けたメモリーの容量が正しく表示されない場合は、電源を切ってから増設メモリーカードが正しく取り付けられているかを確認してください。

6 ストップ を押す

· 待機状態に戻ります。

メモリー容量と保存できる枚数について

オプションのオプションメモリを取り付けると、メモリーに保存できる枚数は次のようになります。

取り付けた オプションメモリ	通信用メモリー容量	保存できる枚数
なし（お買い上げ時）	2MB	約 120 枚
8MB	10MB	約 600 枚

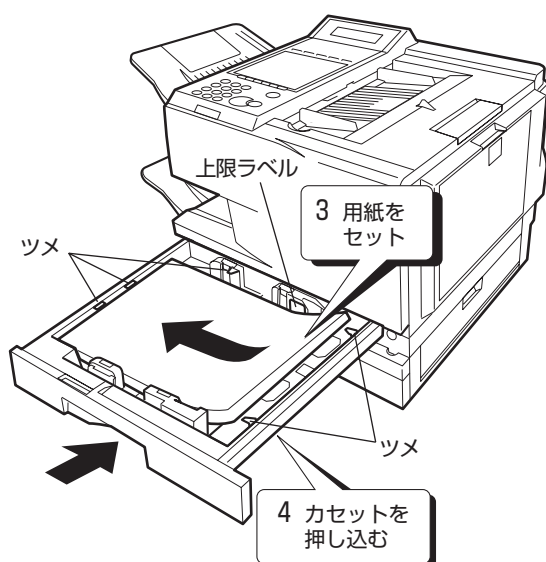
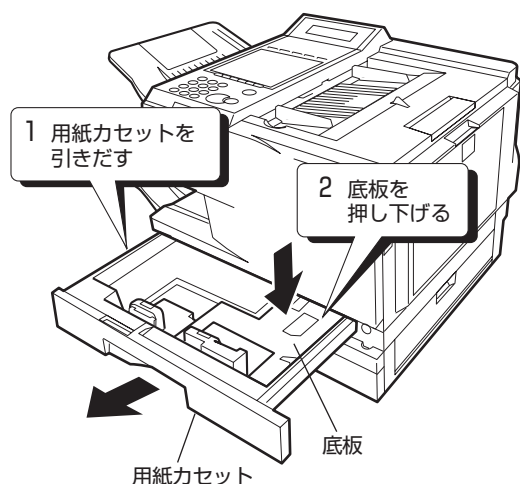
お知らせ

- 保存できる枚数は、A4 標準原稿（A4 サイズ 700 字程度の原稿）を、文字サイズ「ふつう」で読み取ったときの枚数です。原稿によって、枚数は異なります。
- タイマー送信などの通信予約でメモリーを使用している場合は、メモリーに保存できる枚数は少なくなります。

消耗品の交換のしかた

用紙の補充

用紙がなくなると、ディスプレイに“カセット■に用紙を補給してください”が表示され、用紙ランプが点灯します（「■」は何段目のカセットかを示しています）。

- 用紙を補充するときは、電源スイッチを“I”（入）のままにしてください。
- 用紙をセットするときには、サイズ検知レバー（☞144 ページ）のサイズ表示が用紙サイズと合っていることを確認してください。合っていないと紙づまりとなります。

1 用紙カセットを止まるまで静かに引き出す

2 底板を「カチッ」と音がするまで押し下げる

3 用紙の四隅をきちんとそろえ、ツメ（5か所）の下にセットする

4 用紙カセットを奥に突き当たるまで確実に押し込む

- 用紙カセットは静かにセットしてください。

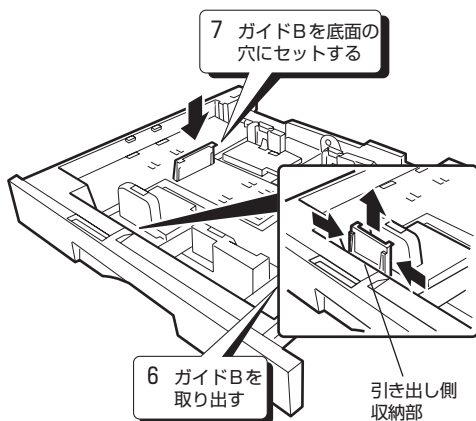
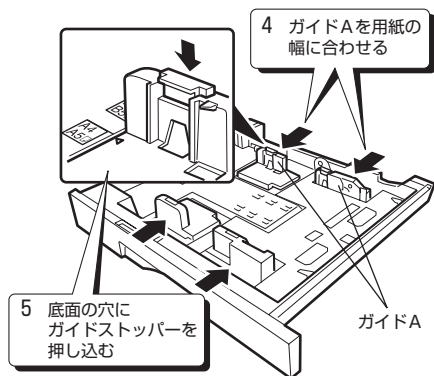
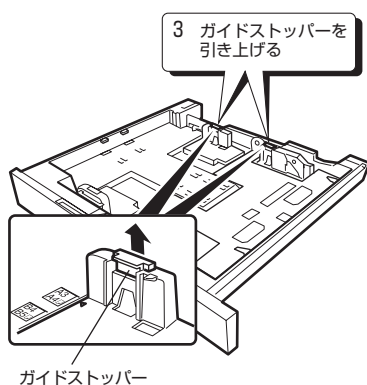
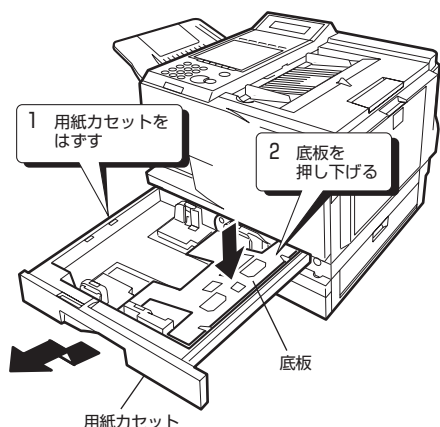
お知らせ

- 一度にセットできる枚数は、最大 250 枚です。
- オプションの「カセットフィーダ 500」に一度にセットできる枚数は、最大 500 枚です。
- 用紙は、用紙上限ラベルの矢印を越えてセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 折り目、シワのある用紙や、一度使用した用紙はセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙を追加するときは、残っている用紙を上に重ねてセットしてください。
- プリント中は、用紙カセットを引き出さないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙カセットにサイズの違う用紙を混在させてセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 新しい用紙が残ったときは、包装紙に包み、湿気が少なく直接日光の当たらないところで保管してください。
- 用紙は当社推奨品をご使用ください。推奨品以外の用紙を使用されますと、記録品質への悪影響や、故障の原因となることがあります。

用紙カセットのサイズ変更

本機の用紙カセットは、A3、B4、A4、A4▯、B5▯、A5▯の各サイズに共用できます。お使いになる用紙のサイズに合わせて、サイズを変更してください。

- 用紙カセットのサイズを変更するときは、電源スイッチを“I”（入）のままにしてください。
- 用紙サイズを変更するときは、必ず用紙カセットのサイズ検知レバー（☞144 ページ）も合わせて、変更してください。合っていないと紙づまりとなります。

例：A3 サイズの用紙カセットを A4 に変更する場合

1 用紙カセットを引き出し、矢印の方向に引き上げるようにして外す

2 底板を「カチッ」と音がするまで押し下げる

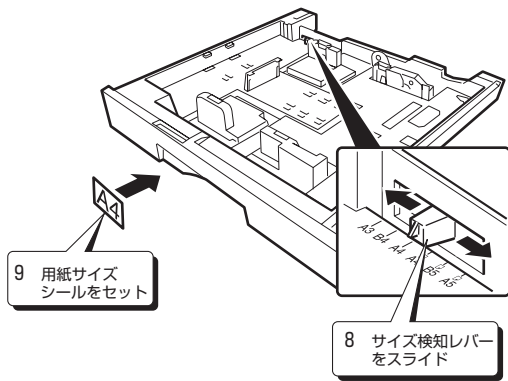
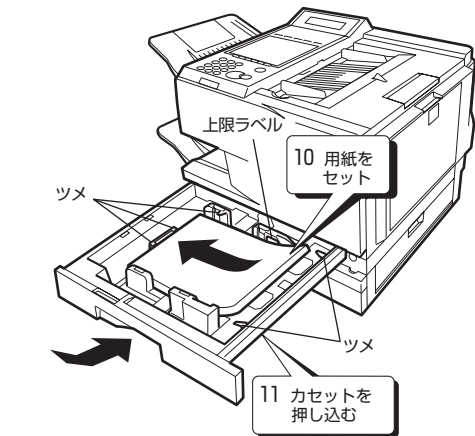
3 緑色のガイドストッパー（2 か所）を引き上げる

4 ガイドAをスライドさせ、セットする用紙の幅（A4、A5▯）に合わせる

5 底面の穴にガイドストッパーのツメを合わせて、「カチッ」と音がするまで押し込む

6 ガイド B（緑色）の両側を押して、取り出す

7 ガイド B のツメを用紙カセットの底面の穴（A4）に入れ、セットする

- A3 サイズの場合は、ガイド B を用紙カセットの引き出し側収納部にセットします。

8 サイズ検知レバー（緑色）をスライドさせて、セットする用紙サイズ（A4）に合わせる

9 用紙サイズシールをセットする用紙サイズ（A4）に貼り替える

10 用紙の四隅をきちんとそろえ、ツメ（5か所）の下にセットする

11 用紙カセットの手前を少し持ち上げ、カセットの突起部を本体のレールに沿わせるようにして、奥まで確実に押し込む

・用紙カセットは静かにセットしてください。

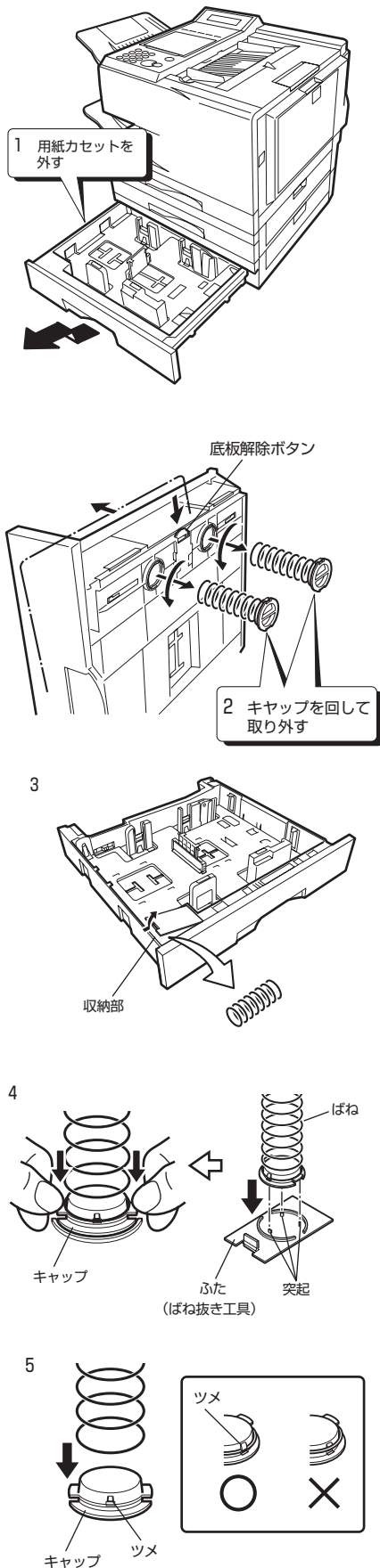
お知らせ

● 郵便はがきにプリントするときは、手差しトレイにセットします（☞148 ページ）。

カセットフィーダ 500(オプション)の用紙カセットのサイズ変更

本機の用紙カセットは、A3、B4、A4、A4□、B5□、A5□の各サイズに共用できます。お使いになる用紙のサイズに合わせて、サイズを変更してください。

- 用紙カセットのサイズを変更するときは、電源スイッチを"I"(入)のままにしてください。
- 用紙サイズを変更するときは、必ず用紙カセットのサイズ検知レバー(☞147 ページ)も合わせて、変更してください。合っていないと紙づまりとなります。

例:A4□サイズの用紙カセットを B4 に変更する場合

1 用紙カセットを引き出し、矢印の方向に引き上げるようにして外す

2 カセット裏面のキャップ(2 か所)を回して取り外し、ばねを取り出す

- 底板解除ボタンを押し、底板をフリーにしてからキャップを外します。

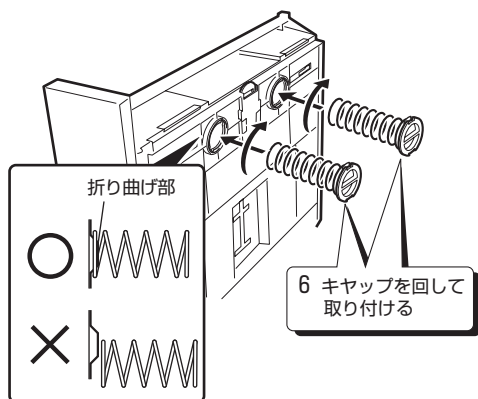
3 指定サイズのばねを用意する

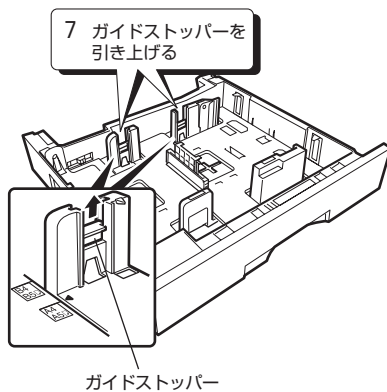
- ばねは用紙カセット左手前の収納部に入っています。(出荷時は A4,A4□用ばね(銀色)が取り付けられています)
- A3、B4 用のばねは銀白色+赤色マーク。
- A4、A4□用のばねは銀色。
- B5、A5 用のばねは黒色。

4 ばねを取り外す

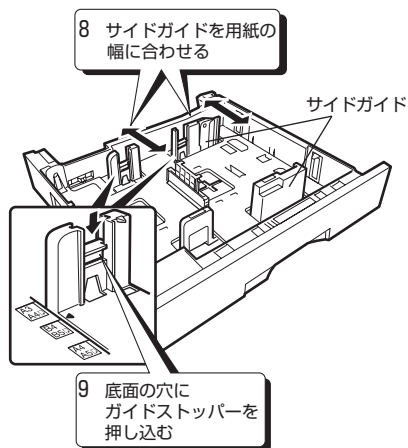
- ばねを取り外す際には、交換用ばね収納部のふたの内側にある"ばね抜き工具"を使用します。
- ばねを手で無理に引っ張るとばねを破損する恐れがあるので注意してください。
- キャップの溝とふたの突起(3 か所)を合わせて、強く押し込むとばねがはずれます。

5 ばねを取り付ける

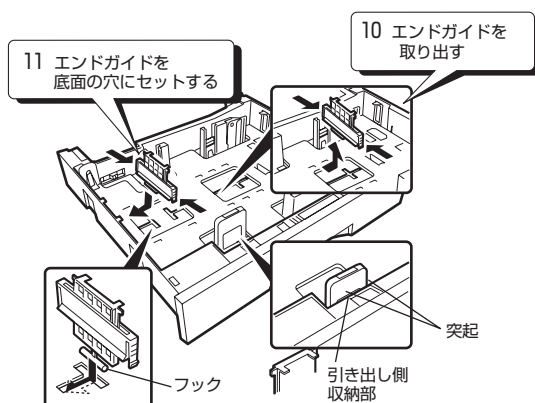
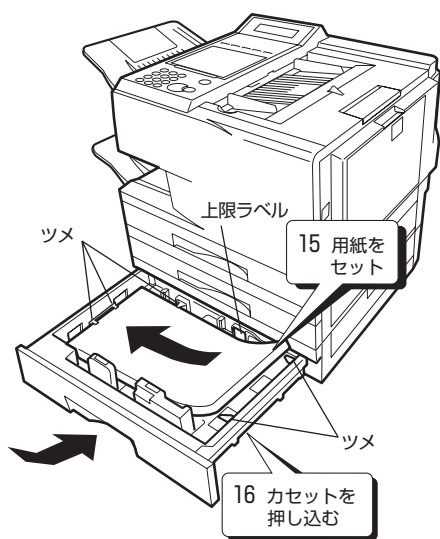
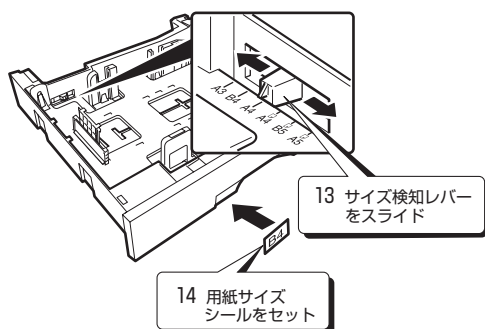
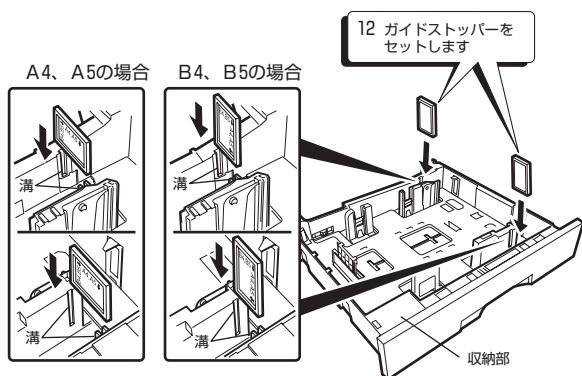
- ばねをキャップに取り付ける際には、ばねがキャップのツメの下に入るようにしっかり押し込みます。
- 使用しないばねは紛失しないようにばね収納部に収納します。

6 ばねを底板の折り曲げ部に合わせて差し込み、キャップを回してセットする

・ばねが折り曲げ部の根元に入るようにセットします。

7 緑色のガイドストッパー(2か所)を引き上げる

8 サイドガイドをスライドさせ、セットする用紙の幅(B4、B5)に合わせる

9 底面の穴にガイドストッパーのツメを合わせて、「カチッ」と音がするまで押し込む

10 エンドガイド(緑色)の両側を押して、取り出す

11 エンドガイドのツメを用紙カセットの底面の穴(B4)に入れ、セットする

・エンドガイド下側のフックを底板の穴に引っ掛けるようにしてセットします。
・A3 サイズの場合は、エンドガイドを用紙カセットの引き出し側収納部に突起の方向に注意して確実にセットします。

12 ガイドストッパーをカセットとサイドガイドの間の溝にセットする

- 用紙サイズを B4、B5、A4、A5 にセットする場合に使用します。A3、A4▯の場合はガイドストッパーを使用しません。（収納部に保管しておいてください）
- B4、B5 の場合には、ガイドストッパーの B4、B5 の矢印マークが下になる方向で溝に挿入し、下に突き当たるまで押し込んでセットします。
- A4、A5 の場合には、ガイドストッパーの A4、A5 の矢印マークが下になる方向で溝に挿入し、下に突き当たるまで押し込んでセットします。

13 サイズ検知レバー（緑色）をスライドさせて、セットする用紙サイズ（B4）に合わせる

14 用紙サイズシールをセットする用紙サイズ（B4）に貼り替える

15 用紙の四隅をきちんとそろえ、ツメ（5 か所）の下にセットする

- 用紙は用紙上限ラベルの矢印を超えてセットしないでください。

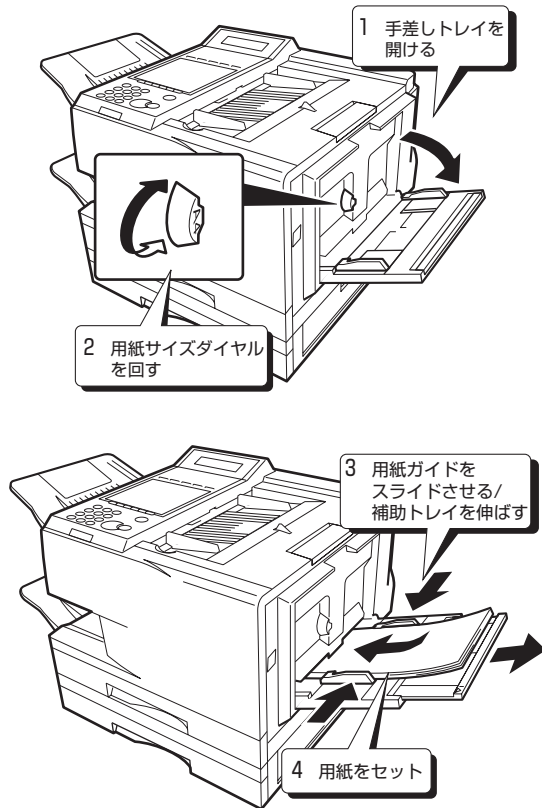
16 用紙カセットの手前を少し持ち上げ、カセットの突起部を本体のレールに沿わせるようにして、奥まで確実に押し込む

- 用紙カセットは静かにセットしてください。

1 手差しトレイを開ける
2 用紙サイズダイヤルを回す

手差しトレイへの用紙セット

手差しトレイには、A3、B4、A4、A4▯、B5▯、A5▯）の各サイズの用紙および、郵便はがきがセットできます。
一度にセットできる用紙は最大30枚、郵便はがきは最大5枚です。
・ 用紙サイズダイヤルは「カチッ」と音がするまで回し、必ず正しいサイズ表示に合わせてください。合っていないと紙づまりの原因になります。

例：A4用紙をセットする場合

1 手差しトレイを開ける

2 用紙サイズダイヤルを回して、セットする用紙サイズ（A4）に合わせる

・「カチッ」と音がするまで回します。

3 用紙ガイドをスライドさせてセットする用紙の幅（A4 ／ A5▯）に合わせ、手差し補助トレイを伸ばす

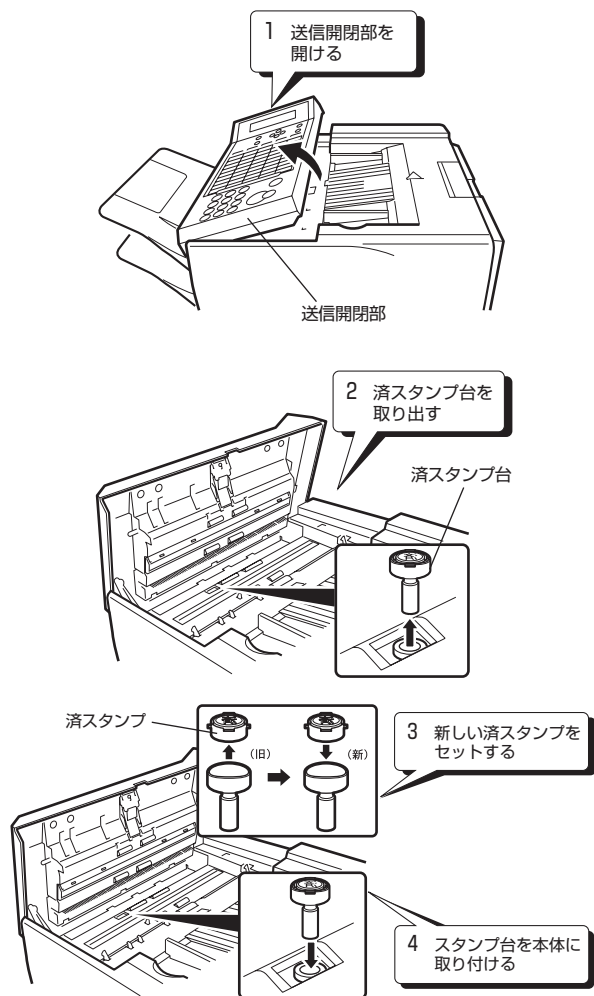
4 用紙の四隅をそろえ、印字したい面を上にしてツメの下にセットし、奥に突き当たるまで差し込む

お知らせ

- 用紙がセットされていないと、用紙ランプが点滅し、“手差しトレイに用紙を補給してください”と表示されます。
- 手差しトレイはコピーするときに使用します。
- 用紙の長さがA4サイズ以上の用紙をセットするときは、手差し補助トレイを伸ばしてからセットします。
- セットする用紙の量は、規定の枚数より多くセットしないでください。規定の枚数を超える量をセットすると、紙づまりの原因になります。
- 郵便はがき以上の厚いはがきにプリントすると、印字品質が低下したり、紙づまりの原因になります。
- 用紙サイズダイヤルは、表示のないところに合わせないでください。表示のないところに合わせると、“手差しトレイに用紙を補給してください”と表示されます。また、コピーするとき、ディスプレイの用紙サイズは「＊＊＊＊」と表示され、用紙は繰り込まれません。
- 用紙は必ず用紙ガイドに合わせて正しくセットしてください。斜めにセットしたり、用紙ガイドに合わせないと、紙曲がりの原因となり、正しくプリントできません。
- 折り目、シワのある用紙、湿った用紙や、一度使用した用紙はセットしないでください。紙づまりの原因になります。

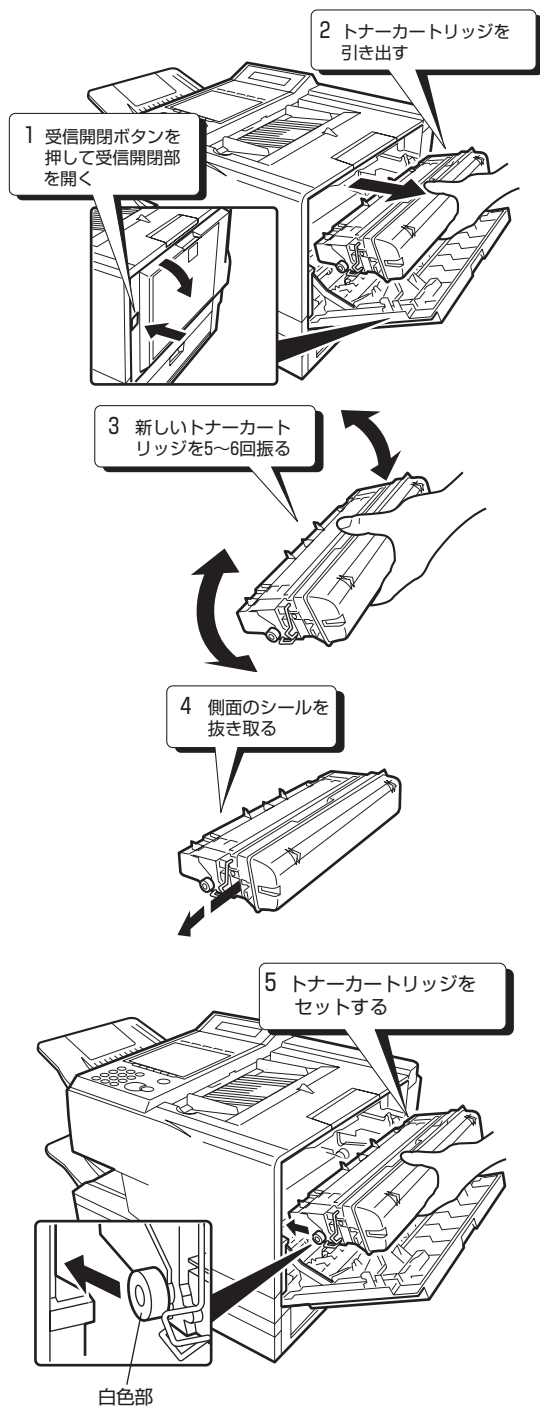
● 用紙を追加するときは、残っている用紙を上に重ねてセットしてください。いつまでも古い用紙が残っていると、紙づまりの原因になります。
● 用紙をセットするときは、印字される面を上にしてセットしてください。
● プリント中には、用紙を追加しないでください。紙づまりの原因になります。
● 用紙がセットされているときは、手差しトレイを閉じないでください。
● 新しい用紙が残ったときは、包装紙に包み、湿気が少なく直接日光の当たらないところで保管してください。
● 用紙は当社推奨品をご使用ください。推奨品以外の用紙を使用されますと、記録品質への悪影響や、故障の原因となることがあります。

済スタンプの交換

済マークが薄くなってきたら交換します。
・ 交換用済スタンプの購入については、保守サービス実施店にご確認ください。

1 送信開閉部を止まるまで静かに開ける

2 済スタンプ台を取り出す

3 使用済の済スタンプを取り外し、新しい済スタンプをセットする

4 スタンプ台を本体に取り付ける

トナーカートリッジの交換

トナーが無くなると、ディスプレイに“トナーがありません”が表示され、トナーランプ が点灯します。トナーカートリッジを交換してください。

- ・ １時間以上電源が切れていると、メモリーに保存されている内容が消去される恐れがあります。トナーカートリッジの交換は、電源を“｜”（入）のままで行ってください。
- ・ トナーの残量が少なくなってくると、トナーランプ が点滅します。早めにトナーカートリッジを交換してください。
- ・ トナーが無いときは、プリントができなくなります。

1 受信開閉ボタンを押して、静かに受信開閉部を開ける

2 トナーカートリッジを持ち、引き抜く

3 新しいトナーカートリッジを５～６回振る

4 側面のシールを抜き取る

5 トナーカートリッジの突起部（白色部）を本体のレールに合わせ、静かにスライドさせてセットする

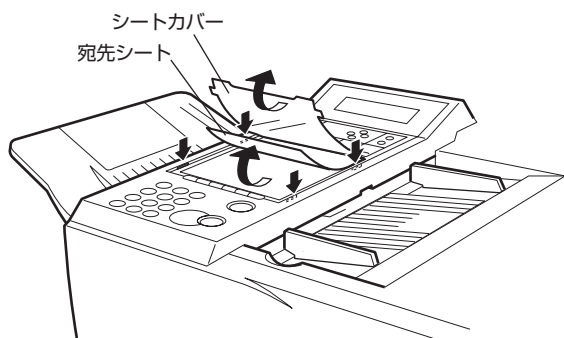
6 受信開閉部を確実に閉める

- ●当社では、環境保護のため使用済みのトナーカートリッジを回収し、リサイクルを実施しております。使用済みのトナーカートリッジを梱包箱に納めて、回収にご協力をお願いいたします。詳しくは、トナーカートリッジに添付されている取扱説明書をご覧ください。
- ●トナーカートリッジは、当社指定品をご使用ください。（型名：キヤノン FX-13 カートリッジ）
- ●トナーカートリッジの交換・回収についてご不明な点は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

お知らせ

- ● トナーカートリッジのドラム（グレー部）には手を触れないでください。ドラム表面に手の油や汚れが付着すると、きれいな印字ができなくなります。
- ● 受信開閉部を閉めるときは、確実に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、通信やコピーができません。

宛先シートの使い方

ワンタッチダイヤルに登録した宛先やプログラムボタンに登録したプログラム名を宛先シートに記入します。

宛先シートの記入のしかた

1 シートカバーを外す

2 宛先シートを取り出し、登録した宛先を記入する

・H または 2H の鉛筆、またはボールペンで記入します。
・記入した文字は、消しゴムで消すことができます。

3 宛先シートをセットし、シートカバーを取り付ける

お知らせ

● 鉛筆で記入したときは鉛筆の粉を払ってから、ボールペンで記入したときはインクが乾いてからセットしてください。

宛先シート

○ F1 あ 通信予約の確認	○ F2 い 通信予約の消去	○ F3 う 通信管理の確認	○ F4 え タイマー通信	○ F5 お
○ F6 か	○ F7 き	○ F8 く	○ F9 け	○ F10 こ
○ 01 さ	○ 02 し	○ 03 す	○ 04 せ	○ 05 そ
○ 06 た	○ 07 ち	○ 08 つ	○ 09 て	○ 10 と
○ 11 な	○ 12 に	○ 13 ぬ	○ 14 ね	○ 15 の
○ 16 は	○ 17 ひ	○ 18 ふ	○ 19 へ	○ 20 ほ
○ 21 ま	○ 22 み	○ 23 む	○ 24 め	○ 25 も
○ 26 や	○ 27 ゆ	○ 28 よ	○ 29	○ 30
○ 31 ら	○ 32 り	○ 33 る	○ 34 れ	○ 35 ろ
○ 36 わ	○ 37 お	○ 38 ん	○ 39	○ 40
○ 41	○ 42	○ 43	○ 44	○ 45
○ 46	○ 47	○ 48	○ 49	○ 50

お手入れのしかた

快適に末永くご使用いただくために、いつもきれいにしておいてください。
お手入れするときは、必ず電源スイッチを“○”（切）にしてください。

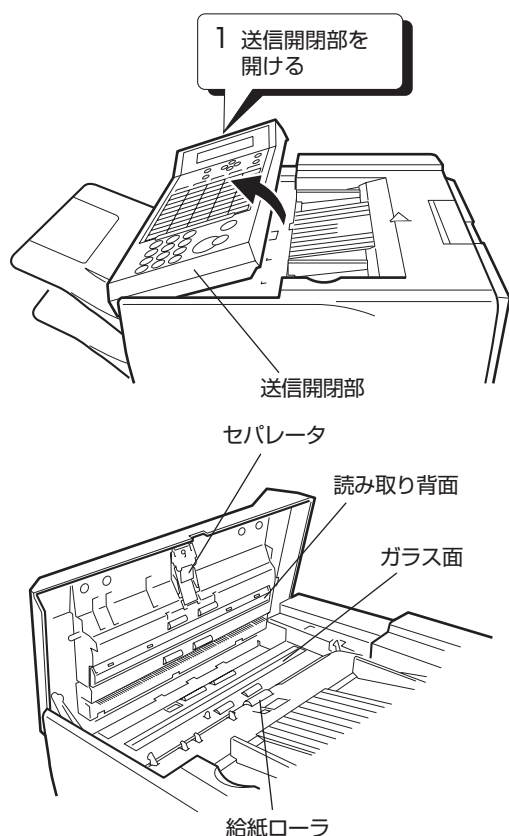
本体のお手入れ

カバーの汚れを取るときは、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）を含ませ、よく絞ってからふき取ってください。

- みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、アルコール、ワックス、石油、熱湯などは絶対に使用しないでください。
- 化学ぞうきんなどをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 1 時間以上、電源が切れていると、メモリーに保存されている内容が消去される恐れがあります。

読み取り部のお手入れ

相手機の受信記録、コピーした記録が汚れてきたら、清掃してください。
また、原稿がつまったり、給紙が悪くなったときは、セパレータ、給紙ローラを清掃してください。

- 柔らかい布に水を含ませ、よく絞ってからふきます。

1 送信開閉部を止まるまで静かに開ける

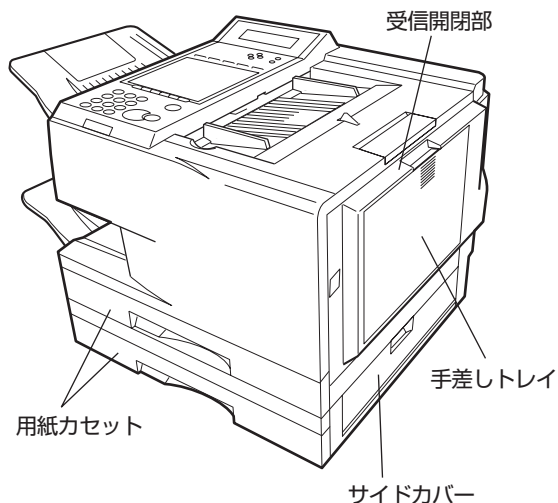
2 読み取り部（ガラス面）、読み取り背面（白色面）、セパレータ、給紙ローラを拭く

3 送信開閉部を確実に閉める

お知らせ

● 読み取り部（ガラス面）に傷をつけないよう、ご注意ください。

こんなときには

用紙がつまったとき

用紙がつまると、ディスプレイに“用紙を確認してください”とエラーメッセージが表示され、紙づまりランプが点滅します。
次の表を参考にして確認箇所を選び、つまった用紙を取り除いてください。

エラーメッセージ	確認箇所
受信開閉部を開けて用紙を確認してください	受信開閉部、手差しトレイ
サイドカバー ■を開けて用紙を確認してください	用紙カセット、サイドカバー

（上記エラーメッセージ中の「■」は何段目のカセットかを示しています）

お知らせ

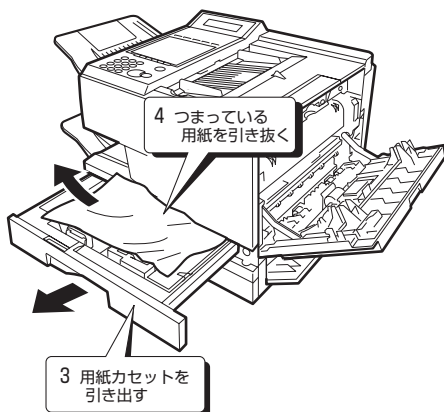
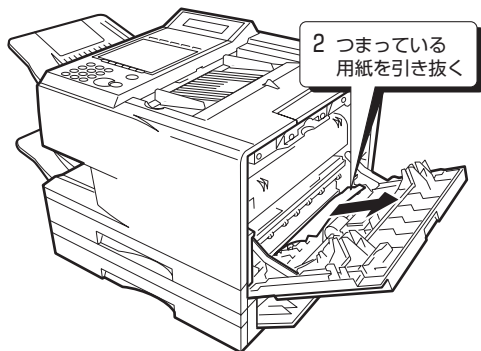
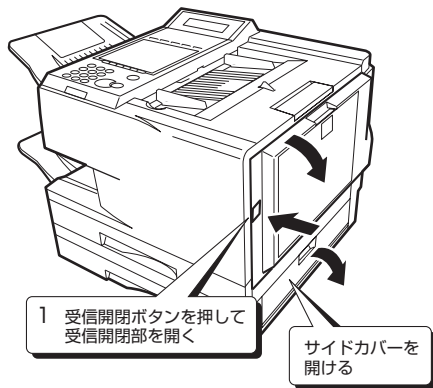
● 用紙を取り除くときは、電源スイッチを“I”（入）のままで行ってください。

オプションのカセットフィーダ 500 をお使いの場合

カセットフィーダ 500 で用紙がつまったときは、「サイドカバー ■を開けて用紙を確認してください」が表示されます。（「■」は何段目のカセットかを示しています。）

次のようにして、つまった用紙を取り除いてください。

1. サイドカバーを開けて、つまった用紙を取り除く
2. カセットフィーダ 500 の用紙カセットを引き、つまっている用紙を取り除く
3. カセットフィーダ 500 の用紙カセットを確実にセットする
4. 受信開閉部を開けて、つまっている用紙がないことを確認する
5. 受信開閉部を確実に閉める

用紙カセットでつまっているとき

1 受信開閉ボタンを押して、静かに受信開閉部およびサイドカバーを開ける

2 つまっている用紙を、矢印の方向に引き抜く

3 用紙カセットを、止まるまで静かに引き出す

4 つまっている用紙を、矢印の方向に引き抜く

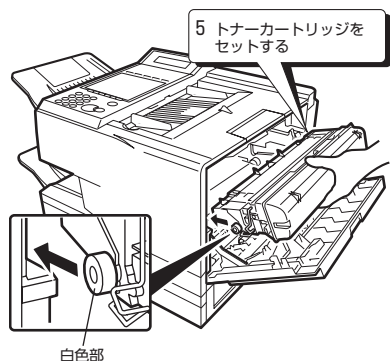
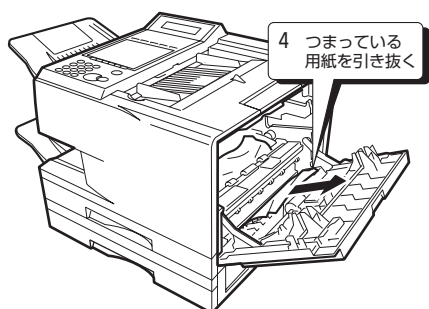
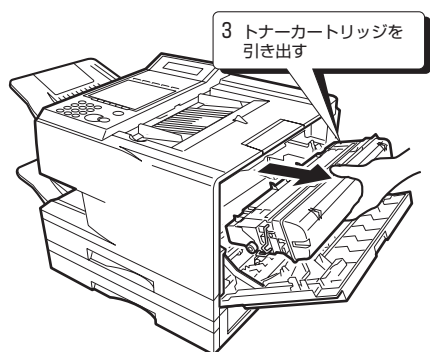
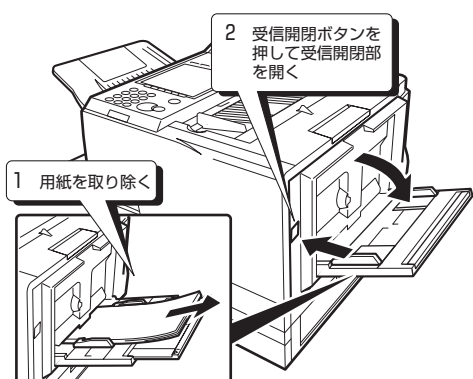
5 用紙カセットを、奥に突き当たるまで確実に押し込む

・カセットは静かにセットしてください。

6 受信開閉部およびサイドカバーを確実に閉める

お知らせ

- 用紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で用紙が破れたときは、紙片を機械の中に残さないようにすべて取り除いてください。
- 用紙カセットを戻す前に、残りの用紙が用紙カセットのツメ（5か所）の下に収まっていることをお確かめください。ツメの上に出ていると、紙づまりの原因となります。
- 受信開閉部を閉めるときは、確実に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、通信やコピーができません。

手差しトレイでつまっているとき

1 手差しトレイにセットされている用紙を取り除く

2 受信開閉ボタンを押して、静かに受信開閉部を開ける

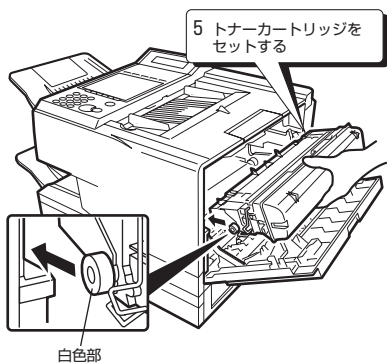
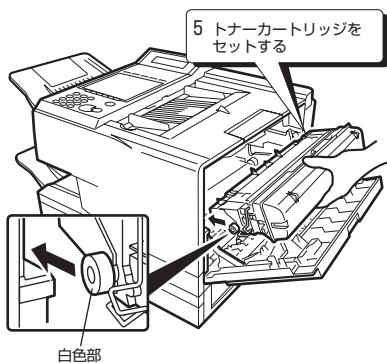
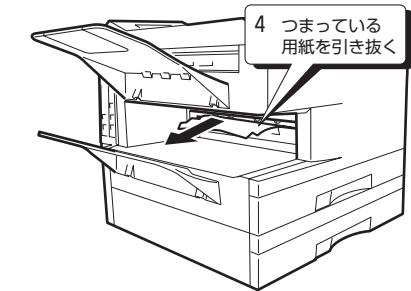
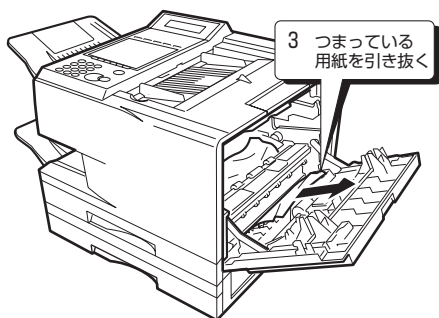
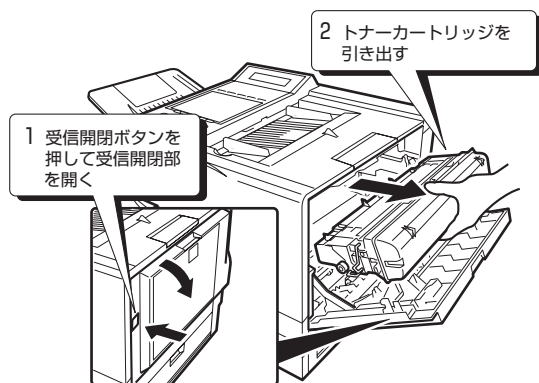
3 トナーカートリッジを持ち、静かに引き抜く

4 つまっている用紙を、矢印の方向に引き抜く

5 トナーカートリッジの突起部（白色部）を本体のレールに合わせ、静かにスライドさせてセットする

6 受信開閉部を確実に閉める

お知らせ

- 用紙が本体内部でつまったときは、用紙サイズダイヤル（☞148 ページ）が、正しいサイズ表示に合っているかを確認してください。正しいサイズ表示に合っていないと紙づまりとなります。
- 用紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で用紙が破れたときは、紙片を機械の中に残さないようにすべて取り除いてください。
- トナーカートリッジのドラム（グレー部）には手を触れないでください。ドラム表面に手の油や汚れが付着すると、きれいな印字ができなくなります。
- 受信開閉部を閉めるときは、確実に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、通信やコピーができません。

本体内部でつまっているとき

1 受信開閉ボタンを押して、静かに受信開閉部を開ける

2 トナーカートリッジを持ち、静かに引き抜く

3 つまっている用紙を、矢印の方向に引き抜く

4 同様に、つまっている用紙を矢印の方向に引き抜く

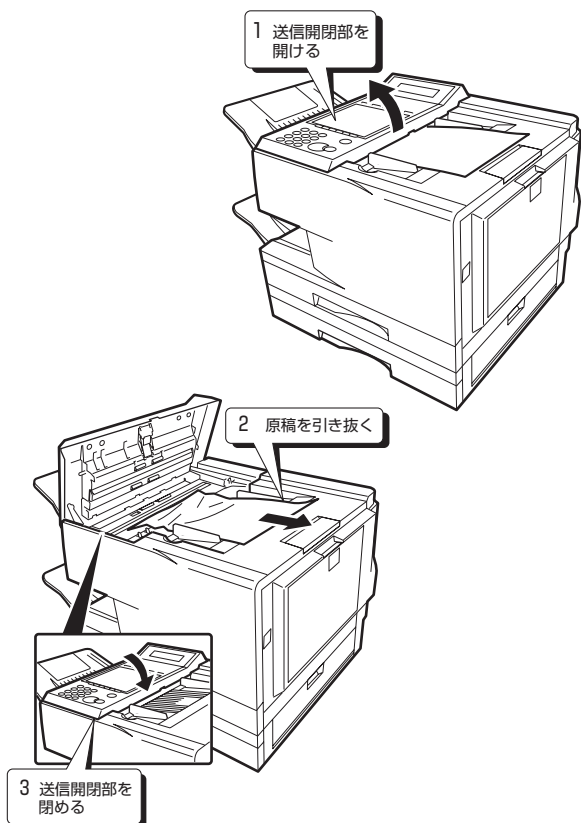
5 トナーカートリッジの突起部（白色部）を本体のレールに合わせ、静かにスライドさせてセットする

6 受信開閉部を確実に閉める

お知らせ

- 用紙が本体内部でつまったときは、サイズ検知レバー（☞144ページ、☞147ページ）が、正しいサイズ表示に合っているかを確認してください。正しいサイズ表示に合っていないと紙づまりとなります。
- 用紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で用紙が破れたときは、紙片を機械の中に残さないようにすべて取り除いてください。
- トナーカートリッジのドラム（グレー部）には手を触れないでください。ドラム表面に手の油や汚れが付着すると、きれいな印字ができなくなります。
- 受信開閉部を閉めるときは、確実に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、通信やコピーができません。

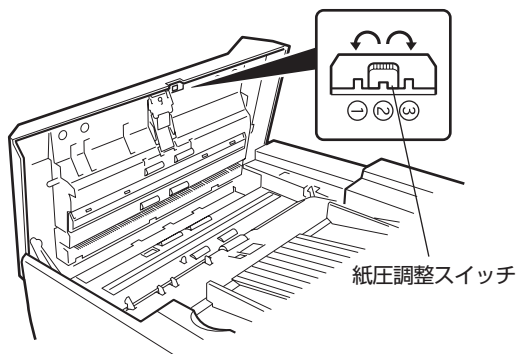
原稿がつまったとき

原稿がつまると、ディスプレイに“送信開閉部を開けて原稿を確認してください”が表示されます。

1 送信開閉部を止まるまで静かに開ける

2 つまっている原稿を、矢印の方向に引き抜く

3 送信開閉部を確実に閉める

自動給紙圧を調整する

原稿が繰り込まれないとき、重なって繰り込まれるときは、自動給紙圧の調整をしてください。

1 送信開閉部を止まるまで静かに開ける

2 紙圧調整スイッチ（緑色）をスライドさせて調整する。スイッチの溝が本体の突起にはまる位置で止める

こんなときは	スイッチの位置
原稿が繰り込まれない	①②③
標準位置（通常はここにしておきます）	①②③
2 枚以上の原稿が同時に繰り込まれる	①②③

3 送信開閉部を確実に閉める

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは、次の項目をチェックしてください。

こんなときは	原因	対応	参照ページ
原稿が繰り込まれない	送信開閉部が閉まっていない	送信開閉部を閉めてください	16 ページ
	A6 サイズより小さい原稿を送信開閉部にセットしている	A6 サイズより大きいサイズにコピーした原稿をセットしてください	22 ページ
原稿が斜めに繰り込まれる	原稿ガイドを合わせていない	原稿ガイドを合わせてから、原稿をセットしてください	20 ページ
アラーム音が鳴り、“原稿を確認してください”が表示される	送信またはコピーする原稿が長すぎる	原稿の長さを 2000mm 以下にしてから、送信・コピーをしてください。	21 ページ
送信できない	セレクト送信をセットしている	セレクト送信を解除してください	64 ページ
	パスワード送信をセットしている	パスワード送信を解除してください	59 ページ
受信できない	セレクト受信をセットしている	セレクト受信を解除してください	65 ページ
	パスワード受信をセットしている	パスワード受信を解除してください	61 ページ
呼出音が鳴りっぱなしで、受信できない	ファクスが“手動受信”にセットされている	受話器を取り、受信操作をしてください	37 ページ
	メモリーがいっぱいになっている	メモリーに保存されている原稿をプリントしてください	38 ページ
	電源が“○”（切）になっている	電源を“I”（入）にしてください	138 ページ
受信した原稿がプリントされない	用紙がなくなっている	用紙を補充してください	142 ページ
	用紙が正しくセットされていない	用紙を正しくセットしてください	142 ページ
	用紙がつまっている	エラーメッセージを確認して、つまった用紙を取り除いてください	153 ページ
メモリーランプ点灯状態で送信できない	メモリーがいっぱいになっている	メモリーに空きができてから、送信してください	－
		ダイレクト送信してください	29 ページ
	予約している通信が、50 通信になっている	予約している通信が終ってから、通信してください	－
		ダイレクト送信してください	29 ページ
リモート受信できない	システム登録の「047 リモート受信」が“なし”になっている	「リモート受信」を“あり”にしてください	119 ページ
	ファクスと正しく接続されていない	正しく接続してください	138 ページ
	外部電話機から電話をかけている	外部電話機から電話をかけた場合は、リモート受信はできません	－
タイマー通信や、ポーリング通信などの通信をセットできない	予約している通信が、50 通信になっている	予約している通信が終ってから、通信してください	－
		予約している通信を取り消してから、通信してください	75 ページ
セレクト通信できない	相手のダイヤル番号を、本機に登録していない	相手のダイヤル番号を登録してください	89 ページ
	相手の ID 番号に、電話番号が登録されていない	相手に、ID 番号には電話番号を登録するように伝えてください	－
ポーリング通信できない	ポーリング通信用のパスワードが一致しない	相手に確認して、通信し直してください	－
パスワード通信できない	パスワード通信用のパスワードが一致しない	相手に確認して、通信し直してください	－
受信またはコピーしたとき、白紙がプリントされる	原稿の裏表を逆にしてセットしている	原稿の裏表を確認してからセットし直してください	20 ページ

こんなときは	原因	対応	参照ページ
受信またはコピーしたとき、黒い筋や点がプリントされる	トナーカートリッジの異常	トナーカートリッジを交換してください	150 ページ
	読み取り部が汚れている	読み取り部を清掃してください	152 ページ
受信またはコピーしたとき、部分的に欠けていたり、記録が薄くなる	・用紙が湿気を含んでいる ・用紙に折り目やシワがある	新しい包装の用紙と交換してください	142 ページ
	トナーカートリッジの異常	トナーカートリッジを交換してください	150 ページ
送信またはコピーしたとき、両端がプリントされない	有効読み取り画面の外に文字が書かれている	文字は、有効読み取り画面の中に書いてください	21 ページ

お知らせ

● 以上の項目をチェックしても症状が改善しない場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

主なエラーコード

通信できなかったときなどに、通信管理レポートにエラーコードが表示されます。エラーコードが表示されたときは、次の表に従って処置してください。

エラーコード	原因	処置	参照ページ
0212～0402、0404、0407～0410、0416～0456、0459～0582	回線異常または相手機異常	相手に確認して、もう一度通信してください	ー
0403	ポーリング受信時、相手機にポーリング送信の機能がない	ポーリング受信できません	ー
0406	パスワード通信時、相手機とのパスワードが一致しない	相手に確認して、通信し直してください	ー
	セレクト通信時、相手機から送られる ID 番号が、本機のダイヤル番号に登録されていない	相手に確認して、通信し直してください	ー
0411、0414 、0415	ポーリング通信時、相手機とのパスワードが一致しない	相手に確認して、通信し直してください	ー
	相手機の異常		
0427	相手からポーリング受信されたとき、本機にポーリング送信がセットされていない	ポーリング送信をセットしてください	47 ページ
0870	送信する原稿をメモリーに記憶しているときにメモリーオーバーフローが発生	メモリーに記憶させずに原稿を送信してください	29 ページ

主なエラーメッセージ

通信エラーになったときや受信開閉部が開いているときなど、ディスプレーにエラー内容を表すメッセージが表示されます。
（下記メッセージの「■」は何段目のカセットかを示しています）

エラーメッセージ	内容	処置	参照ページ
サイドカバー■を開けて 用紙を確認してください	用紙づまり	サイドカバーを開けて用紙づまりを取り除いてください。	153 ページ
受信開閉部を開けて 用紙を確認してください	・手差しトレイ用紙づまり ・本体内部用紙づまり	受信開閉部を開けて用紙づまりを取り除いてください。	155 ページ 156 ページ
カセットを引き出して 用紙を確認してください	カセット引き出しに伴う用紙づまり	カセットを開けて用紙づまりを取り除いてください。	154 ページ
カセット■に用紙を補給してください	表示されている用紙カセットの用紙切れ	表示カセットへ用紙を補給してください。	142 ページ
手差しトレイに用紙を補給してください	手差しトレイの用紙切れ	手差しトレイへ用紙を補給してください。	148 ページ
用紙サイズが違います カセット■を確認してください	表示カセットの用紙サイズが正しくセットされていない	サイズ検知レバー（緑色）を正しくセットしてください。	143 ページ 145 ページ
用紙サイズが違います 手差しトレイを確認してください	手差しトレイの用紙サイズが正しくセットされていない	用紙サイズダイヤルを正しくセットしてください。	148 ページ
カセット■がありません カセットをセットしてください	表示されている用紙カセットがセットされていない	用紙カセットを確実にセットしてください。	142 ページ
サイドカバー■を閉めてください	表示されているサイドカバーが開いている	サイドカバーを確実に閉めてください。	153 ページ
トナーが少なくなっています カートリッジを交換してください	トナーが少なくなっている	トナーカートリッジを交換してください。	150 ページ
トナーがありません カートリッジを交換してください	トナーが無くなっている	トナーカートリッジを交換してください。	150 ページ
受信開閉部を閉めてください	受信開閉部が開いている	受信開閉部を確実に閉めてください。	16 ページ
カートリッジがありません セットしてください	トナーカートリッジがセットされていません	トナーカートリッジをセットしてください。	150 ページ
プリンター部確認[XXXX] サービスコールをしてください	プリンター部の故障 ([XXXX] はエラー番号)	お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。	ー
読み取り部確認 [XXXX] サービスコールをしてください	読み取り部の故障 ([XXXX] はエラー番号)	お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。	ー
送信開閉部を開けて原稿を確認してください 原稿ジャムが発生しました	・原稿づまり ・原稿の長さが 2000mm を超えている	・原稿づまりを取り除いてください。 ・原稿を 2000mm 以内にして、送信し直してください。	21 ページ 157 ページ
読み込みの定型サイズより長い	回転送信を行いましたが、原稿長が定型サイズ（A4 ▯）よりも長い	原稿サイズを A4 ▯ と認識しています。原稿長検知センサーがオンするように、しわやカールをなくしてください。	23 ページ
送信開閉部を閉めてください	送信開閉部が開いている	送信開閉部を確実に閉めてください。	16 ページ
通信エラーがありました	通信エラー	送信し直してください。	ー

エラーメッセージ	内容	処置	参照ページ
メモリーが一杯になりました	メモリーが一杯になった	･原稿読み取り中にメモリーが一杯になった場合は、送信できなかったページから送信してください。 ･メモリーに保存されている受信原稿をプリントしてください。	32 ページ 38 ページ
	原稿の読み込み枚数が 255 枚となった	･ 何度かに分けて送信してください。	29 ページ
相手先が使用中です	自動再ダイヤルしてもつながらない	･ もう一度送信してください。	30 ページ
相手先から応答がありません	自動再ダイヤルしてもつながらない	･相手先がファクスでない場合があります。番号を確認してから、もう一度通信してください。	30 ページ

停電のとき

停電になると、電話を受けること以外、ファクスの操作はすべてできなくなります。停電中の電話は外部電話機をご利用ください。

本機に保存されている内容について

停電中は、メモリーに蓄積された原稿や、本機に登録・設定した内容を装置内蔵電池で保持します。

内蔵電池を充電してください。
- 停電中でも保存されている内容を保持するために、内蔵電池を充電する必要があります。
- 内蔵電池を充電するため、設置後、約 48 時間の間、電源を“I”（入）にしておいてください。

停電が続くと
- 1 時間以上電源が切れていると、メモリーに蓄積された原稿が消去されます（本機に登録・設定した内容は消去されません）。
- 10 日以上電源が切れていると、本機に設定した時計内容が消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。
- 本機の設定がお買い上げ時の状態に戻ると、時計表示が点滅してお知らせします。時計表示が点滅しているときは、設定し直してください。

停電が復旧したとき

メモリー内の原稿が消去されたときは、「停電レポート」をプリントして、受信した宛先・予約した通信の内容をお知らせします。

01頁
L4800　Ver　V00000
CANON
08年05月11日18時29分

停電レポート

停電日時：05月11日16時00分

＊＊　下記の通信予約は停電の為処理できませんでした。＊＊

No.	受付番号	受付日時	相手先／依頼元	通信種別	パスワード	ﾓｰﾄﾞ	宛先数
001	001	05-11 15:30	CANON	送　信		G3外	0001
002	002	05-11 15:31	大阪支店	送　信		G3外	0003

＊＊　下記の受信文書は停電の為処理できませんでした。＊＊

No.	受付番号	受付日時	相手先	通信種別	ﾓｰﾄﾞ
001	003	05-11 15:32	ｿｳﾑﾌﾞ	受　信	G3外
002	005	05-11 15:42	ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ	受　信	G3外

充電式ニッケル水素電池の取り扱いについて

本機はニッケル水素電池を使用しています。

●ニッケル水素電池の性能が低下してくると、停電中にメモリーの内容を保存する時間が短くなってきます。そのような場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。有償でニッケル水素電池の交換をいたします。

●ご使用済みのニッケル水素電池は貴重な資源です。本機を廃棄する場合、リサイクルしますので廃棄せずお近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。二次電池のリサイクルに関しては、以下のホームページを参考にしてください。
（JBRC : ホームページ : http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
TEL： 03-6403-5673）

Ni-MH

消耗品・オプション

■消耗品

用紙
　良好な記録をしていただくため、できるだけ当社の推奨品をご使用ください。
　（詳細は、お近くのキヤノン販売店にお問い合わせください。）

キヤノン FX-13 カートリッジ

■オプション

キヤノン L4800 用オプションメモリ 8MB
キヤノン L4800 用ペディスタル
キヤノン L4800 用カセットフィーダ 500
ハンドセットキットL13
キヤノン L4800 用インターネットFAX ユニット

お知らせ

- オプションに関する詳細は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
- 上記以外のオプションメモリを本装置へ使用すると故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。また、上記オプションメモリを指定以外の装置へ使用しても故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

主な仕様

品　番	キヤノファアクス L4800
電　源	AC100V　± 10V　50/60Hz
消費電力	待機時　　：節電モード時：約 15W （省エネモード時：約 1.6W ） 最大動作時：約 880W 送信時　　：約 37W 受信時　　：約 830W コピー時　：約 880W
適合回線	G3（注 1）：電話回線、ファクシミリ通信網（F 網 2 種接続サービス）、 国際ファクシミリサービス（F ポート）
直流抵抗値	213Ω
通信可能機種	G3（国際規格）
帯域圧縮方式	MH、MR、MMR、JBIG
通信速度	G3（注 1）：33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800 /14400/12000/9600/7200/4800/2400bps
走査線密度	ファクス　主走査：8dot/mm、16dot/mm 相当 副走査：15.4line/mm（細密）、7.7line/mm（小さい） 3.85line/mm（ふつう） コピー　主走査：16dot/mm 相当 副走査：15.4line/mm
読み取り方式	CCD イメージセンサーによる固体電子走査
原稿サイズ	A3 〜 A6（最大：幅 297mm ×長さ 2000mm、最小：幅 148mm ×長さ 105mm）
有効読み取り幅	（A3）最大：292mm、（A4）最大：205mm
記録方式	電子写真記録方式
用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、A5、はがき（手差しコピー時）
有効記録範囲	用紙の各辺から 4mm を除く範囲
外形寸法	約 523mm（W）× 513mm（D）× 452mm（H）（突起部を除く）
本体質量	約 31kg（消耗品、添付品、オプションを除く）
使用環境	温度：10 ℃〜 35 ℃　湿度：45%〜 85% （ただし、35 ℃のときは、湿度 70%以下、湿度 85%のときは 30 ℃以下）

お知らせ

- （注 1）一般の電話回線での最高通信速度は 28800bps 程度です。
- 認定番号は、本体背面に記載しております。
- 仕様は予告なく変更されることがあります。
  製品が改良され変更になったり、今後発売される製品によって内容が変更になることがありますので、ご了承ください。
  本製品に関する情報はこちらでもご確認いただけます。
  キヤノンファクスホームページ
  ■ http://canon.jp/canofax

区点コード表

第1水準

01	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～19			、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
20～39	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
40～59	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
60～79	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
80～95	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇					

02	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～19		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓					
20～39							∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩						
40～59			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃											
60～79	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬					
80～95			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯					

03	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～19																	０	１	２	３
20～39	４	５	６	７	８	９								Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
40～59	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
60～79						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
80～90	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ									

04	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～19		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
20～39	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
40～59	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
60～79	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
80～95	ゐ	ゑ	を	ん																

05	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～19		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
20～39	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
40～59	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
60～79	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
80～86	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ													

06	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00∫19		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
20∫39	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω									*α*	*β*	*γ*	*δ*	*ε*	*ζ*	*η*
40∫59	*θ*	*ι*	*κ*	*λ*	*μ*	*ν*	*ξ*	*ο*	*π*	*ρ*	*σ*	*τ*	*υ*	*φ*	*χ*	*ψ*	*ω*			
60∫79																				
80∫94																				

07	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00∫19		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
20∫39	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я						
40∫59										а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
60∫79	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
80∫81	ю	я																		

08	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00∫19		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
20∫39	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂							
40∫59																				
60∫79																				
80∫90																				

16	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		亜(ア)	唖	娃	阿	哀(アイ)	愛	挨	姶(あい)	逢	葵(あおい)	茜(あかね)	穐(あき)	悪(アク)	握	渥	旭(あさひ)	葦(あし)	芦	鯵(あじ)	あ
20	梓(あずさ)	圧(アツ)	斡	扱(あつかい)	宛(あて)	姐(あね)	虻(あぶ)	飴(あめ)	絢(あや)	綾	鮎(あゆ)	或(ある)	粟(あわ)	袷(あわせ)	安(アン)	庵	按	暗	案	闇	
40	鞍	杏(あんず)	以(イ)	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	い
60	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医	井(い)	亥	域(イキ)	育(イク)	郁	磯(いそ)	一(イチ)	壱	溢(イツ)	逸	
80	稲(いね)	茨(いばら)	芋(いも)	鰯(いわし)	允(イン)	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭						

17	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		院	陰	隠	韻	吋(いんち)	右(ウ)	宇	烏	羽	迂	雨	卯(う)	鵜	窺(うかがい)	丑(うし)	碓(うし)	臼	渦(うず)	嘘(うそ)	う
20	唄(うた)	欝(ウツ)	蔚	鰻(うなぎ)	姥(うば)	厩(うまや)	浦(うら)	瓜(うり)	閏(うるう)	噂(うわさ)	云(ウン)	運	雲	荏(え)	餌	叡(エイ)	営	嬰	影	映	え
40	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液(エキ)	疫	益	駅	悦(エツ)	謁	越	
60	閲	榎(えのき)	厭(エン)	円	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	
80	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於(オ)	汚	甥(おい)	凹(オウ)	央	奥	往	応						お

18	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡(おか)	沖(おき)	荻(おぎ)	億(オク)	屋	憶	臆	桶(おけ)	
20	牡(おす)	乙(オツ)	俺(おれ)	卸(おろし)	恩(オン)	温	穏	音	下(カ)	化	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	か
40	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	
60	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊(か)	俄(ガ)	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	
80	介(カイ)	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改						

19	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝(かい)	凱(ガイ)	劾	外	咳	害	崖	
20	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬(かいり)	馨(かおり)	蛙(かえる)	垣(かき)	柿	蛎	鈎(かぎ)	劃(カク)	嚇	各	廓	
40	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学(ガク)	岳	楽	額	
60	顎	掛(かけ)	笠(かさ)	樫(かし)	橿	梶(かじ)	鰍(かじか)	潟(かた)	割(カツ)	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且(かつ)	鰹(かつお)	
80	叶(かない)	椛(かば)	樺	鞄(かばん)	株(かぶ)	兜(かぶと)	竃(かま)	蒲	釜	鎌	噛(かみ)	鴨(かも)	栢(かや)	茅	萱						

20	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		粥(かゆ)	刈(かり)	苅	瓦(かわら)	乾(カン)	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	
20	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	
40	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	
60	舘	丸(ガン)	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企(キ)	伎	危	喜	器	き
80	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄						

21	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	
20	鬼	亀	偽(ギ)	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬(キク)	菊	鞠	
40	吉(キチ)	吃(キツ)	喫	桔	橘	詰	砧(きぬた)	杵(きね)	黍(きび)	却(キャク)	客	脚	虐(ギャク)	逆	丘(キュウ)	久	仇	休	及	吸	
60	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛(ギュウ)	去(キョ)	居	
80	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁(ギョ)	禦	魚	亨(キョウ)	享	京						

22	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	
20〜	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰(キョウ)	凝	尭	暁	
40〜	業	局(キョク)	曲	極	玉(ギョク)	桐(きり)	粁(きろ)	僅(キン)	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	
60〜	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟(ギン)	銀	九(ク)	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	く
80〜	駒	具(グ)	愚	虞	喰(くい)	空(クウ)	偶(グウ)	寓	遇	隅	串(くし)	櫛	釧(くしろ)	屑(くず)	屈(クツ)						

23	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		掘	窟	沓(くつ)	靴	轡(くつわ)	窪(くぼ)	熊(くま)	隈	粂(くめ)	栗(くり)	繰	桑(くわ)	鍬	勲(クン)	君	薫	訓	群(グン)	軍	
20〜	郡	卦(ケ)	袈	祁	係(ケイ)	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	け
40〜	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	
60〜	鶏	芸(ゲイ)	迎	鯨	劇(ゲキ)	戟	撃	激	隙	桁(けた)	傑(ケツ)	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月(ゲツ)	件(ケン)	
80〜	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲						

24	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	
20〜	鹸	元(ゲン)	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺	限	乎(コ)	個	古	呼	固	こ
40〜	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	
60〜	顧	鼓	五(ゴ)	互	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	
80〜	乞(こい)	鯉	交(コウ)	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向						

25	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	
20〜	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	
40〜	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	
60〜	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛(ゴウ)	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹(こうじ)	克(コク)	刻	
80〜	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄(ゴク)	漉(こし)	腰	甑(こしき)	忽(コツ)	惚	骨	狛(こま)	込(こみ)						

26	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		此(これ)	頃(ころ)	今(コン)	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些(サ)	さ
20〜	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖	裟	坐(ザ)	座	挫	債(サイ)	催	再	最	
40〜	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	
60〜	載	際	剤(ザイ)	在	材	罪	財	冴(さえ)	坂(さか)	阪	堺(さかい)	榊(さかき)	肴(さかな)	咲(さき)	崎	埼	碕	鷺(さき)	作(サク)	削	
80〜	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜(さくら)	鮭(さけ)	笹(ささ)	匙(さし)	冊(サツ)	刷						

27	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑(ザツ)	皐(さつき)	鯖(さば)	捌(さばき)	錆(さび)	鮫(さめ)	皿(さら)	晒(さらし)	三(サン)	傘	参	山	
20〜	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛	酸	餐	斬(ザン)	暫	残	仕(シ)	仔	伺	し
40〜	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	
60〜	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	
80〜	諮	資	賜	雌	飼	歯	事(ジ)	似	侍	児	字	寺	慈	持	時						

28	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐(しお)	鹿(しか)	式(シキ)	識	鴫(しき)	竺(ジク)	
20〜	軸	宍(しし)	雫(しずく)	七(シチ)	叱(シツ)	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質	実(ジツ)	蔀(しとみ)	篠(しの)	偲(しのひ)	柴(しば)	芝	
40〜	屡(しばしば)	蕊(しべ)	縞(しま)	舎(シャ)	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇(ジャ)	邪	借(シャク)	勺	
60〜	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若(ジャク)	寂	弱	惹	主(シュ)	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	
80〜	腫	趣	酒	首	儒(ジュ)	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚(シュウ)	収	周						

29	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	
20〜	輯	週	酋	酬	集	醜	什(ジュウ)	住	充	十	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔(シュク)	
40〜	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾(ジュク)	熟	出(シュツ)	術(ジュツ)	述	俊(シュン)	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准(ジュン)	循	
60〜	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処(ショ)	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	
80〜	署	書	薯	藷	諸	助(ジョ)	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷(ショウ)	償						

30	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	
20〜	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	
40〜	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	
60〜	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上(ジョウ)	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	
80〜	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱(ショク)	埴	飾						

31	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱(ジョク)	尻(しり)	伸(シン)	信	侵	唇	娠	寝	審	
20〜	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	
40〜	身	辛	進	針	震	人(ジン)	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥(ス)	諏	す
60〜	須	酢(す)	図(ズ)	厨	逗	吹(スイ)	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随(ズイ)	
80〜	瑞	髄	崇(スウ)	嵩	数	枢	趨	雛	据(すえ)	杉(すぎ)	椙	菅(すけ)	頗(すこぶる)	雀(すずめ)	裾(すそ)						

32	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		澄(すみ)	摺(すり)	寸(スン)	世(セ)	瀬(せ)	畝	是	凄(セイ)	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	せ
20〜	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税(ゼイ)	
40〜	脆	隻(セキ)	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切(セツ)	拙	
60〜	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶(ゼツ)	舌	蝉(せみ)	仙(セン)	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	
80〜	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線						

33	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前(ゼン)	善	漸	然	
20〜	全	禅	繕	膳	糎(せんち)	噌(ソ)	塑	岨	措	曾	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	そ
40〜	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧(ソウ)	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	
60〜	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	
80〜	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像(ゾウ)	増	憎						

34 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00～	臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗(ゾク)	属	賊	族	続	
20～ 卒(ソツ)	袖(そで)	其(それ)	揃(そろい)	存(ゾン)	孫	尊	損	村	遜	他(タ)	多	太	汰	詑	唾(ダ)	堕	妥	惰	打	た
40～ 柁	舵	楕	陀	駄	騨	体(タイ)	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	
60～ 腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛(たい)	代(ダイ)	台	大	第	醍	題	鷹(たか)	滝(たき)	瀧	卓(タク)	啄	
80～ 宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁(ダク)	諾	茸(たけ)	凧(たこ)	蛸	只(たた)						

35 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00～	叩(たたき)	但(ただし)	達(タツ)	辰	奪(ダツ)	脱	巽(たつみ)	竪(たて)	辿(たどり)	棚(たな)	谷(たに)	狸(たぬき)	鱈(たら)	樽(たる)	誰	丹(タン)	単	嘆	坦	
20～ 担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛(ダン)	団	壇	弾	断	
40～ 暖	檀	段	男	談	値(チ)	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築(チク)	ち
60～ 畜	竹	筑	蓄	逐	秩(チツ)	窒	茶(チャ)	嫡(チャク)	着	中(チュウ)	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	
80～ 註	酎	鋳	駐	樗(チョ)	瀦	猪	苧	著	貯	丁(チョウ)	兆	凋	喋	寵						

36 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00～	帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	
20～ 調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅(チョク)	捗	直	朕(チン)	沈	珍	賃	鎮	陳	津(ツ)	墜(ツイ)	椎	つ
40～ 槌	追	鎚	痛(ツウ)	通	塚(つか)	栂(つが)	掴(つか・む)	槻(つき)	佃(つくだ)	漬(つ・ける)	柘(つけ)	辻(つじ)	蔦(つた)	綴(つづり)	鍔(つば)	椿(つばき)	潰(つぶ)	坪(つぼ)	壷	
60～ 嬬(つま)	紬(つむぎ)	爪(つめ)	吊(つり)	釣	鶴(つる)	亭(テイ)	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	て
80～ 悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓						

37 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00～	邸	鄭	釘	鼎	泥(デイ)	摘(テキ)	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺(デキ)	哲(テツ)	徹	撤	轍	迭	
20～ 鉄	典(テン)	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛	点	伝(デン)	殿	澱	田	電	兎(ト)	吐	と
40～ 堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥(と)	砺	努(ド)	度	土	奴	
60～ 怒	倒(トウ)	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	
80～ 盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到						

38 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00～	董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働(ドウ)	動	同	堂	導	
20～ 憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠(とうげ)	鴇(とき)	匿(トク)	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒(ドク)	
40～ 独	読	栃(とち)	橡	凸(トツ)	突	椴(とど)	届(とどけ)	鳶(とび)	苫(とま)	寅(とら)	酉(とり)	瀞(とろ)	噸(トン)	屯	惇	敦	沌	豚	遁	
60～ 頓	呑(ドン)	曇	鈍	奈(ナ)	那	内(ナイ)	乍(なかい)	凪(なぎ)	薙	謎(なぞ)	灘(なだ)	捺(ナツ)	鍋(なべ)	楢(なら)	馴(な・れる)	縄(なわ)	畷(なわて)	南(ナン)	楠	な
80～ 軟	難	汝(なんじ)	二(ニ)	尼	弐	迩	匂(におい)	賑(にぎわい)	肉(ニク)	虹(にじ)	廿(にしゅう)	日(ニチ)	乳(ニュウ)	入						に

39 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00～	如(ニョ)	尿(ニョウ)	韮(にら)	任(ニン)	妊	忍	認	濡(ぬれ)	禰(ネ)	祢	寧(ネイ)	葱(ねぎ)	猫(ねこ)	熱(ネツ)	年(ネン)	念	捻	撚	燃	ぬね
20～ 粘	乃(ノ)	廼	之(の)	埜	嚢(ノウ)	悩	濃	納	能	脳	膿	農	覗(のぞき)	蚤(のみ)	巴(ハ)	把	播	覇	杷	のは
40～ 波	派	琶	破	婆(バ)	罵	芭	馬	俳(ハイ)	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	
60～ 倍(バイ)	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這(は・う)	蝿(はえ)	秤(はかり)	矧(はぎ)	萩	伯(ハク)	剥	博	拍	
80～ 柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝(バク)	漠	爆	縛	莫	駁	麦						

40	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		函(はこ)	箱	硲(はざま)	箸(はし)	肇(はしめ)	筈(はず)	櫨(はぜ)	幡(はた)	肌	畑	畠	八(ハチ)	鉢	溌(ハツ)	発	醗	髪	伐(バツ)	罰	
20〜	抜	筏	閥	鳩(はと)	噺(はなし)	塙(はなわ)	蛤(はまぐり)	隼(はやぶさ)	伴(ハン)	判	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	
40〜	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯	挽(バン)	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪(ヒ)	ひ
60〜	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	
80〜	誹	費	避	非	飛	樋(ひ)	簸	備(ビ)	尾	微	枇	毘	琵	眉	美						

41	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		鼻	柊(ひいらぎ)	稗(ひえ)	匹(ヒキ)	疋	髭(ひげ)	彦(ひこ)	膝(ひざ)	菱(ひし)	肘(ひじ)	弼(ひつ)	必	畢	筆	逼	桧(ひのき)	姫(ひめ)	媛	紐(ひも)	
20〜	百(ヒャク)	謬(ビュウ)	俵(ヒョウ)	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹	廟(ビョウ)	描	病	秒	苗	錨	鋲(びょう)	蒜(ひる)	
40〜	蛭	鰭(ひれ)	品(ヒン)	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏(ビン)	瓶	不(フ)	付	埠	夫	婦	富	冨	布	ふ
60〜	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮(ブ)	撫	
80〜	武	舞	葡	蕪	部	封(フウ)	楓	風	葺(ふ・く)	蕗	伏(フク)	副	復	幅	服						

42	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		福	腹	複	覆	淵(ふち)	弗(フツ)	払	沸	仏(ブツ)	物	鮒(ふな)	分(フン)	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	
20〜	粉	糞	紛	雰	文(ブン)	聞	丙(ヘイ)	併	兵	塀	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米(ベイ)	頁(ページ)	へ
40〜	僻(ヘキ)	壁	癖	碧	別(ベツ)	瞥	蔑	箆(へら)	偏(ヘン)	変	片	篇	編	辺	返	遍	便(ベン)	勉	娩	弁	
60〜	鞭	保(ホ)	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂(ほ)	募(ボ)	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣(ホウ)	ほ
80〜	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋						

43	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏(ボウ)	
20〜	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	
40〜	鉾	防	吠(ほえ)	頬(ほお)	北(ホク)	僕(ボク)	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦(ぼたん)	勃(ボツ)	没	殆(ほとん・ど)	堀(ほり)	幌(ほろ)	奔(ホン)	
60〜	本	翻	凡(ボン)	盆	摩(マ)	磨	魔	麻	埋(マイ)	妹	昧	枚	毎	哩(まいる)	槙(まき)	幕(マク)	膜	枕(まくら)	鮪(まぐろ)	柾(まさ)	ま
80〜	鱒(ます)	桝	亦(また)	俣	又	抹(マツ)	末	沫	迄(まで)	侭(まま)	繭(まゆ)	麿(まろ)	万(マン)	慢	満						

44	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		漫	蔓	味(ミ)	未	魅	巳(み)	箕	岬(みさき)	密(ミツ)	蜜	湊(みなと)	蓑(みの)	稔(みのり)	脈(ミャク)	妙(ミョウ)	粍(みり)	民(ミン)	眠	務(ム)	みむ
20〜	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋(むく)	婿(むこ)	娘(むすめ)	冥(メイ)	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪(めい)	牝(めす)	滅(メツ)	め
40〜	免(メン)	棉	綿	緬	面	麺	摸(モ)	模	茂	妄(モウ)	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲(もうけ)	木(モク)	黙	も
60〜	目	杢(もく)	勿(モチ)	餅(もち)	尤(もっとも)	戻(もどり)	籾(もみ)	貰(もら・う)	問(モン)	悶	紋	門	匁(もんめ)	也(ヤ)	冶	夜	爺	耶	野	弥(や)	や
80〜	矢	厄(ヤク)	役	約	薬	訳	躍	靖(やす)	柳(やなぎ)	薮(やぶ)	鑓(やり)	愉(ユ)	愈	油	癒						ゆ

45	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		諭	輸	唯(ユイ)	佑(ユウ)	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	
20〜	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕(ゆう)	予(ヨ)	余	与	誉	輿	預	傭(ヨウ)	幼	妖	容	庸	よ
40〜	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	
60〜	養	慾(ヨク)	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀(よど)	羅(ラ)	螺	裸	来(ライ)	莱	頼	雷	洛(ラク)	絡	落	酪	ら
80〜	乱(ラン)	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利(リ)	吏	履	李	梨	理	璃						り

46	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		痢	裏	裡	里	離	陸（リク）	律（リツ）	率	立	葎	掠（リャク）	略	劉（リュウ）	流	溜	琉	留	硫	粒	
20〜	隆	竜	龍	侶（リョ）	慮	旅	虜	了（リョウ）	亮	僚	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	
40〜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力（リョク）	緑	倫（リン）	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	るれ
60〜	瑠（ル）	塁（ルイ）	涙	累	類	令（レイ）	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	
80〜	齢	暦（レキ）	歴	列（レツ）	劣	烈	裂	廉	恋（レン）	憐	漣	煉	簾	練	聯						

47	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		蓮	連	錬	呂（ロ）	魯	櫓	炉	賂	路	露	労（ロウ）	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	ろ
20〜	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六（ロク）	麓	禄	肋	録	論（ロン）	倭（ワ）	和	話	歪（ワイ）	賄	脇（わき）	惑（ワク）	わ
40〜	枠（わく）	鷲（わし）	亙（わたり）	亘	鰐（わに）	詫（わび）	藁（わら）	蕨（わらび）	椀（ワン）	湾	碗	腕									
60〜																					
80〜																					

第2水準

48	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
20〜	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
40〜	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
60〜	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
80〜	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲					

49	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
20〜	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
40〜	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
60〜	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
80〜	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨					

50	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
20〜	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
40〜	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
60〜	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
80〜	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨					

51	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
20〜	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
40〜	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
60〜	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
80〜	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉					

52	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
20〜	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
40〜	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
60〜	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
80〜	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩					

53	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
20〜	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
40〜	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
60〜	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
80〜	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓					

54	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
20〜	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
40〜	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
60〜	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
80〜	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏					

55	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
20〜	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
40〜	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
60〜	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
80〜	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚					

56	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
20〜	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
40〜	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
60〜	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
80〜	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛					

57 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
20～	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
40～	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
60～	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
80～	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼					

58 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
20～	擺	攀	擻	攘	攤	攅	攣	攫	攴	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞
40～	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡
60～	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟
80～	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼						

59 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
20～	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
40～	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
60～	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
80～	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍					

60 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
20～	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
40～	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
60～	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
80～	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣					

61 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
20～	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
40～	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
60～	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
80～	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾					

62 区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
20～	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
40～	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
60～	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
80～	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌					

63	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
20〜	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
40〜	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
60〜	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
80〜	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼					

64	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
20〜	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
40〜	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
60〜	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
80〜	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱					

65	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
20〜	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
40〜	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
60〜	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
80〜	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰					

66	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
20〜	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
40〜	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
60〜	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
80〜	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬					

67	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
20〜	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
40〜	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
60〜	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
80〜	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐					

68	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
20〜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
40〜	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
60〜	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
80〜	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆					

69	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00~		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
20~	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
40~	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
60~	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
80~	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺					

70	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00~		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
20~	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
40~	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
60~	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
80~	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋					

71	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00~		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
20~	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
40~	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
60~	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
80~	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙					

72	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00~		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
20~	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
40~	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
60~	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
80~	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					

73	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00~		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
20~	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
40~	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
60~	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
80~	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					

74	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00~		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
20~	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
40~	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
60~	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
80~	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞					

75	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	覀	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
20〜	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
40〜	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
60〜	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
80〜	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫					

76	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
20〜	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
40〜	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
60〜	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
80〜	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊					

77	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
20〜	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
40〜	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
60〜	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
80〜	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸					

78	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
20〜	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
40〜	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
60〜	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
80〜	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮					

79	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
20〜	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
40〜	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
60〜	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
80〜	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞					

80	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
20〜	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
40〜	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
60〜	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
80〜	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰					

81	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
20～	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
40～	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
60～	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
80～	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷					

82	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
20～	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
40～	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
60～	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
80～	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					

83	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
20～	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
40～	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
60～	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
80～	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠					

84	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		堯	槇	遙	瑤	凜	熙													
20～																				
40～																				
60～																				
80～																				

熟語一覧表

使用することの多い地名（都道府県名）、職場部署名などをあらかじめ登録してあります。
文字入力は、ファンクション登録ボタン（F1 あ 通信予約の確認 ～ F10 こ）またはワンタッチ（01 ～ 46）を押して行います。

F1
1 東北　2 関東
3 東海　4 北陸　（熟語）

F2
1 中部　2 関西
3 近畿　4 中国　（熟語）

F3
1 山陽　2 山陰
3 四国　4 九州　（熟語）

F4
1 北海道　2 秋田
3 青森　4 岩手　（熟語）

F5
1 宮城　2 山形
3 福島　4 茨城　（熟語）

F6
1 群馬　2 栃木
3 山梨　4　（熟語）

F7
1 東京　2 神奈川
3 千葉　4 埼玉　（熟語）

F8
1 新潟　2 富山
3 石川　4 福井　（熟語）

F9
1 長野　2 岐阜
3 愛知　4 静岡　（熟語）

F10
1 京都　2 奈良
3 滋賀　4 三重　（熟語）

01
1 大阪　2 兵庫
3 和歌山　4 鳥取　（熟語）

02
1 岡山　2 広島
3 山口　4 島根　（熟語）

03
1 香川　2 徳島
3 高知　4 愛媛　（熟語）

04
1 福岡　2 大分
3 佐賀　4 長崎　（熟語）

05
1 熊本　2 宮崎
3 鹿児島　4 沖縄　（熟語）

06
1 旭川　2 釧路
3 帯広　4 函館　（熟語）

07
1 札幌　2 盛岡
3 仙台　4 郡山　（熟語）

08
1 前橋　2 高崎
3 水戸　4 宇都宮（熟語）

09
1 横浜　2 川崎
3 小田原　4 成田　（熟語）

10
1 甲府　2 松本
3　4　（熟語）

11
1 名古屋　2 豊橋
3 金沢　4　（熟語）

12
1 津　2 大津
3　4　（熟語）

13
1 神戸　2 姫路
3 徳山　4　（熟語）

14
1 松江　2 高松
3 松山　4　（熟語）

15
1 博多　2 小倉
3 下関　4 那覇（熟語）

16
1 都　2 道
3 府　4 県　（熟語）

17
1 区　2 市
3 郡　4 町　（熟語）

18	19	20
1 村　2 地方 3　4　（熟語）	1 日本　2 東洋 3 国　4　（熟語）	1　2 3　4　（熟語）

21	22	23
1 株式　2 有限 3 相互　4 会社　（熟語）	1 銀行　2 保険 3 役所　4　（熟語）	1 物産　2 商事 3 商会　4 貿易　（熟語）

24	25	26
1 産業　2 工業 3 製作所　4　（熟語）	1 化学　2 化成 3　4　（熟語）	1 電気　2 電機 3 通信　4 機械　（熟語）

27	28	29
1 運輸　2 運送 3 輸送　4 配送　（熟語）	1 物流　2 倉庫 3 工場　4　（熟語）	1 会館　2 商店 3　4　（熟語）

30	31	32
1　2 3　4　（熟語）	1 本社　2 支社 3 本店　4 支店　（熟語）	1 営業所　2 事務所 3 出張所　4 駐在　（熟語）

33	34	35
1 部長　2 室長 3 課長　4 係長　（熟語）	1 東　2 西 3 南　4 北　（熟語）	1 事業部　2 本部 3 中央　4　（熟語）

36	37	38
1 部　2 室 3 課　4 係　（熟語）	1 人事　2 総務 3 管理　4　（熟語）	1 経理　2 会計 3 財務　4 業務　（熟語）

39	40	41
1 営業　2 販売 3 計画　4 通信　（熟語）	1 常務　2 取締役 3 理事　4 担当　（熟語）	1 企画　2 渉外 3 広報　4 宣伝　（熟語）

42	43	44
1 購買　2 資材 3 製造　4　（熟語）	1 研究　2 開発 3 技術　4 商品　（熟語）	1 相談役　2 会長 3 社長　4 専務　（熟語）

46
1 様　2 殿 3 御中　4 気付　（熟語）

索引

◆ F

◆ O

◆あ

◆え

◆お

◆か

◆き

◆く

◆け

◆こ

◆さ

◆し

◆ふ

◆ほ

◆み

◆め

◆も

◆ゆ

◆よ

◆ら

◆り

◆れ

◆わ

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者　連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

Canon キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター
（全国共通番号）

050-555-90055

[受付時間]　〈平日〉9:00〜20:00
〈土日祝日〉10:00〜17:00
（1/1〜3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9331 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

K0408-1068 (0001)　PJQMC1226ZB　CANON INC. 2008　PRINTED IN JAPAN